夕刊 滿洲日報 十二月廿七日 發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

東鐵新管理局長の一行 ゆふべ哈市に乘り込む
一萬餘の露人驛頭で 赤旗を振り翳し熱狂的歡迎

【ハルビン二十七日發電】新任ハルビン勞農總領事シマノフスキー、東鐵管理局長ルディ、副管理局長デニソフ氏一行十四名は蔡運升氏と共に二十六日夜十二時特別列車で堂々とハルビンに乘込んで來た、ポグラニチナヤ、ハルビン間五百四十六キロの沿線の勞農國民は各停車場に殺到して歡迎したが、一行の列車がハルビン驛ホームに入るや一萬餘の勞農國民は赤旗を振翳し驛構內外を埋め樂隊はインターナショナルを吹奏し、蔡運升氏一行そつちのけの熱狂的歡迎振を發揮した、一行は群がる群衆を排して漸くホテルに入つたが夜十二時以後の通行は禁止されてゐるにも拘らず群衆は今朝一時三十分に至り漸く解散した、なほロシア總領事シマノフスキー氏一行四名は張學良氏に敬意を表するため二十七日朝九時十五分蔡運升氏一行と共に奉天に向ふ筈

新局長ル氏の抱負
露支協定に立脚して 一方的に權力の濫用を避ける

【ハルビン特電二十七日發】露支紛爭は漸く解決の第一歩に入つたロシア領事館には赤い旗が久闊で鎚と鎌へつた、陰鬱な北滿もこれで新春を迎へる

明るい氣分 が漂ふこの紛爭の後をうけて着任したルディ新管理局長の抱負は鐵道經營は其鐵道の有する使命と內容を充分に知ることである東鐵は一九二四年露支間に締結された精神に立脚して經營し一方的に力を濫用すべきでない、鐵道從業員もこの點を諒解し且つ歐洲諸國と東洋の連絡に對して一日も忽にすべきでないと歐亞連絡を責任と同時に解決せねばならぬを述べ、七月十日以後採用した東支從業員は當然違法により解雇され

原狀恢復 と共に若し缺員ありて補充任用すべき場合は管理局と復活せる理事會の決定に俟たねばならぬと說き、從來局長に於て一切の人事行政を執れるを今後は理事會の承認を求める旨を言明した、これは支那側の局長權限範圍の縮小に同意したことを示してゐる

因にル氏は一九一七年ベルム鐵道の旋盤工であつた時、エムシヤノフ氏は同鐵道の小驛長であつたが後ル氏が交通委員長になつた際エ氏はその委員でありエ氏が今回理事に就任すれば兩氏の因果關係は餘程深い譯である

貴衆兩院本會議 廿七日
衆院全院委員長 政友會の有馬氏當選

【東京二十七日發電】二十七日の衆議院本會議は午前十時二十五分開會清瀬副議長議長席に着き

清瀬副議長 堀切議長は勅語奉答文捧呈のため只今參內中であります

と報告し、書記官をして議殿の報告をなさしめた後、孝宮內親王御誕生の御砌議長に代つて宮中並に青山御所に參內參賀申上げたる件並にグロスター公殿下御來朝の節五月四日霞ケ關離宮に伺候歡迎文を捧呈したるに殿下には「次の議會に於て感謝の意を傳へられ度し」との御言葉を賜つた旨報告し、愈々全院委員長の選擧に入り無記名投票を行ふ旨を宣し堂々廻りに入る開票の結果

投票總數 三百六十四票
有馬秀雄（政） 二〇八
松井文太郎（民） 一四八
安部磯雄（無産） 五
西村治郎（民）秦豐助（政）武藤山治（實同）各一票

即ち有馬秀雄君が過半數を以て全院委員長に當選し政友會席より拍手を送る

清瀬副議長 之より各部に於て常任委員の選擧をされ度し

と宣し十一時十三分休憩

軍革說明聽取

【東京二十七日發電】陸軍々制改革問題に關し公正會の阪谷、中島、岩倉、斯波、鍋島、井上の六男爵は二十六日午後宇垣陸相を訪問し陸相より細目的說明を聽取し更に小磯整備局長より軍需工業動員につき說明を受くるところあつた

一月廿日迄休會

貴族院の奉答文

【東京二十七日發電】貴族院の勅語奉答文左の如し

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹テ
叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス
爰ニ第五十七回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等謹テ
叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ
鴻猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

貴院奉答文可決
全院委員長に近衞公

【東京廿七日發電】第五十七議會最初の貴族院本會議は二十七日午前十時十分開會德川議長起立して勅語奉答文案を朗讀して贊否を起立に問ひ滿場總起立拍手裡に可決し德川議長は右奉答文捧呈のため退席蜂須賀副議長議長席につき日程第一、全院委員長の選擧に入り記名投票の結果

投票總數 二百六票
近衞文麿公 二百四票
末延道成氏 一票
無効 一票

にて近衞公當選次で日程第二、常任委員の選擧を議題とし各部に於て選擧を行ふ事となり十時三十五分休憩、十一時二十五分再開德川議長より勅語奉答文捧呈の件を報告し總員起立最敬禮裡に併讀なる

勅語

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

を奉讀し、次で休憩中各部に於て選擧したる常任委員の氏名を朗讀せしめ、德川議長は本年中の會議は本日を以て終了明年一月二十日迄休會しますと宣し同三十五分散會した

堀切議長 十一時五十分再開堀切議長着席

本院の勅語奉答文は十一時參內陛下に捧呈致しましたところ優渥なる勅語を賜りました、爰に捧讀致します

と述べ全員起立最敬禮裡に

勅語

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

次で常任委員選擧の結果を報告し恒例に依り本會議日の日割其他を諮り明年一月二十日迄休會とします

と宣し拍手裡に正午散會

議會召集日の各派控室

（上）民政黨控室左より小泉遞相、濱口首相、井上藏相、中村氏外（下）政友控室左より犬養總裁、堀切新議長（○）無産黨右より安部、鈴木、西尾、淺原、水谷の諸氏

荻川放談

安協（其四）（138）

北滿からの通信は、露支の妥協によつて、東支鐵の原狀回復と共に、東西國境の解放が近きにあるを報じて來る、從つて吾等の心配する東支鐵西部沿線に於ける在留外人の消息も、近く判明することとならん、どうか無事であつて欲しい、此無事に等しく、呼倫貝爾にも異變が起つて居らねば善いがと思ふ、噂する如く其處へ蒙古兵なんかが來てゐて、將來の問題を貽すこととなきを、北滿平和の爲に祈らざるを得ない、併し今度は斯ることが無かつたとしても、此地方にはそうした禍根が今後潛まん。

◇

なぜなれば支那が外蒙古を、露國に委ねた如き情勢になつて、こゝに幾年かを經た、そうして內蒙古の蒙族は、支那の革命政亂に惱まさるゝのみか、絶えず民族的に支那側の壓迫を受け、自然に外蒙古へ靡く、此氣運に乘ぜんとするのが外蒙古で、恐らく露國の指嗾でもあらん、外蒙古の所謂革命派者は、內蒙古を自己に包容せんと努めて止まず、其鋒尖の顯はるゝが、地勢交通の關係からして、張家口方面にあらずんば、即ち呼倫貝爾殊に呼倫貝爾には、歷史的に其因緣の深いものがある。

◇

こゝにそんな歷史の探究をよすが、斯んな譯からして、比較的それと接觸の淺き東四省官憲が本問題に、焦慮することの、他支那官憲よりも優れとるこそ理なり、されど此理あるに拘らず東四省官憲の蒙族は拋し、東內蒙古王族會議を操縱はしてゐる、班禪喇嘛に信仰よりの蒙民收攬を委ねとるが、それは末なり、若し蒙族を自己に歸依せしめんとならば、何が故に內外蒙古に興りつゝある時代思想を捉へざる、之を捉へずして、斯の如く該民族に對する壓迫を緩めず、王族の操縱や蒙民の收攬もそこには些少の効果なきなり。

◇

露國が外蒙を操縱すと云ふ。そうして其手が內蒙古にまで及ばんとするは、露國からすると當然のこと、是れ蒙族を支那から拯ふとの言分が立つ、支那が此言分に服すとならば、亦何をか語らんじやが、苟くも支那の革命が、五族共和の上に立ちて東洋の平和を庶幾するものならば國權の恢復に邁進し、それで今少しく蒙族の保護と開放に專念するところあらねばならぬ、然らずして革命の精神を立て通すとあらば、露支の暗鬪は永久に絶えざるべし、東洋の爲に之を悲む。

◎蝶子曰く、荻川放談は本年これで擱筆やさうで、明年はまた筆を革めて讀者に見ゆとのことである。

鐵道會議の對策
委員會を設け可否を決せん

【東京廿七日發電】政府の鐵道建設線打切に關する貴族院、政友會側の反對主張は益々強く本日午後開かるべき鐵道會議は議論百出して到底圓滿なる解決は見込まれてゐない、即ち江木鐵相は此間の狀勢に從ひ適當の機會に特別委員を指名して之に討論を委ね特別委員會の決議に從ひ本會議の可否を決する外ないものと見られてゐる

て金解禁問題を始め國家的重要問題解決のためには徒らに黨派的偏見に囚はるべきでなく朝野擧つて之が善後處置を講ずべしと述べしむべしとの意嚮が各部間に有力となつて來たことは相當注目に値する

清新の氣を以て能率增進を期す
今回の大異動の眞目的 太田關東長官語る

關東廳未曾有の大異動を完了した太田長官は、その異動に就いて左の如く語る

今度の異動はもつと早く發表するつもりであつたが、內務省關係等の手續き其他が遲れた爲、私の豫定よりは二週間程延びて了ひ、其結果

歲末押詰 まつてからの發令となつて甚だ氣の毒に思つてゐる、異動の目的とする所は、要するに沈滯氣を一掃して人心の一新、官紀の振肅を圖り、清新の氣を以て能率の增進を期するにあつたので、此大目的の爲に相當思ひ切つた異動を斷行した次第である、內地との人材入換も勿論此根本方針に基いたもので、兎角植民地に永く居ると、內地との關係が疎交渉になり、爲に折角の秀才も漸次中央から見捨られるやうな結果となり易いので

時々入換 を行ふ事は極めて緊要の事と思ふが、さて人材を內地から拔いて來るだけならば割合に容易であるが、こちらから內地の相當な地位に採用させる事は久しく中央との交涉の薄かつた人程却々困難で、今回の異動についても、內務大臣始めよく私の希望を諒解して呉れたからこそ、相當の入換が出來た事と思ふ、今後と雖も時々內地との入換に努むべきものと信ずるが、幸ひ拓務大臣も此方針を諒として居られるから好都合であらう。今後私も此

大目的を 達成せんが爲めに、不斷の努力を拂ひ度いと思ふが、幸ひな事には渡滿以來各個人々々に接して見て、頗る優秀な人材の多いのを私は喜んでゐる次第で、異動本來の目的を達成する事もさまで困難はあるまいと信ずる

解散の可否など一切知らぬ
仙石滿鐵總裁語る

【東京特電二十六日發】解散か否かと見られてゐた政界に昨今俄に擡頭した解散回避運動のうち政界及び實業界の一角に猛烈なる暗中飛躍が行はれてゐるのは最も注目すべき現象で殊に今回上京した仙石滿鐵總裁の意向は濱口首相を動かす力多いと云ふので最も注目されてゐるが廿六日における濱相との會見後總裁は之につき左の如く語つた

わしが濱口君に會つたからと云つて何のため世間が氣にするのか譯が解らぬ、何ッ、減俸問題の例があるからつて、何時も柳の下に鰌が居るものか、殊にわしは三年前政界には縁を切つてゐる、そんな話には勿論一切觸れなかつたよ滿洲に二ケ月も行つてゐたので其觀察の模樣や實情などを話したばかりさ、解散の可否なんてそんな難かしい問題は滿洲の浪人に解るもんか、わしは一切關係がないよ昭和製鋼所問題は何れ大株主（政府）に相談するつもりだが今日はその事も一切話さなかつた

解散回避に努力
黨派を超越して善處する 犬養政友總裁の意見

【東京二十七日發電】政友會は二十六日犬養總裁が無産黨代表者に對し議會冒頭に不信任案を提出するやうなことはないと言明した通り努めて議會を解散に導くやうな態度に出ないこと聲明となつたが、政友會としては解散回避のためには手段を選ばぬと云ふのではなく議會再開の劈頭に於ける首相の演說に對し犬養總裁を陣頭に立

兩院奉答文捧呈式
けふ宮中鳳凰間に於て

【東京二十七日發電】貴衆兩院の奉答文捧呈式は廿七日午前十一時より宮中鳳凰間にて執り行はれ德川、堀切貴衆兩院議長は恭々しく夫々其院の奉答文を捧呈し、陛下には親く御受けありて左の優渥なる勅語を賜はつた

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

右終つて兩議長は御前を退下し右の趣きを兩院に報告するところあつた

昭和製鋼所設置問題で愈よ近く意見交換
仙石總裁、內地當業者と會見

【東京特電二十六日發】昭和製鋼所設置問題について仙石總裁の意嚮なるかの如く事業の

大縮小說 傳へられて居るも仙石氏の右に對する談話は既報記者との回答以外に出でず目下のところ政府と相談の上飽くよく調査して決めると云ふ以外には何等その具體的意見を洩らしてゐない從つて同問題が今後如何に解決するかは未だ想像を許さないが大體において設置の必要は既に認められて居るもの丶如くただ問題は一、設置場所二、政府及び內地當業者の意見などであるが

設置場所 は關稅問題の解決容易ならずとすれば州內說は恐らく困難なるべく總裁の門司における談話も此問題に觸れてをる樣である、又鞍山說も水の問題及び關稅の點から不利であるから結局新義州に決定する形勢となるのではないかと見られて居る、之に關する內地當業者と總裁の會見は

多分近日 行はれる模樣で其上總裁の肚さへ決まれば政府も大して異議なく承認するに至る事勿論であらうと云はれてゐる

防衛會に解體命令

【東京二十七日發電】社民黨では宮崎龍介氏一派の黨反動化防衛協議會問題に關し十六日午後七時より緊急中央執行委員會を開き安部黨首、片山書記長、島中、赤松、小池、西尾、松岡、小山、山下、山崎、和邊氏等出席協議の結果同盟支持派は宮崎除名を主張し總同盟側は沈默を守り反總同盟機構に於て宮崎氏と一脈相通ずる片山、赤松、島中、小池等防衛會解散を主張した結果總選擧を控へて自重的態度を採るの方針から一先づ宮崎氏等に防衛會解體命令を發した

研究會の鐵道會議對策

【東京二十七日發電】貴族院研究會は二十六日鐵道會議委員、政務審査部員の聯合會を開き鐵道會議對策を協議したが

一、一旦打切り更に緩和した線は明かに黨利黨略と目らる
一、鐵道會議を無視し政府獨斷で既定計畫を變更せるは遺憾である
一、飽くまで嚴正なる方針を以て政府に糺し研究會の懷れる疑惑を除かねばならぬ

と云ふに方針を決した、なほ右と關聯して鐵道會議を常設し權威あらしむべしとの決議を提出すべしとの議も有力に主張されてゐる

ほんこん丸

廿八日午前九時半港外着の豫定

人事

▲瀧與藏氏（四平街警察署長）轉任挨拶のため廿七日市內各方面訪問
▲和田秀夫氏（鐵島縣地方事務官）同上
▲泉文三氏（關東廳警部）同上
▲灘又次郎氏（關東廳警部）同上
▲大內與藏氏（小崗子警察署長）廿六日同上
▲萩野谷信順氏（前小崗子警察署長）退任挨拶のため二十七日各方面訪問寓居は市內青雲臺一二五ノ一
▲西片朝三氏（滿洲報社長）廿七日出帆うらる丸にて內地へ
▲福田顯四郎氏（元市會議員）同上
▲黑田誠氏（前國際事務）同上
▲長野千代造氏（聯合通信編輯長）同上
▲奉中ラグビー選手一行十六名同上
▲日笠共太郎氏 同上

大觀小觀

併し蔡氏もシマノフスキー氏もルウデイ氏もデニソン氏もハルビンへ到着し、勞農側は、例によつて赤い歡迎。その歡迎も、少し氣が早すぎる。

◇

山西軍の南下、東下、時節柄、注目の的。洞ケ峠から降り切るや否や。

◇

だが、洞ケ峠から降りても、登つても、支那の動亂は種子切れにはならぬ。

◇

張作霖の駒を動かしても、大局には些の影響なし。

◇

シ議定書なるものに支那側輿論（?）の反對。例によつて例の如くに。

天象氣報

各地の溫度（二十八日）北の風曇り

地名	十一時	昨日最低
大連	零下七、二	四、五
旅順	同 六、八	同 四、〇
營口	同 九、九	同 九、〇
奉天	同 一一、七	同 一〇、九
長春	同 一一、八	同 一二、二

客足は増えたが賣上高は變らない
好天氣と學校の休みに惠れた押し迫つた商店街

一昨日來の好天氣と學校の休みに幸ひされて今日此の頃の商店街の賑やかな事、子供を連れて御正月の包みを持つた奧樣姿が雪どけの町の街路を縫つて行くが、町の景氣はどうだらう百貨店は午前中と言ふのに買物の客で可なりの賑はひで十數人の店員が嬉手古舞の忙しさを見せてゐる、が然し此れも緊縮の影響と言ふのかどこに伺ひを立てゝ見ても「御客さんは昨年より反つて多くなりましたが、賣上金額には變りありません」と言ふ、吳服屋さん、百貨店、洋品屋、世帶道具屋さん等何處とも物價下落の影響にもよるが餘り高價なものは賣行が惡く時價品、實用向品は羽を生やして飛ぶ樣に賣れる、三越が夜間營業で大連の夫婦連れや沿線、旅順の御客さんを呼び寄せ午後六時から九時までの三時間で十一月での一日分を賣上げる樣な景氣を見せ浪速町では二十日頃以來は昨年以上に客足は多くなつたと喜んでゐる、然し何んと言つても不景氣の聲は如何ともするなく或貴金屬屋さんでは「私達の店で唯一の金融資本であるダイヤ物等は全然出ないので全く御話になりません」と喞つてゐた、子供連れの御客樣で一杯になつた雜誌屋では、多いのは少年少女雜誌で婦人雜誌の一倍半位、殿方の御讀みになる中央公論、改造、文藝春秋等は婦人雜誌の三分の一位、御蔭樣で賣行數は昨年と別に大差はありません」と忙しさうに算盤玉を彈き、暮もあと四日に押し迫つた。

刑事課の新設愈よ實現す
警務局の五年度豫算で刑事警察を一新

關東廳警務局の明五年度豫算により年來の懸案であつた刑事課が新設されることになつた元來滿洲は內地と異り民族、言語、歷史を異にせる民族より成つてゐるのでその取扱ひは內地の如く一民族の場合と比較し頗るむづかしく殊に滿鐵の附屬地は一步出づれば中國の地で、屢々不逞の徒が犯罪を起しては中國內に逃げ込みたる際等その搜査檢擧等は並々ならぬ苦心と努力が必要で、この見地から專門の刑事警察指導、統一機關を置いて事件の化學的の施設（指紋、寫眞、血液檢査、足跡等）及び民族特有の犯罪手口等を調査研究し、事ある際は直に平素の研究を利用して解決を敏速ならしめ又沿線七百哩に亘る各地の連絡の中心たらしめその間一貫した刑事警察の運用をなさしめ更に堪能なる刑事警官を生きた材料で訓練し從來の動もすれば化學的ならざる見込み警察とならんとする向きを改め化學と刑事警察の一致を見るやうせんとする滿洲刑事警察の第一步を踏み出したものであるが、右は課長に警視を据え其他警部以下十六名の人員で大連に新設する筈で總經費三萬八千五百圓である

貨車の洪水 けさの埠頭構內

兒童の手でお正月餠を寄贈
氣の毒な人々のため

日本赤十字社大連支部では前年同樣本年も市內の各種慈善團體に收容され又は市役所から救助を受けて生活してゐる人々が鏤々新年を祝ふとの出來ないのに同情し學校の贊同を得て各小學校兒童の溫かい同情に訴へ左記の方法で餠を寄贈し又社會事業團體の經營を幾分でも援助すると共に兒童の慈善心養成の一助に資することゝなつた

一、有志の者は三十日まで又は一月一日登校の際持參のこと
二、一人三切以內
三、學校備付の容器に自由に入れること

因に大連タクシー營業所では此の美擧に贊助し昭和三年十二月二十六日より同四年十二月二十五日迄に至る過剩金四十九圓五十五錢を寄贈した

內地のお正月へ
けふ最後のうらる丸 各等とも滿員で大賑ひ

年內に最後の內地行定期船と云ふので廿七日出帆うらる丸は土地の人で賑はひ一二三等共に滿員の盛況裡に出帆した折惡しく奧地よりの急行列車が遲延したので豫定より三十分遲發したが、お正月を內地で過さうと云ふ人達が多く殊に全日本選手權大會出場の榮を擔つて奉天中學ラクビー選手一行十六名がハチ切れる樣な元氣ぶりで乘船、前國際事務長田誠氏が々地に歸る事になり夫人と共に名殘惜げに離滿した

御眞影を御下賜
三校へ奉安

今度滿洲教育專門學校、長春西廣場小學校、撫順新屯小學校に御下賜になつた御眞影は二十五日入港のうらる丸に奉安、關東廳に奉安されてゐたが、二十七日滿鐵平野學務課長は午前九時關東廳に出頭御眞影を拜授し午後十二時半歸社大平副總裁以下重役社員の奉迎を受け總裁室に奉安された、而して二十八日九時大連發急行にて平野學務課長捧持して前記三校に傳達する筈であると

珍らしい顔合せ 右から阪妻、メリー、ダグラス、森靜子の記念撮影

人權尊重の決議提出
司法當局に辯護士協會から

【東京二十七日發電】日本辯護士協會は二十六日總會を開き最近各種疑獄事件頻發し多數の被疑者を出してゐるに鑑み司法當局に人權蹂躪の遺憾なきを期するため左の決議を行ひ丸山警視總監、鹽野檢事正、三木檢事長等に之を提出した

當局は犯罪搜査に際し人權を尊重し強制處分並に警察署の拘留處分には特に愼重なる注意を拂はんことを望む

保險金倍額支拂ひの契約を認可
明治生命の新しい試み

【東京廿七日發電】豫て商工省に認可申請中であつた明治生命の保險金倍額支拂特殊契約條項附の件に就ては商工省に於て審議の結果

一、千圓につき金一圓の特別料金徵收
一、明かなる外傷を受けて其のため六十日以內に死亡せる場合に限る
一、但し外傷に限らず窒息腦震盪等に依り突發的に生じたる死亡は特に有效とす

等の條件に依り二十六日認可に決定し右の指令を發した之れは各國に於ける最初の試みであるため斯界の注目を惹いてゐる

吳光新氏が大連へ
外務當局から一週間の許可
策動でないと語る

關東州內において諸種の政略的策動を禁ぜられ內地に亡命中であつた前陸軍大將吳光新氏は今日迄別府にある張宗昌將軍と共に種々なる世評を浴びてゐたが、この間約二ケ月東京において我當局に了解運動中のところ、突然門司經由釜山に上陸々路廿六日夜行で城口顧問帶同來連したが、右は外務省當局より一週間の許可を得て來連したもので「私用がウンと溜つてゐるからそれを果しに來たのです、策動ですつて、今更何も出來つこありませんよ、どうも內地に居ると經費が嵩つて仕方がないです」と廿七日午前吳光新氏は城口氏と共に大連署水上署等關係方面を歷訪挨拶した

宣傳ビラを撒く
日本海員組合長排斥 入港船舶全部に洩れなく

廿六日夜八時過ぎ埠頭待合所內に船員體の廿四五の男が現はれ、懷中より宣傳ビラ樣のものを撒布しそのまゝ闇に紛れて姿を消したが右事實を聽き知つた水上署警備係では早速同署高等係に一報すると共にビラ撒き犯人の搜査に懸命となつた、同ビラは日本海員組合長濱田國太郎を排斥すべしと稱する頗る激越な文句を連ねたもので

水上署高等係でも打捨て置けず先づ庄島兒玉兩特務が主となり沖田高等主任指揮の下に深更に及ぶまで入港中の各船舶を臨檢したが、同ビラは各船に殆ど洩れなく撒布してある騷ぎに同署でも大騷ぎとなり沒收すると共に一方廿七日早朝より更にビラ撒き犯人の檢擧に懸命である

けふ常盤座檢査
電動機で開館日未定

電氣遊園下連鎖商店內に目下工事を急ぎつゝある映畫常設館常盤座は此程漸く完成したので廿七日關東廳より磯部警部來連し小崗子署柴田保安主任その他各關係者立會ひの上正式に檢査を行ふ筈であるが同座では檢査終了後は直に明廿八日遲くとも明春元旦より花々しく開館する運びとなつて居つたところ映畫に使用する電動機に關する願書を去る廿五日小崗子署に提出でたので同署では廿七日右書類を關東廳に添附したが關東廳では廿八日より御用納めとなるので右書類も明春の御用始めまで一時蹉跌のやむなきに至るのではないかと見られ若し便宜上廿八日までに設備許可がなき場合は當分の間開館が出來ず關係者は目下憂慮して居る

共產黨員に新判例
最初の判決

【東京廿七日發電】共產黨事件で最初の確定判決を受けた北海道小樽市竹內清以下五被告は共產黨北海道オルガナイザー三田村四郎に勸誘され同黨に加入を承諾したが未だ加入手續を採つて居なかつた事を理由に上告して居たが大審院刑事第一部橫村裁判長は新判例を作り加入承諾氣味でも有罪と決定判決した

喘息を根治
外科手術により 世界的新發見をした 關東廳醫院の加藤博士

世界の醫學界でも未だその治療方法が發見されてゐない喘息を今回完全に根治する方法が關東廳醫院外科部長加藤守吉博士の研究に依つて發見され從來不治の病として喘ぎ苦んでゐた患者に對し一大福音が齎された事は世界の學界に對する一大誇りである、同博士は明年一月開催の學會に於て總てを發表する由であるが、既に入名の患者に對し外科手術に依つて施術せしめたが、その手術は僅か二、三十分間殆ど談笑の裡に完了され生命上何等の危險もないと云ふのである 手術の方法は十九世紀の中頃フロインド博士が肺氣腫患者へ試みた手術法とその學說とに共鳴し苦心研究の結果局所麻醉の上肋骨手術を行ふのであると（寫眞は加藤博士）

△△△△△ヒヤカシ御難
鮮妓から袋叩きに遭ふ

市內聯隱街四丁目一〇一番地若森景一(三三)は廿六日夜十二時ごろ沙河口元町九二番地附近の朝鮮料理店を素見中同番地の朝鮮料理店二葉にて酩酊より散々袋叩きにされ午前一時過ぎ沙河口署に泣き込んで來たので同署では目下各關係者を取調中

深夜に騷ぐ

市內山縣通一九六プラナーモンド商會支配人オウエン・エス・リツトル氏は廿七日大連署を訪れ最近隣家のキヤバレーボンベイが深夜三時頃迄騷ぎ立て家人も眠る事が出來ず、何とか處置願ひたいと訴へ出た

石河附近で貨車脫線
一時線路閉鎖

大連埠頭を發車した二七三貨物列車が二十七日午前三時頃石河・普蘭店間六十九キロ附近第三鐵橋（石河鐵橋）を通過中、一關車の石炭庫車テンダー及空貨車四輛脫線、更に機關車より一番目の無蓋車一輛橋上より墜落破壞し上下線とも閉塞したので大連よりクレーン車瓦房店より救援車を出し復舊作業に努めた結果午前七時半頃上り線だけ開通したが、引續き復舊作業中で上下線の開通は午後二時頃になるらうとみられてゐる、原因は機關車の故障か車輛の故障か不明なるも損害は相當多額に上る見込で目下取調中である

炭火のため瓦斯中毒
松本丸で發見

郵船會社所有松本丸は廿七日早朝神戶より入港第三十八番バースに繫留された午前八時頃土屋檢疫官が同船臨檢の際、船醫高圓軍人と其船內實習生の寢室を見廻つたところ同室に就寢中であつた無線技士實習生花井隆(二)が意識不明になり既に假死の狀態に陷つてゐるを發見した、右は大連入港と共に夜半より俄に氣溫が低下したので炭火を焚いたまゝ就寢し、そのガス中毒に當つたものと判明、直ちに陸に無電を打ち酸素吸入器を要求したが生命はどうやらとりとめたらしいと

埠頭待合の擴聲機
愈よ設置する

埠頭における新設備として船客待合所內にラウドスピーカーを設置し乘降客の便宜を計ると共に一般の混雜を防止するとは既に久しい懸案であつたが、愈々その必要に迫られ廿七日よりこれが工事に取掛る事となつた

右は船客待合前入口に一個、內地定期船繫留場前に二個、待合所內に一個合計四個のラウドスピーカーを設置するもので、これが案內に對しては待合所內案內室より放送することとなつた

大連醫院休診日

大連醫院の年末年始の外來診察日は十二月三十日、及び一月二日は普通の通り診察を行ひ三十一日一日三日の三日間は休む事になつた

人妻の家出

市內西公園町二〇七紅葉館止宿大野米五郎妻トラヨ(二三)は二十四日午前九時頃無斷家出し翌日逢坂町吉平方に立寄つたが、行方不明となつたので二十六日夫より若狹町派出所に搜索方を願ひ出た

行路病者

廿六日午前十時四十分ごろ市內橘立町十二番地先にて氏名不詳の瀕死に陷つて居る支那人行路病者を同所を警邏中の小崗子署員が發見し手當を加へんと馬車にて本署に連行中小崗子署前に差しかゝつた際遂に絕命したので死體は宏濟善堂に引渡したが右行路病者はモルヒネ中毒者であつたと

無錢飲食

本籍東京府下淀橋町角筈四六當時住所不定無職增田政次郎(二四)は二十五日午後一時ごろ市內信濃町九五銀猫カフエーにて懷中無一文の儘十六圓三十錢の飲食し美濃町派出所に突き出され廿六日大連署の取調を受けた

明大校友會

今般安東警察署長に轉任する事となつた前大連署長高山勝司氏の送別會を廿八日午後五時半から菊水で開催すると

情けの玩具

市內讓家屯滿鐵倶樂部幹事河井通氏は廿七日小崗子署へクリスマスに使用せる玩具七個を正月に玩具も買へない兒童に與へて下さいと屆出でた

平安異香（212）

葉多默太郎作　一彌畫

奔流（一〇）

からつけつの歡兵衛が、東山の觀修寺邸門前にへたばつてしまつた時、使女お秀は、柳並木の賀茂川堤を北へ向つて歩いてゐた。心急ぎの歩どりである。くるりと左へまがると、決成寺だつた。

その決成寺の門前に、一構への荒廢した邸がある。屋根が落ちて柱ばかりになつた門脇に、一基の名札が立つてゐる。風雨にさらされた墨のあとが、

陰陽師　雲龍坊

とある。

初衣の中から、目早く左右を見廻して、ついと門を入ると。雑草に剷された石疊の跡をすた／＼と踏んで、庭木の蔭に身を隱すやうにしながら、階の下に立つた。

「お許し下さいまし」

音なふと、足音を聞いて出て來たらしく、すぐそこに一人の美童が坐はれて手をついた。

「どうぞお上り下さい」

朽かゝた椽を／＼と、中庭に面した奥の一間に熊の毛皮を敷いて一人の男が端坐してゐる。

鞭髮にした帯のやうな頭髪も、太い眉も、鬢から顎へかけて伸び放題になつてゐる鬚も、毛といふ毛が、悉く銀のやうに白く光つてゐるのだが、眉恰好から面貌の若さは、決して老人である筈はないのだつた。

學問をすると毛が白くなるといふから——といふ京童のとり沙汰だつた。雲龍は陽化した韓人で當時かなり聞えた陰陽師だつた。

「御免下さいまし」

膝にお秀が手をつくと、雲龍は脇息にのせた腕の蔭から、チラと一瞥をくれた。

輕く眼を下げて、お秀は立上つた。

雲龍のどぐろを巻いてゐる部屋を横切ると向ふの隅に半間の妻戸がある。

その妻戸を開けて、お秀が背に戸を閉めるまで雲龍は同じ姿勢のまゝで、腕の陰から瞬きもしに、眺い眼を、門の方へやつてゐた。

妻戸の奥は長廊下になつてゐて昔は武器庫に使つたのであらうと思はれる床高の一棟に通じてゐた。格子扉を叩いて、

「秀」

といふと扉が中から開かれた。すつかりの總を閉ぢて、中には灯をともしてゐる。

扉を開けたのは、丸坊主の鐡だつた。大悲山の木葉天狗である。外に四五人木葉がゐる。

「春さまは？」

ときくと、

「こゝにゐますよ」

春光の聲だつた。

隅つこの臥榻の上に起きて坐つてゐるのが春光だつた。讀者には久しぶりの春光である。見違へる程逞しい屈強の男になつてゐる。

お秀は歩み寄つた。

枕頭に二三冊の書物があつた。表紙の上向いてゐる一冊に「螢火術秘傳」とあつた。

「忍術の御勉強ですか」

といふと、

「退屈ですから——」

といふ。

お秀は微笑んだ。

その微笑みの意味が春光には判らない。

「何か、こゝへ御用ですか」

「主領の隱れ家へ行く途中でしたが、あなたに一寸用が出來たので、お寄りしました」

「私に？——どういふ……」

「明日の午の刻に、五條橋の西詰へ行つて下さい。人が待つてゐますから」

「さうですか、承知しました。私一人ですか？」

「えゝ、お一人の方がよいでせう」

「武器は？、一體どういふ事件です」

「武器——さうですね、やさしい心を持つておいでになればいゝでせう。女といふものは、みんなあはれなものですから」

「女？」

「春さまに會ひました。町で……」

「……」

忍術の書物が、春光の手の中にめちゃ／＼になつて震へてゐた。

映畫と演藝

松竹映畫の帝國館

（四）正月映畫陣

松竹映畫のみを上映して人氣を集めつゝある帝國館は初春興行も松竹映畫の優秀番組を以て他館の混合番組に對峙する作戰に出で人氣俳優の主演映畫を列べて景氣を煽つてゐる、第一週は牛原鈴木田中のトリオを以て製作された蒲田の特作現代劇「山の凱歌」で傳明絹代等を吸收し時代劇には人氣俳優の第一線にある林長二郎主演の「地に叛くもの」を配して花柳界方面の人氣を一氣に掌握せんとし更に千早晶子第一回主演の「鬱晴るゝ」を加へた三本立である、第二週は松竹現代劇映畫の呼び物として評判の高い菊池寛原作の「不壊の白珠」を上映するが、蒲田の新スターとして及川道子及び高田稔が出演してファンの興味を唆り時代劇には市川右太衞門主演の「足輕劍法」を組み添物として「日佛競技」の實寫を上映し「不壊の白珠」が期待されてゐる、第三週は月形龍之助の「白野辨十郎」と井上正夫と八雲惠美子主演の「情熱の一夜」に齋藤達雄主演の「女難歡迎腕くらべ」の三本立である【寫眞は山の凱歌】

「ポンペイ最後の日」が正月興行に割り込んで何處かに上映されるらしい▲大日活の「維新の京洛」大會の初日は大入滿員で映畫街を驚かしたが▲結局浪速館は「維新の京洛」が最初と最後を押へたことになる▲歌舞伎座に來演する喜樂會の田宮米峰は田宮貞樂の息子で伊井蓉峰に就いて修業し、その後成美團の女形として新派界に活躍しマキノの「忠臣藏」に出演してゐる▲また秋月源之助も手堅い地味な俳優で關西の人には馴染が多い▲今回の關東廳大異動で小林檢閲官が本廳入りをしたので正月興行のフイルムは取敢ず今井前檢閲官が臨時にやることになつた

買物ニユース

▲和洋雜貨類の豐富で買ふ者の氣持の良い浪華洋行は店員總出で緊縮そつちのけの大車輪

▲宅の店の歳暮品の賣行きは赤裕別である和洋酒、煙草、食料品を始め各國産の珍品揃ひは同店の誇りである

▲呉服反物類は昔と違つて今では暮の三十日迄に買つても元旦の初着が出來るといふ便利な世の中となつた

▲市中一流呉服店の鈴木、鈴木京染、丸三、ちゝぶや、三井、伊藤、田中屋、滿壽屋等各店獨特の品質と廉價とを標榜して奉仕的努力をしてゐる

一等	二等	三等					等外
銘仙夜具四枚組壹重	武枚綿毛布壹枚	メリヤスシャツ上下壹組					上等大判タオル壹枚
3191	167	19	628	1873	3577	4219	御買上の際お渡し致しましたタオルを等外景品と御承知願ひます
	1670	97	685	2050	3630	4448	
	1754	165	759	2153	3700	4489	
	1816	186	866	2173	3759	4547	
	2047	201	1089	2334	3777	4581	
	2845	251	1092	2399	3872	4640	
	3085	340	1335	2858	3941	4689	
	3884	443	1615	2883	3960	4736	
	4158	455	1825	3504	4066	4766	
	4579	464	1830	3505	4108	4908	
一枚	十枚	五十枚					殘全部

滿洲日報

滿洲日報

關東廳の異動
新轉補者への希望

新陳代謝、新らしい氣分に更改することは官場にありても當然の要求である。第一印象といふか、とにかく場所が替つただけにても氣持が違ふ。それに新進を拔擢し適材を適所に置くとあつては鬼に金棒といふべきである。

◇

太田關東長官が來任し、中谷警務局長が就任してから、警察方面その他において、大に官場の氣分を刷新せんと鋭意してゐたことは多とせねばならぬ。わが關東廳は內地の府縣などと異り、常に對外關係といふものに曝露されつゝあるところから、緊張また緊張、新と舊との區別なく、サボることを許されぬ狀態にあるのであるが、太田長官は、一般の緊縮、緊張を期し、かつ警備方面にありては、明年度豫算に十六萬圓の增額を計上し、以て一百二十名の警察官を增員せんとしつゝあるが如きは、最も時代の要求に適合したものといはねばならぬ。尤も、政界、昨今の情勢を以てすれば、あるひは豫算の不成立、前年度踏襲といふやうなことに陷らぬとも限らぬが、併し、關東廳當局の努力に對して[illegible]在住民としては大に感謝すべきであらう。

◇

[illegible]日本人の舊來の陋習と[illegible]きか、海外に職を奉ずることを好まざるの結果として、外地官場と內地官場との官吏任免に於て、甚だしく不圓滑、ため[illegible]れば外地官吏たることを[illegible]を生じたるやに風聞せら[illegible]昨今、拓務省の新設以來[illegible]障壁の撤廢せられ、わ[illegible]よりも內地官場へ、また內地官場よりわが關東廳へ有爲なる官吏を轉任せしめつゝあ[illegible]は、ただに內地外地の狹[illegible]を一撤することに成功[illegible]と共に、わが官場の空氣を[illegible]あたるものといふべきで[illegible]

◇

だが併し、官紀の振肅とか、能率增進とかいふことは、組織よりは寧ろ根本は人間にありといはねばならぬ。官廳なり會社なり、その組織が大となれば大なるほど、組織といふものを以て統制して行かねばならぬことは、已むを得ざる當然である。併しながら、その組織によつて、その組織體を有機的に活動せしめて行くものは、何といふても人間がもとである。この人間さへ緊張し、しッかりとしてテキパキ活動して行くにおいては、組織上の少しぐらゐの缺陷はこれを補つて餘りありといはねばならぬ。いかに組織が完全に出來上つてゐても、それを動かす人間が堅實でなく、緊張を缺くにおいては、全體の統制は勿論、決して能率も上るものとは思はれぬのである。

◇

組織が尨大となり、分業が甚だしくなると、折角の人間の活力精神力といふやうなものが機械化したりする、その機械化が、すなはち合理化なりなどと誤るものなきにあらざるも、眞の合理化は、機械化よりも精神化、組織化に立脚する人間化でなくてはならぬ。何といふても根本は人間の問題でなくてはならぬ、その眼目とするところは人間に存するのである。この意味において吾人は、最も機宜に適したものと認め、而して新に轉補せられたる多數官吏に對し、仕事の基礎を人間の上に置き、眞の合理化に邁進精勵せんことを望むものである。

臣籍に御降下の山階宮茂麿王殿下

山階宮茂麿王殿下には過般の皇族會議の議決により臣籍に御降下あらせられ[illegible]最後の宮中三殿御禮拜の爲め二十三日午前十時參內、引續いて朝見の儀を行[illegible]少尉の御正裝にて御出門の茂麿王殿下

多年の懸案なる關東州の稅制整理
明年度以降三年間に調査して根本的に改革斷行

【東京發】關東州の稅制整理は多年の懸案となつて居り先年中央政府の稅制改革が實行されて以來遠からぬ將來に於てこれを實現すべしとの說が有力であつたので、關東廳に於ても今日まで內々各方面の事情を調査し且つその資料蒐集に努めて居たが、今回幸ひにも

豫ねて要求　して居た稅制調査費の計上を明年度會計に於て承認されるに至つたので、明年度以降約三ヶ年間に於てこれが調査攻究を正式に行ひ時代の推移に適應する稅制改革を實行する事になつた。勿論その改正の內容は調査完了の上でなければ如何なる方針に依つて如何なる改革を行ふや決定しない譯であるが、州財務當局の方針として大體考慮されて居る所は素より姑息の一時的改正に止めず、國稅地方稅を通じて根本的の改革を斷行せんとするにあり先づ租稅體系の樹立、稅負擔の均衡並に公正を目標にして州財政の確立を期せんとするにあるが、素より收入增加主義を以て之れを行はんとするものではないから

之れが實現　の曉に於て居住民の一般的負擔加重を生ずることなきやう十分の注意を以て各種稅金の調合決定を見ることになるであらう、而して現行稅令に基く國稅の中樞をなすものは法人所得稅及び地租でこれに補充の意味に於て鹽稅、酒稅、煙稅等の製造稅及び消費稅あり、外に取引所稅（取引稅と取引所營業稅の二つ）あり、また地方稅としてはその中樞をなすものは營業稅でこれに各種の雜種稅を配してその補充をなして居る、その內國稅に於て當然問題になるのは現行の法人所得稅に於ける第三種所得稅即ち所謂勤勞所得稅）の新設可否であるが、之れを果して新設するか何うかは勿論各般の實情を調査攻究した上でなければ州內特殊の事情もあるこ[illegible]とであるから決定し難いことであるが、理論上から云へば成るべく少所得者の負擔を輕くした稅率を定めるのを目標に之れを新設するのが時宜に適應したものであると見られて居る、また法人所得稅の稅率並に累進方法に就ても相當考慮さるゝ事となるべく、更に第二種所得稅（即ち公社債利子、銀行預金利子に對する課稅）や資本利子稅の如きは未だ關東州の如き土地柄では時期尚早なれば

到底問題に　ならぬであらうと見られて居る、次に地租は現行令に於ては全部耕地と看做して一畝に付二十錢の一本であるがこれは負擔の均衡上勘くも市街宅地と耕地の二本に區分し各別の稅率を賦課すべし（或はこの外に山林池沼の分をも加へて三本とすべし）との說もあるが、これまた結果に於て市街宅地の地租重課となることが果して現在の事情に於て許すや否や等も十分攻究する必要があるであらう。

輕減若くは　廢止說も民間に行はれて居るが、關東廳當局としては之れを直に輕減若しくは廢止することが出來るや否や疑問で、社會政策上その他より見て十分慎重に考慮されるであらう、次に地方稅中最も緊急の改正を要すべしと見られて居るのは言ふまでもなく現行の營業稅を內地稅法同樣營業收益稅に改正すべしとの說で、昨年大連商工會議所に於て蒐集したる資料に依るも一般營業者は現在の外形標準に依る課稅を收益課稅主義に改めて貰ひ度いと希望するもの多く、進步したる課稅方法として內地稅法に於ても既に之れを採用して居る事であるから

之れは當然　今回の稅制調査上の主要な一つとなるであらう、只營業收益稅採用に就いて不可分の問題として考慮されるのは前記國稅に於ける個人所得稅の新設の可否であつて、これは其の課稅の性質上負擔者が營業者である場合は二重課稅（法人所得稅も亦同樣）たるを免れず、右兩者の權衡を如何にするやは今回の稅制調査上の最大難問題であらうその他地方稅中の雜種稅に就てはその種類雜多にして一々これを改廢することは却つて複雜な考慮を要する

個人所得稅（內地稅法に於ける第三種所得稅即ち所謂勤勞所得稅）の新設可否であるが、之れを果して新設するか何うかは勿論各般の實情を調査攻究した上でなければ州內特殊の事情もあるこ[illegible]

南征雜錄　(69)
難波勝治

廣東と其特色

龍山丸から下船して埠頭構內に出た時、先づ肝を潰したのは雲霞のやうに寄せ來る客引だ。私は河屋旅館の山崎君に導かれて漸く街上に泳ぎ出たが、其處には更に幾百の人力車がワレといつた調子で客を取卷く、顴骨の高い見るから慓悍な車夫の群で、若し交通整理の任に當る

便衣隊が　道を開いて奧へなかつたら、荷物を擁へた婦人など暫し立往生せねばなるまい、が此交通整理……それが又頗る亂暴で、三尺餘りの棍棒振り上げると、車體も碎けよと力任せに毆り飛ばすと、蜘蛛の子を散すやうにサッと道を開ける、廣東でなければ一寸見られぬ奇觀だ、人の多いのとその亂暴振りとは、支那到る處の商埠地に共通する弊だが、廣東は殊に甚だしい、推定二百[illegible]萬人[illegible]

週末東信
不景氣
木瓶生

歲末の色が日に濃く街頭を彩つて行つてゐる不景氣襲來の聲におびえた小商人達が大割引景品附なんていろいろの趣向を考へていつもなら十二月も十日すぎに歲暮品の贈用やボーナスを當込んでやる店頭の裝飾などを今年はもう先月の末から慌てゝやり出したので、何となく街頭が騷々しく、歲末氣分が例年よりは早くやつて來たのだ

× × ×

だが何んなに街頭を、店頭を賑やかに美々しく飾り立てゝ「斷然大勉強」だの「率先値下」だの「時勢に目覺めて」だのと鬪ひみたいに店頭へ貼り出したつて、客はショウ、ウインドーに物欲さうな眼を向けるだけで、景氣の善い「毎度有難う御座い」の聲はあまり聞かれない

× × ×

銀座に澤山列んで居る洋食店などへ晝飯時にでも行つて見玉へ、客の數よりは常に給仕の方が多い、或る大きな日本料理店では[illegible]

監禁露人を愈よ放免
白露人戰々兢々

多過ぎる小賣業者

滿日地方版

哈爾賓

『大連の露人は安樂に生活』
旅大から歸哈した 露人記者の視察記

旅大方面の狀況を視察したハルビン露字紙記者團の一行中ルーポルの記者は「大連に於ける露人のコロニー」と題し左の如く同紙に記載してゐる

大連に於けるロシア人の數は毎月增加の傾向にあり、一般露商は平和に且つ事業の發展に就いて十二分の保護を受けてゐる、銀行側の信用も少しの差別も無く取扱はれ

滿鐵は特に 彼等保護者に關しては深甚の注意を拂ひ貨物の保管、鐵道一切の取扱に就いて極めて低廉にしてゐる、ヤマトホテルはハルビン商人の巣窟と云つてよい住家となつてゐるツイクマン氏は砂糖を取引し最近ハルビンに多量輸送したハルビンの貸家主で輸入商のエ、ル、レールマン氏は特產を商內しソスーキン支配人であつたレウイニトフ氏は家族と共に居住してゐる、シュルマン氏は大連で二階建の家を購ひパン製造を經營し、カシヤノフ氏は星ケ浦に住み、ウオルガ商會のラッポルト氏の夫人はアメリカから大連に到着した、バアレー、グロウグレマンの支店は商賣も仲々繁昌してゐると云ふ

この分で行 けば大連で露西亞人はホテル、レストランを開いてゐる、日本人の嗜好に適した腸詰めの製造はダシチーツカでしてゐるが賣行もよい、其他チエトラル旅館等ありロシア人で無職のものはない、終住民の代表としてはホーロワット將軍と長春のロシア副領事であつたドーリヤ氏が時々來る、ネチヤエフ將軍、メルクーロフ、ハンジーン、カツペリ軍の大佐ロウエツイチ等の人々に猶太人は

約五十名住 んでゐると ハルビンの露人間では大連を眞の樂天地を考へてゐることも時代の變遷であらう

ハルビンの 勞農總領事

〃府の交渉成立で勞農總領事としてメリニコフ氏が再度來哈するかどうか、ロシア人側では一時代理が就任し其れも東鐵管理局長の來任後であらうと云ふ、尚松浦鐵のロシア人職員は一時代理領事の着任後に解決するだらうと

白系露人 多少動搖
交渉成立で

新任正副管理局長が近く來任すると云ふ意味でもあるまいが、露頭の最上に讎へつてゐた露支一般の團旅は新しく取替へられた、ロシヤ人の從業員中にも白系側は多少動搖し幹部として睨まれたものは身の振方を考へてゐるが、一般移民は支那主權の保護を受けてゐるからソウエート幹部が來ても別に手荒なことはされまい、支那側としても對內關係にある我々白系露人に對してロシヤの主張に服從し我々を驅逐するに至れば支那の主權は果してどこにあるか疑はれるものだ、だからさうしたロシヤの容喙に耳を傾けないから大丈夫である假令一時平和に落ちついても再び問題は起る時があるから、白系ロシヤ人を支那から放逐することは支那自體の不利益だと稱してゐる

安東

前年度に比し 二萬四千圓減額
査定された明年度豫算

安東公費區昭和五年度豫算諮問地方委員會は二十三日午前十時より地方事務所會議室に於て開かれた、大體に於て地方事務所の原案通り承認された、査定された歳入出豫算を詳記すれば左の通りである

歳入の部

項目	金額
手數料	一萬七千四十二圓
諸口收入	一萬四千十五圓
補給金	十五萬二千七百十六圓
課金	十四萬一千五百卅九圓
內戸別割	十萬五千九百四十三圓
雜種割	三萬五千五百九十六圓
總計	三十二萬五千三百十二圓

歳入に於て前年度に比較すれば六千四百十六圓の增加である

歳出の部

項目	金額
▲經常費	
事務費	六千十圓
會議費	九百八十二圓
土木費	六萬八百五十圓
教育費	十三萬九百七十二圓
圖書館費	九千七百十五圓
衛生費	四萬九千百九十八圓
警備費	二萬一千五百卅九圓
公園費	七千三百四十圓
公會所費	三千九百五圓
市場費	二千二百七十圓
豫備費	二千五百圓
經常費計	卅二萬四千二百六十二圓
▲臨時費	
土木費	七百五十圓
教育費	三百圓
合計	千五十圓

而して之れを前年度に對比すれば經常費に於て一萬五千六百十圓を增し臨時費に於て九千百九[illegible]圓を減して居るが

新規事業費 として計上されたものは左の通りである

大和小學校一學級增加費 [illegible]
同煖房改造費 [illegible]
普通學校補助費 千三百[illegible]
傳染病豫防費 [illegible]
衛澄費 [illegible]
事業費附帶の財產償却費 [illegible]
市場費 二萬二千五百[illegible]

近藤松五郎氏 表彰せらる

天號近藤松五郎氏は去月三十日東京に於て開催された第六次產業協會評議員會に於て伏見總裁宮殿下から產業貿易功勞者として表彰され、二十四日表彰狀の傳達式を安東領事館に於て舉行した、當地では故中野初太郎、式村茂兩氏と今回同氏が表彰されたものである

國際列車で戰線突破の記（六）

領事團からの電報で 引揚は暫く見合せ
一行引留策に支那側で芝居
神藏特派員

[illegible]

◇面白い芝居 [illegible]

◇血相變へて [illegible]

◇後で聞けば [illegible] 滿洲里局長から國際列車を滿洲里へ返せよとの命令ですから私は[illegible]の許可を得るのですが、貴方から私宛に發車通知をして貰ひ[illegible]

ら哈爾賓に食料を注文をしやうと云ふことになり外人側は電報で注文し日本側は明朝發の郵便車で高橋配給主任が出發するとゝなつた

小林大毎君も **◇細君が戀し** くなつたとあつて同行を申出る、夕方札免公司の加美長、田中兩氏が飛び込んで來る、林場から歸つて來たと云ふので土產話が盛澤山だ、加美長氏の話に依ると札免公司林場にも支那兵が來た、當日多數の兵卒が押しかけて掠奪をやらうとしたので早速廠長に抗議を申込んだ所將校を見張りにつけてくれた、それでも無智な兵が當り前のやうな顏して掠奪しやうとするので可哀想に

◇兵卒二名を 射殺して やつと掠奪をまぬがれたと、加美長氏の話がはづんでゐる所に又老河驛長がやつて來た、曰く唯今免渡河驛長から電話でロシアの飛行機が同地に飛來し國際列車は今何處にゐるかとの手紙を落して行つたと、そして「國際列車の所在地を確めた上その後方を襲ひ國際列車を自分の勢力內に引入れるのでせうロシアはきつと歡迎しますよ」とつけ加へる、さア判らなくなつた支那の監視があれ程嚴重な中で驛長君がこんな事を言ふ筈がない

殊にこの驛長は **◇支那の國籍** あるので從業員から排斥され困つてゐたのを支那が救ひ上げた札附きの驛長である、どうやらこれも芝居らしい、今日の新聞では支那當局は國際列車を止めて置きたいのだと云ふことになつた、尤もその爲めの芝居にしてはあまり多勢が入り過ぎてゐる今一つ茲に面白いことがある、ヤケーシの附近にパルチザン來襲し交戰の結果敵一名を捕虜にしたから博克圖に護送してお目にかけるとの一昨日の約束通りロシア人の捕虜を護送して來た、司令部で

◇嚴重取調べ て見ると又驚いた、ヤケーシに林區を持つウオロンツオフ出張員が博克圖から林區に行く途中支那兵に捕へられたものだと判り、司令部でも開いた口がふさがらず早速放免したとお詫びを聞いてゐるやうだ

謎の怪雄

閻氏の正體は
右に馮氏の兵力を抑へ 左に蔣氏の財力を殺ぐ
兵亂毎に肥る財嚢

【天津發】「風雲驟變し[illegible]誤解を完全に諒解せしむ[illegible]方力を竭して斡旋せり、[illegible]變化殊に甚しきも鞏堅忍[illegible]力を加へざる所以は一切[illegible]を政治的に解決し以て總[illegible]謂たる（天下爲公）の實現[illegible]るが爲めなり」

右は閻錫山氏が去る二十日[illegible]て全國に聲明した所謂和平[illegible]一節で、氏は斯くて改組派[illegible]し毅然として中央の統一擁[illegible]護することを明白にした譯[illegible]少しく態度を曖昧にした譯で[illegible]ると謎の男は依然謎の男た[illegible]はない、初め

一切の政治は 蔣先生が[illegible]吾等は下野外遊して[illegible]を求めるのみと稱して馮玉[illegible]運城に迎へ妻君の郷里たる[illegible]に優遇し、其邸宅と太原の[illegible]には直通電話を架設し朝夕[illegible]下爲公の實現を語り合つて[illegible]而も無線電信は馮玉祥氏の[illegible]動から西北軍の兵力に至る[illegible]京に傳へられてゐるから面白い各方面の代表は太原に雲集するが何人も閻氏の眞意を捉へることが出來ず多くの人々は「彼の心は彼のみ知る」に呆れ返つて歸つて了ふと「國人の我を知り我を疑ふも亦計らざる所なり」と通電して世評を一蹴してゐる、西北軍がいよ〳〵陝甘の天災に苦められ饑寒に泣くや「貴軍の活きる途は保護しよう」とて暗に河南進出を慫慂し頻りに

糧食と彈藥を 供給するので十月十日人の良い宋哲元氏等は長文の通電を發して閻を破り一路河南へ〳〵と進んだが、協力すると思つてゐる山西軍は情勢を觀望し少しく變だと考へ始めた十一月五日には閻氏の態度俄然一變「貴軍の生活を保證し得ざりしは不德の致すところなれど余は終始息爭和平を希望する」の聲明通電が發せられたので、スワヤ一大事と考へた西北軍は自動的に退却を開始すると時既に晩し中央軍の猛烈なる追擊に多大の打擊を蒙らざるを得なくなつた

西北軍諸將は 斯くて切齒扼腕して閻氏を怨み大擧して山西への攻略を考へたが、御大馮玉祥氏が危ふく而も河岸には山西軍が入らば打つの姿勢を構へたので聲勢如何ともすべからず、兵力を潼關一帶に集結して鹿鍾麟氏を迎へ聲を大にして閻錫山氏を罵倒してゐる、誰の眼にも一閻錫山氏は西北軍を援助よりも煽動して其兵力を殺ぎ山西への脅威を免れようとしてゐたが巧に蔣氏をして之を行はしめた」と映ぜしめた、以爽攻爽策の最も巧妙なるものであらう、次いで石友三氏浦口に反蔣の烽火を擧げ唐生智氏呼應して起つや各方面より閻氏擁立の聲が嵐の如くざわめき立つた、蓋し

北方大局を握 るは閻氏の實力のみ、若し擁せられて將に時局として起たんか北京政府の復興は立地に成るが如き局面である、焦慮し始めたのは申すまでもなく南京政府で特使は矢のやうに太原に驅けつける、馮玉祥父子の調停で石韓諸軍を懷柔する等の噂が擴がつた閻氏の得意思ふべしである、果して方本仁氏の太原訪問後「また閻氏の數百萬元の巨利を博した一變亂毎に蔣氏の財力を殺ぐ者は閻氏だ」との說が盛に傳へられた右に馮氏の兵力を殺ぎ左に蔣氏の財力を殺ぐ、閻錫山氏は確に現代支那が有つ代表的策略家である、否、代表的民國人と言へよう、更に閻氏の最も關心する處は

奉天軍の入關 であるが東北邊防使にして「張學良は東省の一兩を以て張學に抵抗し財盡き力竭るも猶堅忍して支持するものは速かに內爭を熄め一致して外に對することである」を聲明に加へしめた、今回の通電は斯くして發せられた次第であるが既に之を迎へたものは蔣介石氏一派のみ山西勢力下に在る北支那の人々は依然として「山西大は要塞不要命を性としてゐる閻氏の通電も亦蔣氏給錢の結果であらう」と惡評し果して改組派を除く爲め大兵を動かすかどうかを注視する一方奉天が如何なる態度を表明するかを興味を以て眺めてゐる、閻錫山氏は依然謎の男だ謎間の人だ

旅順

非常な賑ひ
ヤマトホテルにおけるクリスマス

旅順新市街ヤマトホテルでは二十五日午後六時からクリスマス祝賀會を催したが、本年は例年に見ぬ盛況で出席者約二百名、開催した三つの大廣間にはクリスマスツリ、サンタクロース、クリスマスケーク等さま〴〵なクリスマスデコレーションを施し、其間に白布をかけた食卓を並べ、家族同伴の幾十組が入り亂れて賑やかに樂しく、クリスマスの夕べの快を盡したが昨年のクリスマスに比して遙かに盛會であつたのは、一面クリスマスが宗教的な祭事を離れてポピュラーになつたのと、川原支配人が極力ホテルを簡易に一般化させんとした事に依るものであらう、珍しい事は舊市街民住者が約八割を占めて居つた事である

新年の拜賀式

旅順市に於ける新年拜賀式は恒例の如く一月一日午前十時第一小學校講堂に於て御眞影奉拜の式を舉行するに付き一般市民は九時半迄に參列されたいと

轉任の挨拶

二度の返り咲きとなつた旅順民政署長西山茂氏、德ヶ縣地方事務官に榮轉した和田秀夫氏、又四平街警察署に榮轉した龍顯藏氏、安東警察署へ轉じた鯛島鐵春氏はいづれも二十六日旅順市各方面を歷訪夫々挨拶を述べた、尚轉任者の多くは年內に赴任する豫定なりと

新舊署長送迎會

[illegible]發中岡警部は同日午前六時[illegible]部長は二十八日出發の豫定[illegible]長の後任林源之助警視は二十八日旅順へ歸國の筈である

營口

異動警官の 發着

今回關東廳の大異動にて營口署にも石井署長以下の異動ありたるが石井長春署長は三十日午前七時發[illegible]

開原

開原署の異動

關東廳警務局の大異動により當開原署昌圖派出所巡查部長千葉誠氏は警部補に昇任し鐵嶺署勤務となり後任は營口署巡查部長宮澤佐一[illegible]

保線區の火事
損害約五千圓

二十五日午後九時二十五分頃昌圖滿鐵俱樂部隣の昌圖保線區丁場事務室より發火し、折柄の南風に煽られ見る〳〵內に隣室の倉庫も共に該建物一棟を燒失し同十時四十分鎭火せるが、原因は煖爐の殘り火よりならんと損害は約五千圓なりと

辻强盜現はる

二十四日午後十時五十分頃石家臺汽車公司給仕魏寶巖（二一）が所用の爲め當開原附屬地に來る途中、當開原中央公園北端三叉路に差蒐るや突如路傍に潛伏し居る賊四名が各自棍棒を以て同人を脅迫し、現大洋奉票取混ぜ約金四圓及び綿入上衣とシャツの二點價格金四圓を强奪し、東北方附屬地外へ向け逃走したりと屆出と同時に非常召集を行ひ嚴重搜查中

撫順

華工宿舍に 三人組强盜
拳銃で一名を射撃し 有金を强奪して逃走

年末警戒員の特別警戒網を突破し二十五日午後八時頃撫順新市街に於て血腥さき强盜殺人未遂事件が突發した、賊は三名で各拳銃を所持し前記時刻同地の華工宿舍本籍山東生れ蓋玉德（三〇）方を襲ひ同居人直隸生れ列本明（三一）山東生れ王興祿（二〇）同十起田（二一）張役山（二〇）同王福發（二五）等十三名にモーゼル拳銃を突きつけ、片つぱしから荒繩で縛りあげんとするので王福發が「ほしい物は皆出すから縛らんでもよからう」と言ふや「生意氣なツ」と言ふが早いか同人に一彈をあびせ貫通銃創を負はせ、驚へ上がる十數名の者を尻目にかけながら有合せの金票三十二圓を强奪し悠々と引あげた、急報に接した撫順署では司法主任以下現場に急行したが犯人不明

夥しい增加
簡保加入者

[illegible]縮の現はれは貯金、內地送金、銀行預金等にも如實に現はれるが、最近一番手輕で且つ安全な簡易保險加入者も夥だしい增加の傾向を示してゐる、本年十一月末日までの關東州內各局を通しての簡易保險申込數累計二十萬一千餘件その金額實に三千八百九十四萬三千餘圓の巨額に達してゐる、又年金契約申込數も二千六十餘件年金額四十萬五千餘圓を示し近來頓に內地の成績を凌駕する盛況にある

轉任を惜まれる
大林署長以下の警官

今回本署へ轉任の大林警視は在任一ケ年半、其任期必らずしも長かりしとは言ひ難ひが、頭腦明晰寬嚴宜しきを得たる名署長として在撫官民の信頼最も厚くその殘した功績も大である、尚大連署へ轉ぜし熊谷警部補は在職二ケ年溫厚篤實の人として知られた人で署長と共に惜まれてゐる、次に今回勇退した安武警部補は炭礦方面に轉せられる模樣である、因に鞍山へ榮轉の山本警部補及び安東北東、奉天小澤の各警部補も今日の榮達あるは衆人の期せる所で、署長以下幹部級五氏の轉任を見たる撫順署の昨今は何れも惜別の情禁じ難き[illegible]

馬賊官兵と激戰

去る二十日營城子附近に現はれたる有力なる馬賊は二十二日煙臺炭坑附近の尹家屯に移動し、同日午後一時同部落の襲撃を襲はんと準備中是を探知したる瀋陽公安隊約百名出動尹家屯に於て大激戰となり、公安隊員二名は重傷を負ひ直に煙臺醫院に收容一方馬賊側も數名の重傷者を出したので賊側は是を乘馬にて運搬何處ともなく逃走したが、目下同附近は尚物騷至極であるとの報告が二十六日炭礦中央事務所へ報告があつた

鐵嶺

鐵嶺署の大異動
大內氏大連署に榮轉

今回の關東廳大異動により鐵嶺署に於ても左の如く異動が行はれた

鐵嶺警察署長 大內佐藏
補大連警察署長
貔子窩警務課長 青木昇
補鐵嶺警察署長
鐵嶺警察署通譯生 小杉乙次郎
命安東警察署在勤
鐵嶺警察署警部補 市丸新次
命鐵嶺警察署警部補勤務(?)
鐵嶺警察署警部補 宇野久藏
命奉天警察署在勤
開原警察署巡查部長 千葉誠
旅順研習所同 畔地清
任警部補命鐵嶺警察署在勤

大內署長は小川通譯生宇野警部補は來る三十日午後零時半發特急にて家族同伴赴任すべく尚有志者發起にて二十八日午後五時より萬安に於て送別宴を開催會費金四圓多數の出席を希望すると、青木新任署長は來る卅日朝着任の筈であると

除隊兵 今夜出發
九時十分發で

當地駐鐵大隊除隊兵百八十名は去る二十四日午後二時よりグラウンドに於て除隊式を行ひ更に二十七日午前九時半より營內將校集會所に於て香月旅團長、鐵嶺市民代表藤寄地方事務所長よりの告別の辭あり二十八日午後九時十分發列車にて鐵嶺を去る事になつた

武道納め會

鐵嶺滿鐵運動會では二十九日午後一時より滿俱道場に於て本年最後の武道納會を舉行する由年組には茶菓其他には粗酒の饗應あり同志多數の出席を歡迎すると

金州

火が消えたやうに 淋しい歲末
忘年會も殆んどない

經濟緊縮の祟りか後二三日に迫つた歲末も活氣のないまるで火が消えた樣だ、商店は平素の四分の一の賣行もなく、飲食店も料理店も全く客の影も見えぬと言つてもよい位で忘年會の催しも殆どない樣な有樣である、こんな具合ではどうして越年するかと商人は四苦八苦である、明けて昭和五年が思ひやられて居る

公主嶺

惜しまれる 金森警部補

今回の警務關係大異動に依り當地警務課高等課主任金森忠吉警部補は奉天にその後任として轉任透警部補の着任を見ることゝなつたが氏の警察官生活の大半は當地であつたと言つてもよい位で此の間公私に對しての氏の功勞は勘からず大正十二年の貔子窩馬賊討伐の時氏は不幸にして賊彈の爲めに貫通銃創を負ふたが幾何もなくして快癒、後昭和二年に跳梁せる大連を脅かしたピストル强盜の逮捕には南田裏蘇家屯に逃亡し來たれる賊を追跡危險を犯して賊二名を射殺したのは著るしい功名である、又私的方面では高潔なる人格は惜別の情を尚一層深からしめてゐる

城外城裡見聞

朝鮮料理店の金水樓では二十三日警察、初枝の二朝鮮美人に新らしく鑑札が下りた

◇

文廟家に近頃新嬪輸入藝名は文鶴なか〳〵達者なさうな

◇

民政支署員が豫而經濟緊縮の範を垂らすべく作製中であつた連名の年賀狀は二十六日出來上つたので各方面に發送した

◇

警務課の眞田通譯生は二十四日付で警部補に任ぜられた

◇

腸チブスの爲め入院中であつた池田公雄氏夫人並令息令嬢は此の程漸やく退院

元旦の擧式順序
公主嶺神社と小學校で

公主嶺に於ける元旦祝賀式は一日午前八時三十分公主嶺神社に於て舉式、後小學校に於て午前九時三十分國旗揭揚式を終り十時より新年拜賀式、十一時二十分市民の新年互禮會を小學校の講堂に開催す

地方委員聯合會に 公主嶺よりの提案
中國人教育機關存續要望

明年一月奉天に開催の第七回地方委員聯合會に公主嶺よりは滿鐵經營の中國人中等教育機關中農業學校及商業學校の各一校を存續要望を提案する事になつたがその理由は左の通りである

滿鐵會社の文化施設として公主嶺と營口、遼陽の兩商業學校は昨年度以降生徒募集を停止し現在生徒の卒業を俟ち自然廢校せんとする狀態にあつて、事は單なる實業學校の存廢にして一些事の觀なきにしも非ずと雖さん然りと雖も帝國の滿蒙に於ける國策の遂行上將又滿鐵會社の使命より靜かに之れが是非を考慮するに於ては其及ぼす所廣大にして且つ深遠なるに鑑み、單にこれが成行に委して傍觀する能はず茲に若宮(?)の意の存する所を連ね右四校中農業學校各一校の存續を要望する所以なり

農業學校存續事由

イ、母國が滿蒙に求むべき工業原料並に食糧品たるべき農畜產物の增收を圖り且つ品質の向上を企つるを主眼とし、先づ其第一着手として年々增加しつゝある支那大衆農民と彼等の開拓せんとする北滿蒙古地方を基調とする土地改良施肥種子選擇栽培管理農具の改善經營法の刷新種畜の改良獸疫豫防等につき蒙昧なる農民に對し在來農法の缺陷を是正補導し科學的經營方法により逐次改善せしめ物資の增收と改良とを行ひ、彼我兩民族の厚生利用の道を拓く爲め一面に於て彼等の指導者啓蒙者となり一面實行者たるべきものを養成することと中國人農業學校教育の一大使命たらずんばあらず、這は日本人にのみ期待することは諸多の事由により至難中の至難事にして

中國人農家 の子弟養成はその最も策を得たるものなりと同ち農業學校一校の存續は刻下の一大急務たるを認む

ロ、公主嶺農業學校に於て昨年度までに三回の卒業生を社會に送り其數僅かに三十四名に過ぎざるも卒業生の現況を見るに支那側は東十四名、農務局四名農業職自營六名日本留學四名日本側就職六名等の如く彼等の大多數は滿蒙農業開拓の尖端に立ち母校と相連繫を保ち農民指導に當るを以て邦人の企業的農業發展に對し毫も支吾抵觸を來す所なく活動しつゝあるはこれ寔に農業學校設立の眞精神にして快心事なるを失はず卒業以來日尚淺きを以て事實上農業者として大成功せしものなきは當然なるも藉すに時日を以てすれば其成績の見るべきものあるや瞭然たり、現に之等の卒業は着々其の地步を占め所期の目的に向つて進みつゝあり、茲に百年の計を樹立し農業教育機關を存置し堅實なる農業青年の養成に努力するは喫緊事たるを認む

商業學校存續事由

イ、日本の對支貿易の重要性を帶ぶるは茲に嘆々を要せざるも統計により之を按ずるに頃者滿洲に於ける本邦商品の躍進的累が著しきを見つゝあり、況んや將來東三省に於ける人口增加並に產業の開發文化の向上に伴ひ支那大衆の富の增加は購買力の旺盛なるに至るべきを期待するに於ては本邦商品の一大市場を實現するの日遠からざるを信ずるものなり、然るに日本商人が奧地に進出居住して生命財產の安全を期し商業に從事すること甚だ至難にして殆ど不可能なるを免れず、されば現今中國人を介せざる取引は事實上行はれざる狀況なり、然るに從來の經驗に徵するに商取引より生ずる[illegible]少ならざるとも又

中國商人中 道德心の頽廢せるもの多きこと等に鑑み日本商品に對する知識を具備し且つ日本事情に通曉せる國人青年の養成は最も緊要事たるを失はず、加ふるに母國の滿蒙に求むべき諸原料食糧品等の奧地買付は生產額增加に伴ひ或は需要の緩急に應じ常に行はるべきものにして茲に於て邦人企業家の手足たるべき信頼するに足る中國使用人は準來の性質上特に其必要性を增加すべきや明かなり、されば一面日本商品の紹介者仲介者たり他面實業家たるべき親日的國人の養成は即ち中國人商業教育の根本精神なりと信ず、かゝる故に一商業學校の存續は焦眉の急にして最も適宜の處措たりと認む、以上の如く滿鐵經營中國人實業學校の設立は近來漸く中國側官憲に於て之を諒知し

東三省各縣 又は教育會所より生徒を推薦する者多く又支那側商民中實業教育の趣旨効果を理解するもの漸增し進んで彼等子弟をして入學授業せしめんと懇請し來るもの各校共に生徒募集停止以來寧ろ增加の傾向にあり、然るに空しく其希望を捨て素志を翻さしむるの止むなきに至りしもの尠少なりとせず或は滿鐵經營公學堂市井者中實業學校希望あるもの其の唯一の前途を阻まれ空しく其熱望を放棄するの感を抱けるもの亦多き有樣なり、斯の如く人は彼等をして竟に疑心を挿ましめ滿鐵の教育施設は徒に政策の上にのみ立ち朝令暮改單なる御都合主義糊塗主義にして學校の存廢は一擧手一投足にも値せず、速斷妄語せしめ延いては其他華人の育機關に對しても其信頼を薄くし所謂

教權回收の 口實を與ふる結果を招徠するやなしとせず、されば帝國の國策上並に日支協調共存共榮の大精神に立脚し農業學校、商業學校各一校の存續を要望する所以なり

除隊兵今夜 出發
騎兵六十六名

公主嶺駐屯騎兵第二十聯隊本年度現役滿期除隊兵引率者以下六十六名は二十八日午後七時三十八分當驛發の第十四列車にて出發す

聖誕祝祭

公主嶺メソヂスト教會では二十四日午後六時半滿鐵俱樂部に於て盛大なる聖誕祭を舉行し各種の餘興があつたが尚同教會の日曜學校は一月十二日より三月まで毎日曜午後一時から開始すと

第八回 滿日勝繼碁戰（乙部氏二回）（勝三回目）

先二先番 [illegible]田 乙部 後 [illegible]介氏 勇氏

[illegible]

THE AIFU
アイフ
アイフは胃腸病者の救命主なり
アイフの服用は貴下永年の病苦を誓て一掃せん
慢性胃腸病にて從來種々の治療を施すも効なく病狀一進一退し其の間に胃腸内壁を著しく損傷せしめ胃癌胃潰瘍の素因を作り或は胃腸に痛みを覺え或は下痢粘液を分泌せしめ或は身體を虛弱ならしめ或は肺尖に故障を起さしむる等の胃腸病には斷じてアイフを服用せられよ
左の胃腸病にはアイフは必ず滿足なる効果を得べし
●急性腸加答兒●慢性腸加答兒●大腸加答兒●慢性下痢●粘液性下痢●腸潰瘍●下痢性慢性盲腸炎●急性胃加答兒●慢性胃加答兒●胃酸過多症●胃アトニー●胃擴張●初期胃癌及び胃潰瘍●食傷り及び水傷りより起る胃腸障害等の諸症
アイフは内服こ同時に其主薬は腸胃内壁に於ける糜爛面に附着し炎症を鎭め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減し腸の蠕動を制し下痢を止め痛みを鎭靜す故に食慾を増加し血色を良くし榮養の吸收を佳良にし健康を著しく増進せしむるの効果を有す
藥價
輕症用普通アイフ 四日分 七十五錢、八日分 一圓五十錢、十七日分 三圓、四十五日分 七圓
重症用特製アイフ 十一日分 五圓、廿三日分 十圓、卅六日分 十五圓、八十日分 三十圓
本舗へ御注文の方は藥價は郵便爲替又は振替大阪三四五番へ拂込あれ着金次第發送す
發賣本舗 大阪市東區清水谷西之町三六五番地 順和公司
振替大阪三四五番 電話東 五〇〇〇 五〇〇一 五〇〇二 五〇〇三
大連市山縣通一丁目 順和公司大連支店

コドモページ

冬の理科

冬と水道（上）
水道の鉛管は何故破裂するか

一郎。お父さん、水道が止つてゐますよ。
父。きつと凍つたのだから。ゆうべから急に寒くなつたからなあ
一郎。お湯をかけませうか
母。お湯をかけたりしたら鉛管が破裂しないこと？
一郎。お湯をかけたつて破裂しませんよ。
母。だつて、去年水道が凍つた時お湯をかけたら鉛管が破裂して大騒ぎしたぢやありませんか。
一郎。お母さん、あれはお湯をかけない前にもう鉛管が破裂してゐたんですよ。そしてお湯をかけたら鉛管の破れたところの氷がとけて口が開いたので、そこから水を吹き出したのですよ。
父。さうだ、一郎のいふ通りお湯をかける前にもう鉛管が破れてゐたのさ、
一郎。お父さん、水が凍ると、どうして鉛管が破れるんですか。
父。それは、水が凍ると容積が大きくなるからさ、
一郎。此の間コップに水を入れたまゝ忘れて臺所の棚の上に置いといたのを、あくる朝見たら、水が凍つてコップが破れてゐましたが、あれも、やつぱり凍つて容積がふえたからですね。
父。さうだ、コップなどは何でもないことだ、時には大きな岩石さへも押し割ることがある。
母。一郎や、早くお顔をお洗ひなさい。
一郎。だつて、水が出ないんですもの、
母。湯沸かしのお湯がもう沸いたから、かけてごらん。
一郎。では、お湯をかけて見ませう。……あ、出ましたよ。
父。出口のところが少しばかり凍つてゐたのだらう。だが、これから、水道の凍りさうな晩は、少しづゝ水を出して置いた方がいゝね。
一郎。水を少しづゝ出して置くと凍りませんか、
父。水を出して置きさへすれば少し位の寒さでは中々凍らない。
母。メートルが澤山廻るでせうね
父。なあに、大したことはないさ
一郎。水を出して置くとどうして凍らないのですか。
父。それは水道の水が氷點以下の温度にならない中に流れてゆくから凍るひまがないのだ。
一郎。地面の下に埋めてある鐵管の水は、凍ることがありませんか。
父。それは絶對に凍らない。
一郎。どうしてでせうね。
父。それは、あとで話してあげやう。まあ早く顔を洗つておしまひ、お父さんはタオルを持つてさつきから待つて居るんだから

ニドメノ 大チャンノタンケン（170）

ハルミチ作 ジラウ畫

シマノ ワウサマハ 大チャンタチニ イツマデモ キテクダサイト タノミマシタガ、オヂサンガ シキリニ カヘリヲイソグノデ ヒトマヅ ナツカシイ ニツポンニ カヘルコトニナリマシタ。

ワウサマハ ピカピカ ヒカル オホキナ キンノ カタマリヤ ビツクリスルホド キレイナ シンジユヤ、メモ クラムヤウナ ダイヤモンドヤ イロイロノ オミヤゲヲ タクサン クレマシタ。

ソノ アクルヒノ アサ 大チヤンヤ オヂサンヲ ノセタ センスヰテイハ、シマノ ヒトビトニ オクラレテ コノ シマヲ シユツパツシマシタ。ダラズハ ナミダヲナガシテワカレヲ オシミマシタ。（オハリ）

◇ツギノ ヨミモノ◇

大チャンノ モウジウガリ

ナガイアヒダ ミナサン カラ ヨロコンデ ヨンデ イタダイタ「ニドメノ 大チャンノタンケン」ハ イヨイヨ ケフ デ オシマヒニ ナリマシタ。ライネン ハ 一ガツノ 七日 カラ ズバラシク オモシロイ「大チャンノ モウジウガリ」ヲ ノセマス。タノシミニシテ オマチクダサイ。

メヅラシイ ドウブツノ キヨクゲイ

ライオン ノ アタマ ノ ウヘ ニ スマシコンデ ノツテヰルノハ ニハトリサンデス。ナント メヅラシイ ドウブツ ノ ゲイトウデハ アリマセンカ。

コレハ ライオン ノ キヨクゲイ デス。ライオン ガ ジテンシヤ ニ ノリ、ニヒキ ノ ワンクン ガ エンサカホイ トアトオシ ヲ シテヰマス。

兒童の作品

ちゆうしやをした日
常盤小學校二年 麻生 滿三

あと一時かんで、おべんとうをたべるといふ時、しようこうねつの、ちゆうしやを、しましたので、先生のおゆるしをうけてうちへかへりました。ほかの人は、べんきようをしてゐるのに、ぼくたちばかり、かへるのだから、おくれてしまひはしないかしらんと、しんぱいしながら、うちへはいると、お母さんが「大へん早いね」とおつしやいました。ぼくは「ちゆうしやをしたのです。先生が三日ぐらゐおふろにはいつてはいけないと、おつしやつたのよ」といひました。そこへ、おねえさんが、かへつて來て、「瀬田君や井口君たちは、先生と山へ行つたよ」といひましたので、僕も山へ行きたくて仕方がありませんでした。いたいちゆうしやをした上に、皆と山へ行くこともできないのでほんとうにつまらないなと思ひました。

暮の町
松林小學校四年 田淵 定溫

十二月です。お正月が近くなりました。町はにぎやかです。歳暮大賣出し景品付聯合大賣出し等と記した立看板や、つり看板を出してゐます。浪速デパートでは、立看板の上に大きなだるまを置いてゐます。三丁目では「歳の市」と書いたはたを出してゐます。それに大きな立看板を立てゝゐます。雪はこれからふるのです。雪はとけて、どろどろになつてゐます。それでも町はにぎやかです。色々な人が通つてにぎやかです。僕の家もいそがしくなるのはこれからです。僕らの町でも歳暮大賣出しをやつてゐます。歳の暮にはにぎやかです。

新刊兒童讀物批評
大連兒童讀物研究會發表

打たずに鳴る太皷

金子彦三郎著、著者は我が子からお話や讀物を要求されるまゝに一般の子供にもといふ意味で此の書を書いたといふことを序文に書いてゐる。内容は昔から傳へられてゐる日本在來の傳說やお話を資料として書いたもので、子供の好きさうな興味本位のお話を二十篇ばかり收めてゐる。兒童の讀物として素晴らしくいゝ本ではないが著者の言つてゐるやうに學習に倦んだ兒童への食後の果物代りの程度としておすゝめしたい。四年以上程度定價一圓三十錢昭々閣書房

學校と家庭

昭和四年の州内教育界回顧

一月

◇…文部省は入試全廢の趣旨を一層徹底せしむる爲め六十餘頁に亙るパンフレットを作成して之を各府縣の小中學へ配布した。

◇…市内小學校聯合保護者會が中等學校入學難緩和の方策として實業學校の増設を關東長官に歎願、但し反應なし

二月

◇…大連に兒童讀物を中心とした讀物研究會生れ、本部を日本圖書館に置くことゝなる。

◇…滿洲初等教育界の元老石川鐵治氏逝く。

三月

◇…各學校卒業式に多忙。

四月

◇…四月四日新設早苗高等小學校は聖德・伏見臺兩校の一部を借り受け取敢ず開校、一方新築校舍は工事着々として進捗。

◇…金州小學校の石川校長逝きその後へとして羅漢廻しのやうな校長の異動が行はれる。

◇…本年四月の新學期より南山麓小學校に女子部、高等科新設された。

◇…大連彌生高等女學校は本年度より新たに新設、大廣場小學校に假校舍を置く。

五月

◇…岡部氏等の主唱になる五月祭は大連グラウンドに於て擧行された。

◇…旅順師範學堂男子部二年生十名の退學處分に端を發した同校男子部生の同盟休校は遂に、校外に波及し未曾有の大同盟休校を惹起したが學校當局の強硬なる態度により生徒側遂に棒を折る

六月

◇…關東州初等教育總會は、公學堂側は八日伏見臺公學堂に於て小學校側は十五日南山麓小學校に於て開催された。

七月

◇…常盤校外池校長、歐米視察より歸る。

九月

◇…早苗校の校舍完成。

◇…創立二十周年を迎へた南滿教育會は九月二十二、三の兩日旅順に於て記念總會を催し、尚當日全滿各地で教育品展覽會を開催。

十月

◇…創立二十周年を迎へた日本橋小學校は十月五、六、七の三日間盛大なる祝賀會を開く。

◇…大連彌生高女校々舍竣工、大廣場校より新校舍へ移轉。

十二月

◇…教育界の不祥事、昭和四年の教育界に一汚點を殘す。

新刊教育書紹介

▲一年生教育（一月號） 善玉惡玉的倫理教育は廢すべきか、童話とその教育的價値、失勢された教育者、その他一月の各教育指導、遊戯、創作童話、隨筆等（五十錢東京市神田區表神保町六小學校）

カメラで拾つた歳の暮れ

まづ百圓紙幣を モダンなのと替る
表に聖德太子の御肖像を掲げ 少し小さくなる

【東京二十七日發電】日本銀行では兌換券發行高と實際の流通額を一致させるため、昭和二年三月公布された兌換銀行券整理法に依り一圓紙幣を除き百圓、五圓、十圓、二十圓の順序で新樣式の紙幣に改める事となつてゐるが、その手初めとして來る一月十一日の金解禁當日を期して新らしい百圓紙幣を全國十七の本支店から發行し舊紙幣と交換する事となつた、新百圓紙幣は縱九十三粍横百六十二粍で舊紙幣に比し縱十一粍、横十八粍小さく表には聖德太子の御肖像を掲げ、裏表とも太子に關係深き法隆寺の風景その他同時代の佛像佛具の模樣を執つて考案された圖案が施されてゐる、大體に於て舊紙幣に比し明るい感じのするモダーン紙幣で一枚の製作費は五錢見當であるなほ目下流通中の百圓紙幣は二億圓見當で、昭和十四年四月一日以降は政府及び日銀への納入を除いては强制通用力を失ふ事になつて居る、この點は他の紙幣も同樣でそれまでには全部新らしいものが印刷される筈である

秩父宮殿下が スキー御練習

【東京廿七日發電】秩父宮殿下には二十八日を以て陸大が休暇となるので同日夜十時五十五分上野驛發高松宮並に北白川宮、竹田宮と共に山形縣五色溫泉に成らせられスキーの練習を遊ばされることゝなつた

暗い旅順市が 愈よ明るくなる
きのふ變電所の修祓式

旅大送電線工事並に旅順變電所完成に伴ひ、旅順民政署では二十七日午前十一時から元寶町旅順變電所に於て修祓式を擧行した、主なる參列者は關東廳代表水谷地方課長、旅順市代表永山市長、臼井土木技師、今井滿電技師外約四十名今ノ神官の神事執行後參列者一同場內に設けられた神壇に玉串を捧奠し、次いで西山旅順民政署長の式辭、工事擔任者たる中埜技師の懇篤な工事報告あり、今井滿電技師の祝辭あつて修祓式を終へたが、西山旅順民政署長は語る

暗い〳〵とお叱言を頂戴した旅順の電燈も、この送電線の完成と同時に完全に明るくなつて、市民各位の御期待に添ふ事が出來るやうになりました、供給者たる滿電からは無盡藏な電量を送電してゐますから、ドシ〳〵之を利用して商工業の施設一般に使用し電氣文化を完成して欲しいと思ひます、高いといはれてゐた電燈料も目下關東廳で使用料改正を進めてゐますから來春には皆さんの御希望に添へる樣になるでせう、兎に角暗い旅順が明るくなつた事は何より愉快なことです

けふ御用納め 大連各官廳

今廿八日は御用納めであるが大連民政署、遞信局、大連市役所では午前十時よりそれ〴〵署長、局長市長より挨拶があつてのち各員歳務を整理し正月三日まで休暇に入ると

敷金に利子
民政黨から提出した 借家法の改正法律案

【東京二十七日發電】民政黨は二十七日午前院內に代議士會を開き黨議に諮り借家法中改正法律案を衆議院に提出したが、其の要領左の如し

一、借家契約の最短期限を設定し營業店舖は五年、住宅は三年とす

二、敷金は最高六月とし三分六厘の利子を附す

三、造作權其他の權利金を徵せざること

四、明渡し要求の際は裁判所に於て事情を酌量して相當期間を與へること

逐年ふえてゆく 家政婦を志望する女性
毎年この月は目の廻る忙しさ 師走を行く (27)

大連の女學生が母國に旅行して隣商家の日本人の女を見て驚いたといふ話は度々聞かされてゐる事ではあるが、生存競爭の荒浪はやがて大連にも押し寄せて職業婦人が次第々々に增して行く。

▽——△

スチームに溫められた會社の一隅でタイプライターを打つ婦人の姿からはさまで生存苦の生々しさは感じさせられないが、他家の臺所で家に病む失職の夫、或ひは母の乳を求めてゐるであらう託兒所に預けた乳兒の姿を偲びながら一心に働らいてゐる家政婦の姿を見つたとき、私達はソコに深く考えさせられる或物を感じるであらう。

▽——△

家政婦といつても仕事は多い、病人付添ひ、洗濯、裁縫、掃除、お產、お留守居、等々々……そして大連での家政婦の需要は女中の不足に影響されて年々素晴らしい勢で增加して行く、市內十一ヶ所の看護婦會でも病人の付添として家政婦を取扱つてゐるし、家政婦專門のところもあるやうだし、滿鐵家庭硏究所でも社會事業の一つとしてこの事業を取扱つてゐるがこの二十日ごろからはとても需要に應じ兼ね、斷るのに忙しいといふ狀態である、平月で需要供給が平衡されてゐる樣な狀態だから需要が增加する十二月の忙しさの程が偲ばれる、勿論家政婦志望の婦人の數も年々增加して行くが、何分身許調査や健康等の關係から家政婦として合格する數に制限があるため、毎年末になるとこの狀態を繰返すといふ。

▽——△

現在滿鐵の家庭硏究所に籍を持つ人の約半數は夫を亡くして獨立の生計を立てねばならぬ不運な人その次は夫の失職のために一家を支へる不幸な人、その他家計の助けに働らく人等何れも運命の荒波に捲き込まれながら勇敢に生活の第一線に立つ人々である。

▽——△

或る看護婦會での話
今年は昨年に比して家政婦の希望者が多い樣です、それも夫が失職しましたからとか、夫が死んで子供を養ふためとか氣の毒な人ばかりです
としんみりした調子、家庭硏究所では
忙しいのは十二月で、十、十一月ごろの二倍その次は七、八月ごろでこの頃は需要者に斷らねばならぬ狀態です、仕事としてはお產の時、奧さまの病氣の時が一番に多いんです
との話である。

▽——△

大連の失業者約三千といはれる今日、そして大連の婦人にもやがて生活戰線で戰はねばならぬ人が增して行くのではあるまいか、果して喜ぶべき現象であらうか？悲しむべき現象であらうか？時代はそしてドン〳〵と進む。

埠頭關係者 新年懇親會
正月五日に開く

大連海務協會では昭和五年の新春を迎へるに當り大連港を中心として活躍してゐる海務局、水上署、陸軍運輸部、埠頭事務所並びに埠頭記者倶樂部を一丸とし、これに海運に關係せる各船會社の陸員に在港船舶乘組の海員を併せ一月五日午後六時から海務協會海員會館で新年懇親會を開催して親交を溫むると共に將來の健康を祝福する事となつた、會費一圓出席者の名簿作製の都合上陸員は十二月末海員は一月三日までに同協會まで申込まれたいと

明年から專賣局で 鹽の値下げ
葉莨買上は引下げる

【東京二十七日發電】最近煙草の賣行は一般の不況に伴つて上級品の賣行惡く此のまゝでは上級原料の生產過剩を來す虞あるに加へて物價殊に肥料の値段の低下少からぬ有樣なので專賣局では明年度より葉莨買上價格を引下げることゝなつた

卽ち二等以下九等以上に對し平均半等級の引下に相當する上位等級の減少をなし、又アメリカ種も內地種との均衡上二等以下六等以上に於て一貫目當り十錢づゝの引下をなし內地種の等級區分の多きため起る不便を除きかねて上級種の生產緩和を圖ることゝなつた

なほ專賣局では明年一月一日より鹽の賠償價格及賣渡價格の引下をなし、種類に依り率は異るが、百斤につき最低十錢、最高二十錢程度の引下額となる模樣で此の値下は物價勞銀の下落に依る生產費の低減に基くものである

怪我した大汽 社長頗る元氣

【東京特電二十七日發】上京の途中、沼津附近で頭部に負傷した大連汽船社長安田柾氏は東大久保の自宅で語る

相當血が出たが大したことはない、傷口は縫ひ合すほどのこともないのですぐ癒るだらうと思ふ、餘り大袈裟に傳へられたので却つて迷惑な位だ

と元氣だつた

淺野セメント門司工場 愈よ總罷業か
職工側要求容れられず

【門司二十七日發電】淺野セメント門司工場の爭議對會社の交涉は本日午後一時より開始され職工側代表七名と工場長代理、井町庶務課長と會見の結果、會社側の態度頗る强硬にて解雇職工の復職は容れられざるほか嘆願事項も殆ど一蹴されたので愈々罷業を決行するものと見られてゐる

滿期兵を滿載 呂宋丸けふ船出
鈴木大尉の指揮で 一路憧れの母國へ

陸軍御用船呂宋丸は廿七日早朝入港甲埠頭九番バースに橫づけられたが、同船では海城砲兵廿二聯隊、遼陽步兵聯隊、奉天三十三聯隊、遼陽工兵第一中隊の滿期兵約千二百名がそれ〴〵重責を果し母國の途に上るもので、廿八日午後二時乘船、その以前に師團副官德久中佐、保々滿鐵地方部長、岩井在鄉軍人分會長の挨拶があり、同日午後三時出帆の筈、なほ右輸送指揮官としては鈴木大尉が選ばれてゐる

基督教青年會の Xマス祝祭 今夜賑やかに

大連基督教青年會主催で二十八日午後六時半から敷島町同會館においてクリスマス祝祭が行はれる、當日のプログラムは第一部奏樂ハレルヤに始まり讃美歌、聖書朗讀、祈禱、挨拶あつて讃美歌、第二部は「主は來ませり」合唱についでハーモニカソロ、喜劇、奇術、獨唱と合唱、セーラーダンス、劇「箱根の仇討」合唱、ヴァイオリンソロ、インデアンクラブ、獨唱、劇「父歸る」トイシムフオニー、喜劇、サンタクロース訪れ、頌榮に次いで閉會の順序である

大連神社

大連神社では例年の通り卅一日午後二時大祓式を執行し一日歲旦祭は午前四時執行し尚月次祭には氏子代參當番町日之出町區の氏子役員參列の上午前十時から祭典を執行すると

公告

○登記公告方

昭和五年中當民政署及管內支署ノ取扱ニ係ル商業其ノ他ノ登記事項ヲ公告スヘキ新聞紙ハ大連市ニ於テ發行スル滿洲日報ヲ選定ス

昭和四年十二月

旅順民政署

大連民政署

極東大會日取り
支那比律賓も同意す

【東京二十七日發電】日本體育協會は豫て極東オリムピック大會日取りを明年五月二十四日より八日間と決定し支那及び比律賓の同意を求めてゐたが、支那は數日前、比律賓は二十六日夫々承諾の旨回答して來た

正月と大連醫院

大連醫院では年末年頭休日が續くので今回は特に外來患者の便を圖り三十日及び一月二日は平常通り外來患者の診察を行ふ事となつた

大連民政署 新年拜賀式

大連民政署の新年拜賀式は午前九時、署員一同參集して御眞影奉拜式の後祝宴場にて祝杯を擧げ、萬歲を三唱して退散する筈であるが、同十時より十時半まで各國領事、稅務司及び一般の參賀を受けると、なほ遞信局及大連市役所でもそれ〴〵例年の如く拜賀式を行ふ筈

酒井博士餘榮

【東京廿七日發電】畏き邊りでは去る十四日逝去した愛知醫大敎授酒井博士に對し生前醫學界に大なる貢獻をなしたる功勞を思召され左の如く御沙汰あつた

叙勳四等授瑞寶章　酒井　繁

安住工場　大阪市西淀川區大仁安住かとり線香本舖株式會社安住大藥房過般出火のため工場一棟燒失したるも損害輕微にして他の線香製造工場七棟、製粉場、原料倉庫、製品倉庫、營業所全部無難且つ燒失工場は直に應急施設を加へたるため製造及營業上何等支障なき由通信ありたり

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿八日（土曜日）
自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式各地相場）ニユース
自午後七時 一、ニユース 二、料理獻立 三、天氣豫報

愛慾の窓 (201)

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

審判(二十)

村山の嘱託醫師は、英輔の無謀な歸京する手當に力を盡したが、歸京するなぞとは飛んでもないことだと云つて眼を丸くした。だが、英輔は半分はもう譫言のやうに、歸京することを主張してきかないのだつた。

「……死んでもいゝ！いや、死ぬんなら東京へ歸つて死にたいのだ！杉崎、杉崎は何うした？まだ草野君の裁判の樣子はわからんのか……？」

杉崎は醫師とも熟議したが、打明けた話が、こちらでかうしてゐたところで、果して助かるか何うか判らないのである、そんなら一層當人の必死の希望を容れて、東京へ送り還して死なせてやつた方がいゝ……さう決定した。

ところがいたはりながら歸京してみると、氣が張つてゐるせゐかもなく、有名な外科の村山醫院の一室へとおちつくことが出來たが醫師や杉崎が危ぶんだほどのこともなく、村山博士は、腰から下を殆ど粉碎されたとさへつていゝ英輔を診て、驚嘆して眼を丸くした。

「無謀なことをしたものぢや！よく持つて來たものぢや！こりやよほど慎重に扱はんとむつかしいて……」

しかし久彦の公判に際して、例の問題の遺書の鑑定のために、證人として出廷せよといふ召喚状が屆くと、英輔はもう血の氣の失せた顏に決意の色を示して

「……出る、いや、誰が何と云つても、おれは出廷する！そのために歸京したんだ！いや、そのためにおれは今日まで我慢して生きてゐたのだ！」

と叫んで肯かなかつた。

「……だつて村山先生も仰有るんです。今、少しでも動かしたら死んでしまふつて、……あなたは、死んでもいゝのですか！」

杉崎は頻りに諫止した。

「……村山博士が何と云つたたつて駄目だよ！あんな科學者に何がわかる！おれの肉體はとうに死んでゐるのだ！たゞおれがかうして頑張つてゐられるのは、精神の力なんだ！おれは斷じて出廷する！」

村山博士は嘆息をついた。博士はすぐれた科學者であつたから、英輔の生きてゐる事實に奇蹟を感じてゐた。

「全く……お説のとほりぢや、あんたが生きてゐられるのは、あんたの張りつめた精神の力ぢやよ……わしはたゞおそれる、その精神の緊張が緩む日の來ることを……よろしい！わしもあんたの身體に出來るだけの手當をさう。明日は裁判所へお出掛けなさるがいゝ……」

博士の言葉に、英輔はおぼえず手を延ばして博士の手を握り占めながら、感激の涙に咽んだ。

「先生！よく云つて下すつた！なに親父の遺書の鑑定だけならば、僕はこゝにゐても出來るんですが、僕はすゝんで事件の眞相を明らかにする義務を果さなければならないんです！よく許して下さいました！」

草野久彦の青天白日を證すべき最後の公判廷は開かれた。その公判廷は、寢臺車の上に繃帶でくるまれたまゝそつと置かれた英輔の異常な出廷振りによつて、緊張の度を十倍にした。かつて同じ事件のこの公判廷に、纏綿たるモウニング姿で出廷して、久彦を陷入れるために誣妄の證を弄した英輔の面影は何處へ行つたらうか？

重病の人とは思へないほど、英輔は裁判長の指呼に應じて、よくすきとほる聲で、凛々と陳述した。

「……わたくしはまづ先の公判に於ける私自身の僞證を告白せねばならない。わたくしは草野君を陷入れようとする卑しむべき野望の下に、草野君を興信所員なりと誣いた。わたくしは草野君に改めて陳謝すると同時に、先の日の僞證罪による處罰をすゝんで受けたいと思つてゐる」

英輔は、陳謝先づさう述べてから、遺書の鑑定に入り、それが偽物でもなく父英太の直筆であり、且つ何うして今日までその遺書と共に父英太の秘密が隱されてゐたかを、諄々立てゝ公表した。

水を打つたやうにしめやかな公判廷に、英輔の聲のみが、靜かにひゞいていつた。

せう二

滿日俳壇 募集規定

次回課題「多の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

夕刊　滿洲日報　十二月廿七日

東鐵新管理局長の一行 ゆふべ哈市に乘り込む
一萬餘の露人驛頭で 赤旗を振り翳し熱狂的歡迎

【ハルビン二十七日發電】新任ハルビン勞農總領事シマノフスキー、東鐵管理局長ルデイ、副管理局長デニソフ氏一行十四名は蔡運升氏と共に二十六日夜十二時特別列車で堂々とハルビンに乘込んで來た、ポグラニチナヤ、ハルビン間五百四十六キロの沿線の勞農國民は各停車場に殺到して歡迎したが、一行の列車がハルビン驛ホームに入るや一萬餘の勞農國民は赤旗を振翳し驛構内外を埋め樂隊はインターナショナルを吹奏し、蔡運升氏一行そつちのけの熱狂的歡迎振を發揮した、一行は群がる群衆を排して漸くホテルに入つたが夜十二時以後の通行は禁止されてゐるにも拘らず群衆は今朝一時三十分に至り漸く解散した、なほロシア總領事シマノフスキー氏一行四名は張學良氏に敬意を表するため二十七日朝九時十五分蔡運升氏一行と共に奉天に向ふ筈

て一切の人事行政を執れるを今後は理事會の承認を求める旨を説明した、これは支那側の局長權限範圍の縮小に同意したことを示してゐる
因にル氏は一九一七年ペルム鐵道の旋盤工であつた時、エムシヤノフ氏は同鐵道の小驛長であつたが後ル氏が交通委員長となつた際エ氏はその委員でありエ氏が今回理事に就任すれば兩氏の因果關係は餘程深い譯である

新局長ル氏の抱負
露支協定に立脚して 一方的に權力の濫用を避ける

【ハルビン特電二十七日發】露支紛爭は漸く解決の第一步に入つたロシア領事館には赤い旗が久潤で翻へつた、陰鬱な北滿もこれで新春を迎へる

明るい氣分
が漂ふこの紛爭の後をうけて着任したルデイ新管理局長の抱負は
鐵道經營は共鐵道の有する使命と内容を充分に知ることである東鐵は一九二四年露支間に締結された精神に立脚して經營し一方的に力を濫用すべきでない、鐵道從業員もこの點を諒解し且つ歐洲諸國と東洋の連絡に對して一日も忽にすべきでない
と歐亞連絡を着任と同時に解決せねばならぬを述べ、七月十日以後採用した東支從業員は當然違法により解雇され

原狀恢復
と共に若し缺員ありて補充任命すべき場合は管理局と復活せる理事會の決定に俟たねばならぬと說き、從來局長に於

軍革說明聽取
【東京二十七日發電】陸軍々制改革問題に關し公正會の阪谷、中島岩倉、斯波、鍋島、井上の六男爵は二十六日午後宇垣陸相を訪問し陸相より細目的說明を聽取し更に小磯整備局長より軍需工業動員につき說明を受くるところあつた

貴衆兩院本會議 廿七日
衆院全院委員長 政友會の有馬氏當選

【東京二十七日發電】二十七日の衆議院本會議は午前十時二十五分開會清瀨副議長議長席に着き

清瀨副議長
堀切議長は勅語奉答文捧呈のため只今參內中であります
と報告し、書記官をして議員の報告をなさしめた後、孝宮內親王御誕生の御祝詞を議長に代つて宮中並に青山御所に參內參賀申上げたる件並にグロスター公殿下御來朝の節五月四日霞ケ關離宮に伺候歡迎文を捧呈したるに殿下には「次の議會に於て感謝の意を傳へられ度し」との御言葉を賜つた旨報告し愈々全院委員長の選擧に入り無記名投票を行ふ旨を宣し堂々廻りに入る開票の結果

投票總數	三百六十四票
有馬秀雄(政)	二〇八
松井文太郎(民)	一四八
安部磯雄(無產)	五

西村丹治郎(民)秦豐助(政)武藤

貴族院の奉答文
【東京二十七日發電】貴族院の勅語奉答文左の如し
貴族院議長從一位勳一等公爵徳川家達誠恐誠惶謹テ叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス
爰ニ第五十七回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等謹テ叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

山治(實同)各一票
即ち有馬秀雄君が過半數を以て全院委員長に當選し政友會席より拍手を送る

清瀨副議長
之より各部に於て常任委員の選擧をされ度し
と宣し十一時十三分休憩

一月廿日迄休會

十一時五十分再開堀切議長着席

堀切議長
本院の勅語奉答文は十一時參內陛下に捧呈致しましたところ優渥なる勅語を賜りました、爰に捧讀致します
と述べ全員起立最敬禮裡に

勅語
朕ハ議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
次で常任委員選擧の結果を報告し恒例に依り本會議日の日割其他を諮り明年一月二十日迄休會とします と宣し拍手裡に正午散會

貴院奉答文可決 全院委員長に近衞公

【東京廿七日發電】第五十七議會最初の貴族院本會議は二十七日午前十時十分開會議院の報告ありたる後、徳川議長起立して勅語奉答文案を朗讀して贊否を起立に問ひ滿場總起立拍手裡に可決し徳川議長は右奉答文捧呈のため退場蜂須賀副議長議長席につき日程第一、全院委員長の選擧に入り記名投票の結果

投票總數	二百六票
近衞文麿公	二百四票
未延道成氏	一票
無効	一票

にて近衞公當選次で日程第二、常任委員の選擧を議題とし各部に於て選擧を行ふ事となり十時三十五分休憩、十一時二十五分再開徳川議長より勅語奉答文捧呈の件を報告し總員起立最敬禮裡に優渥なる

勅語
朕ハ貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
を奉讀し、次で休憩中各部に於て選擧したる常任委員の氏名を朗讀せしめ、徳川議長は本年中の會議は本日を以て終了明年一月二十日迄休會しますと宣し同三十五分散會した

荻川放談 (138)
安協（其四）

北滿からの通信は、露支の妥協によつて、東支鐵の原狀回復と共に、東西國境の解放が近きにあるを報じて來る、從つて吾等の心配する東支鐵西部沿線に於ける在留外人の消息も、近く判明することならん、どうか無事であつて欲しい、此無事に等しく、呼倫貝爾にも異變が起つて居らねば善いがと思ふ、噂する如く其處へ蒙古兵なんかが來てゐて、將來の問題を貽すことなきを、北滿平和の爲に祈らざるを得ない、併し今度は斯ることが無かつたとしても、此地方には、そうした禍根が今後潛まん。
◇
なぜなれば支那が外蒙古を、露國に委ねた如き情勢になつて、こゝに幾年かを經た、そうして内蒙古の蒙族は、支那の革命驅動に惱まさるゝのみか、絶えず民族的に支那側の壓迫を受け、自然に外蒙古へ靡く、此氣運に乘ぜんとするのが外蒙古で、恐らく露國の指嗾でもあらん、外蒙古の所謂革命獻者は、內蒙古を自己に包容せんと努めて止まず、其鋒尖の顯はるゝが、地勢交通の關係からして、張家口方面にあらずんば、即ち呼倫貝爾殊に呼倫貝爾には、歷史的に其因緣の深いものがある。
◇
こゝにそんな歷史の探究をよすが、斯んな譯からして、比較的それと接觸の濃き東四省官憲が、本問題に、焦慮することの、他支那官憲よりも優れとるこそ理なり、されど此聞あるに拘らず東四省官憲の對蒙古は拙し、東內蒙古王族會議を操縱はしてゐる、暇齷喇嘛に信仰よりの蒙民牧騰を委ねとるが、それは末なり、若し蒙族を自己に歸依せしめんとならば、何が故に內外蒙古に興りつゝある時代思想を捉へざる、之を捉へずして、斯の如く該民族に對する壓迫を緩めず、王族の操縱や蒙民の牧騰もそこには些少の効果なきなり。
◇
露國が外蒙を操き縱すと云ふ、そうして其手が內蒙古にまで及ばんとするは、露國からすると當然のこと、是れ蒙族を支那から拯ふとの言分が立つ、支那が此言分に服すとならば、亦何をか語らんじやが、荀くも支那の革命が、五族共和の上に立ちて國體の恢復に邁進し、それで東洋の平和を庶幾するものならば今少しく蒙族の保護と開放に留念するところあらねばならぬ、然らずして革命の精神を立て通すとあらば、露支の喧嘩は永久に絶えざるべし、東洋の爲に之を悲む。
蝦蟆子曰く、荻川放談は本年これで擱筆やさうで、明年はまた筆を革めて讀者に見ゆとのことである。

解散の可否など一切知らぬ
仙石滿鐵總裁語る

【東京特電二十六日發】解散不可避と見られてゐた政界に昨今俄に擡頭した解散回避運動のうち政界及び實業界の一角に猛烈なる暗中飛躍が行はれてゐるのは最も注目すべき事象で殊に今回上京した仙石滿鐵總裁の意向は濱口首相を動かす力多いと云ふので最も注目されてゐるが廿六日における藏相との會見後總裁は之につき左の如く語つた
わしが濱口君に會つたからと云つて何のため世間が氣にするのか譯が解らぬ、何ッ、減俸問題の例があるからつて、何時も柳の下に鰌が居るものか、殊にわしは三年前政界には緣を切つてをる、そんな話には勿論一切觸れなかつたよ滿洲に二ケ月も行つてゐたので其視察の模樣や實情などを話したばかりさ、解散の可否なんてそんな事はわしは滿洲の浪人に解るもんか、わしは一切關係がないよ昭和製鋼所問題は何れ大株主(政府)に相談するつもりだが今日はその事も一切話さなかつた

解散回避に努力
黨派を超越して善處する 犬養政友總裁の意見

【東京二十七日發電】政友會は二十六日犬養總裁が無產黨代表者に對し議會冒頭に不信任案を提出するやうなことはないと言明した通り努めて議會を解散に導くやうなことはないと言明した通り...態度に出ないこと聲明となつたが、政友會としては解散回避のためには手段を選ばぬと云ふのではなく議會再開の冒頭における首相の演說に對し犬養總裁を陣頭に立

兩院奉答文捧呈式
けふ宮中鳳凰間に於て

【東京二十七日發電】貴衆兩院の奉答文捧呈式は廿七日午前十一時より宮中鳳凰間にて執り行はれ德川、堀切貴衆兩院議長は恭々しく夫々其院の奉答文を捧呈し、陛下には親く御受けありて左の優渥なる勅語を賜はつた
朕ハ貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
朕ハ衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
右終つて兩議長は御前を退下し右の趣きを議會に報告するところあつた

昭和製鋼所設置問題で愈よ近く意見交換
仙石總裁、內地當業者と會見

【東京特電二十六日發】昭和製鋼所設置問題について仙石總裁の意嚮なるかの如く事業の

大縮小說
傳へられて居るも仙石氏の右に對する談話は既報記者との回答以外に出でず目下のところ政府と相談の上尙よく調査して決めると云ふ以外には何等その具體的意見を洩らしてゐない從つて同問題が今後如何に解決するかは未だ想像を許さないが大體において設置の必要は既に認められて居るもの如くただ問題は一、設置場所二、政府及び內地當業者の意見などであるが

設置場所
は關稅問題の解決容易ならずとすれば州內說は恐らく困難なるべく總裁の門司における談話も此問題に觸れてをる様である、又鞍山說も水の問題及び關稅の點から不利であるから結局新義州に決定する形勢となるのではないかと見られて居る、之に關する內地當業者と總裁の會見は

多分近日
行はれる模樣で其上總裁の肚さへ決まれば政府も大して異議なく承認するに至る事勿論であらうと云はれてゐる

鐵道會議の對策
委員會を設け可否を決せん

【東京廿七日發電】政府の鐵道建設線打切に關する貴族院、政友會側の反對主張は益々强く本日午後開かるべき鐵道會議は議論百出して到底圓滿なる解決は見込まれてゐない、即ち江木鐵相は此間の狀勢に從ひ適當の機會に特別委員を指名して之に討論を委ね特別委員會の決議に從ひ本會議の可否を決する外ないものと見られてゐる
て金解禁問題を始め國家的重要問題解決のためには徒らに黨派的偏見に囚はるべきでなく朝野擧つて之が善後策を講ずべしと述べしむべしとの意嚮が部間に有力となつて來たことは相當注目に値する

清新の氣を以て能率增進を期す
今回の大異動の眞目的 太田關東長官語る

關東廳未曾有の大異動を完了した太田長官は、その異動に就いて左の如く語る
今度の異動はもつと早く發表するつもりであつたが、內務省關係等の手續き其他が遲れた爲、私の豫定よりは二週間程延びて了ひ、其結果

歲末押詰
まつてからの發令となつて甚だ氣の毒に思つてゐる、異動の目的とする所は、要するに沈滯氣を一掃して人心の一新、官紀の振肅を圖り、淸新の氣を以て能率の增進を期するにあつたので、此大目的の爲に相當思ひ切つた異動を斷行した次第である、內地との人材入換も勿論此根本方針に基いたもので、兎角植民地に永く居ると、內地との關係が疎交通になり、爲に折角の秀才も漸次中央から見捨られるやうな結果となり易いので

時々入換
を行ふ事は極めて緊要の事と思ふが、さて人材を內地から拔いて來るだけならば割合に容易であるが、こちらから內地の相當な地位に採用させる事は久しく中央との交渉の衝かつた人でも、內務大臣始めよく私の希望を諒解して吳れたからこそ、相當の入換が出來た事と思ふ、今後とも時々內地との入換に努むべきものと信ずるが、幸ひ拓務大臣も此方針を諒として居られるから好都合であらう。今後私も此

大目的を
達成せんが爲めに、不斷の努力を拂ひ度いと思ふが、幸ひな事には渡滿以來各個人々々に接して見て、頗る優秀な人材の多いのを私は喜んでゐる次第で、異動本來の目的を達成する事もさまで困難はあるまいと信ずる

防衛會に解體命令

【東京二十七日發電】社會民衆黨では宮崎龍介氏一派の黨反動化防止協議會問題に關し、十六日午後七時より緊急中央執行委員會を開き安部黨首、片山書記長、島中、赤松、小池、西尾、松岡、小山、山下、山崎、渡邊氏等出席協議の結果同黨支持派は宮崎除名を主張し總同盟側は沈默を守り反總同盟感情にて宮崎氏と一脈相通ずる片山、赤松、島中、小池等は防衛會解散を主張した結果總選擧を控へて自重的態度を採るの方針から一先づ宮崎氏等に防衛會解體命令を發した

研究會の鐵道會議對策

【東京二十七日發電】貴族院研究

会は二十六日鐵道會議委員、政務審査部員の聯合會を開き鐵道會議對策を協議したが
一、一旦打切り更に緩和した線は明かに黨利黨略と見らる
一、鐵道會議を無視し政府獨斷で既定計畫を變更せるは遺憾である
一、飽くまで嚴正なる方針を以て政府に糺し研究會の蒙れる疑惑を除かねばならぬ
と云ふに方針を決した、なほ右と關聯して鐵道會議を常設し權威あらしむべしとの決議を提出すべしとの議も有力に主張されてゐる

ほんこん丸
廿八日午前九時牛莊港外着の豫定

人事
▲細谷藏氏（四平街警察署長）轉任挨拶のため廿七日市內各方面歷訪
▲和田秀夫氏（德島縣地方事務官）同上
▲泉文三氏（關東廳警部）同上
▲難又次郎氏（關東廳警部）同上
▲大內半藏氏（小崗子警察署長）廿六日同上
▲荻野谷信順氏（前小崗子警察署長）退任挨拶のため二十七日各方面歷訪寓居は市內青雲臺一二五ノ一
▲西片朝三氏（滿洲報社長）廿七日出帆うらる丸にて內地へ
▲福田顯四郎氏（元市會議員）同上
▲黑田誠氏（前國際事務）同上
▲長瀨千代造氏（聯合通信編輯長）同上
▲奉中ラグビー選手一行十六名同上
▲日笠共太郎氏 同上

大觀小觀
シ露議定書なるものに支那側の與論（?）の反對。例によつて例の如くに。
◇
併し蔡氏もシマノフスキー氏もルウデイ氏もデニソン氏もハルビンへ到着し、勞農側は、例によつて赤い歡迎。その歡迎も、少し氣が早すぐる。
◇
山西軍の南下、東下。時節柄、注目の的。洞ケ峠から降り切るや否や。
◇
だが、洞ケ峠から降りても、登つても、支那の動亂は種子切れにはならぬ。
◇
戰機の駒を動かしても、大局には些の影響なし。

天豫氣報
（二十八日）北の風曇り

各地の溫度
十一時 昨日最低

	十一時	昨日最低
大連	零下七、二	零下四、五
旅順	同六、八	同四、〇
營口	同九、九	同九、〇
奉天	同一一、七	同一〇、九
長春	同一一、八	同一二、二

議會召集日の各派控室
（一）民政黨控室左より小泉遞相、濱口首相、井上藏相、中村氏外（二）政友控室左より犬養總裁、堀切新議長（三）無產黨右より安部鈴木、西尾、淺原、水谷の諸氏

客足は增えたが賣上高は變らない
好天氣と學校の休みに惠れた押し迫つた商店街

一昨日來の好天氣と學校の休みに幸ひされて今日此の頃の商店街の賑やかな事、子供を連れて御正月の包みを持つた奥樣姿が雪どけの町の街路を縫つて行くが、町の景氣はどうだらう百貨店は午前中と言ふのに買物の客で可なりの賑はひで十數人の店員が睡手古舞の忙しさを見せてゐる、が然し此れも緊縮の影響と言ふのかどこに伺ひを立てゝ見ても「御客さんは昨年より反つて多くなりましたが、賣上金額には變りありません」と言ふ、吳服屋さん、百貨店、洋品屋、世帶道具屋さん等何處とも物價下落の影響にもよるが餘り高價なものは賣行が惡く特價品、實用向品は羽を生やして飛ぶ様に賣れる、三越が夜間營業で大連の夫婦連れや沿線、旅順の御客さんを呼び寄せ午後六時から九時までの三時間で十一月での一日分を賣上げる様な景氣を見せ浪速町では二十日頃以來は昨年以上に客足は多くなつたと喜んでゐる、然し何んと言つても不景氣の聲は如何ともするなく或貴金屬屋さんでは「私達の店で唯一の金融資本であるダイヤ物等は全然出ないので全く御話になりません」と喞つてゐた、子供連れの御客樣で一杯になつた雜誌屋では、多いのは少年少女雜誌で婦人雜誌の一倍半位、殿方の御讀みになる中央公論、改造・文藝春秋等は婦人雜誌の三分の一位、御陰樣で賣行數は昨年と別に大差はありません」と忙しさうに算盤玉を彈き、暮もあと四日に押し迫つた。

刑事課の新設愈よ實現す
警務局の五年度豫算で刑事警察を一新

關東廳警務局の明五年度豫算により年來の懸案であつた刑事課が新設されることになつた元來滿洲は内地と異り民族、言語、歷史を異にせる民族より成つてゐるのでその取扱ひは内地の如く一民族の場合と比較し頗るむづかしく殊に帶狀の附屬地は一歩出づれば中國の地で、屢々不逞の徒が犯罪を起しては中國内に逃げ込みたる際等その搜査檢擧等は並々ならぬ苦心と努力が必要で、この見地から專門の刑事警察指導、統一機關を置いて事件の化學的の施設（指紋、寫眞、血液檢査、足跡等）及び民族特有の犯罪手口等を調査研究し、事ある際は直に不案の研究を利用して解決を敏速ならしめ又沿線七百哩に亘る各地の連絡の中心たらしめその間一貫した刑事警察の運用をなさしめ更に堪能なる刑事警官を生きた材料で訓練し從來の動もすれば化學的ならざる見込み警察とならんとする向きを改め化學と刑事警察の一致を見るやうせんとする滿洲刑事警察の第一歩を踏み出したものであるが、右は課長に警視を据え其他警部以下十六名の人員で大連に新設する筈で總經費三萬八千五百圓である

珍らしい顔合せ 右から玻妻、メリー、ダグラス、森静子の記念撮影

宣傳ビラを撒く
日本海員組合長排斥 入港船舶全部に洩れなく

廿六日夜八時過ぎ埠頭待合所内に船員體の廿四五の男が現はれ、懐中より宣傳ビラ様のものを撒布しそのまゝ闇に紛れて姿を消したが右事實を聽き知つた水上署警備係では早速同署高等係に一報すると共にビラ撒き犯人の搜査に懸命となつた、同ビラは日本海員組合長濱田國太郎を排斥すべしと稱する頗る激越な文句を連ねたもので水上署高等係でも打捨て置けず先づ仕島兒玉兩特務が主となり沖田高等主任指揮の下に深更に及ぶまで入港中の各船舶を臨檢したが、同ビラは各船に殆ど洩れなく撒布してある騷ぎに同署でも大騷ぎとなり沒收すると共に一方廿七日早朝より更にビラ撒き犯人の檢擧に懸命である

けふ常盤座檢查
電動機で開館日未定

電氣遊園下連鎖商店内に目下工事を急ぎつゝある映畫常設館常盤座は此程漸く完成したので廿七日關東廳より磯部警部來連し小崗子署柴田保安主任その他各關係者立會ひの上正式に檢查を行ふ筈であるが同座では檢查終了後は直に明廿八日遲くとも明春元旦より花々しく開館する運びとなつて居つたところ映畫に使用する電動機に關する願書を去る廿五日小崗子署に屆出でたので同署では廿七日右書類を關東廳に添附したが關東廳では書類も明春の御用始めまで一時擱挫のやむなきに至るのではないかと見られ若し便宜上廿八日までに設備許可がなき場合は當分の間開館が出來ず各關係者は目下憂慮して居る

兒童の手でお正月餅を寄贈
氣の毒な人々のため

日本赤十字社大連支部では前年同様本年も市内の各種慈善團體に收容され又は市役所から救助を受けて生活してゐる人々が樂々新年を祝ふとの出來ないのに同情し學校の贊同を得て各小學校兒童の温かい同情に訴へ左記の方法で餅を寄贈し又社會事業團體の經營を幾分でも援助すると共に兒童の慈善心養成の一助に資することゝなつた

一、有志の者は三十日まで又は一月一日登校の際持參のこと
二、一人三切以内
三、學校備付の容器に自由に入れること

因に大連タクシー營業所では此の美擧に贊助し昭和三年十二月二十六日より同四年十二月二十五日迄に至る過剩金四十九圓五十五錢を寄贈した

當局は犯罪搜查に際し人權を尊重し强制處分並に警察署の拘留處分には特に愼重なる注意を拂はんことを望む

人權尊重の決議提出
司法當局に辯護士協會から

【東京二十七日發電】日本辯護士協會は二十六日總會を開き最近各種疑獄事件頻發し多數の被疑者を出してゐるに鑑み司法當局に人權蹂躪の遺憾なきを期するため左の決議を行ひ丸山警視總監、鹽野檢事正、三木檢事長等に之を提出した

吳光新氏が大連へ
外務當局から一週間の許可 策動でないと語る

關東州内において諸種の政略的策動を禁ぜられ内地に亡命中であつた前陸軍大將吳光新氏は今日迄別府にある張宗昌將軍と共に種々なる世評を浴びてゐたが、この間約二ケ月東京において我當局と運動中のところ、突然門司經由釜山に上陸々路廿六日夜行で城口顧問帶同來連したが、右は外務省當局より一週間の許可を得て來連したもので「私用がウンと溜つてゐるからそれを果しに來たのです、策動ですつて、今更何も出來つこありませんよ、どうも内地に居ると經費が費つて仕方がないです」と廿七日午前吳光新氏は城口氏と共に大連署水上署等關係方面を歷訪挨拶した

內地のお正月へ
けふ最後のうらる丸 各等とも滿員で大賑ひ

年内に最後の内地行定期船と云ふので廿七日出帆うらる丸は土地の人で賑はひ一二三等共に滿員の盛況裡に出帆した折悪しく奥地よりの急行列車が遲延したので豫定より三十分遲發したが、お正月を内地で過さうと云ふ人達が多く殊に全日本選手權大會出場の榮を擔つて奉天中學ラクビー選手一行十六名がハチ切れる樣な元氣ぶりで乘船、前國際聯盟事務局黑田誠氏が内地に歸る事になり夫人と共に名殘惜げに離連した

御眞影を御下賜
三校へ奉安

今度滿洲教育專門學校、撫順新市小學校、長春西廣場小學校に御下賜になつた御眞影は二十五日入港のうらる丸に奉安、關東廳に奉安されてゐたが、二十七日滿鐵平野學務課長は午前九時關東廳に出頭御眞影を拜授し午後十二時半滿鐵社員以下重役社員の奉迎を受け前記三校に傳達する筈であると

喘息を根治 外科手術により
世界的新發見をした 關東廳醫院の加藤博士

世界の醫學界でも未だその治療方法が發見されてゐない喘息を今回完全に根治する方法が關東廳派遣醫院外科部長加藤守吉博士の研究に依つて發見され從來不治の病として喘ぎ苦んでゐた患者に對し一大福音が齎された事は世界の醫界に對する一大誇りである、同博士は明年一月開催の學會に於て之れを發表する由であるが、既に八名の患者に對し外科手術に依つて施術を完全ならしめたが、その手術は僅か二、三十分間殆ど談笑の裡に完了され生命上何等の危險もないと云ふのである 手術の方法は十九世紀の中頃フロインド博士が肺氣腫患者へ試みた手術法とその學說とに共鳴し苦心研究の結果局所麻醉の上肋骨手術を行ふのであると（寫眞は加藤博士）

保險金倍額
支拂ひの契約を認可 明治生命の新しい試み

【東京廿七日發電】豫て商工省に認可申請中であつた明治生命の保險金倍額支拂特殊契約條項附の件に就ては商工省に於て審議の結果
一、千圓につき金一圓の特別料金徵收
一、明かなる外傷を受けて其のため六十日以內に死亡せる場合に限る
一、但し外傷に限らず窒息腦震盪等に依り突發的に生じたる死亡は特に有効とす
等の條件に依り二十六日認可に決定し右の指令を發したこれは各國に於ける最初の試みであるため斯界の注目を惹いてゐる

少年諸君!! 大變だ、評判だ
少年俱樂部新年號は大附錄が三つ、日記と繪卷とかるた!早く〜本屋へ!

ヒヤカシ御難
鮮妓から袋叩きに遭ふ

市內聖德街四丁目一〇一番地若森歌一（二三）は廿六日夜十二時ごろ沙河口元町九二番地附近の朝鮮料理店を素見中同番地の朝鮮料理店二軒にて酔ひ散々袋叩きにされ午前一時過ぎ沙河口署に泣き込んで來たので同署では目下各關係者を取調中

深夜に騷ぐ

市內山縣通一九六ブラナーモンド商會支配人オウエン・エス・リッ トル氏は廿七日大連署を訪れ最近隣家のキャバレーボンベイが深夜三時頃迄騷ぎ立て家人も眠る事が出來ず、何とか取締つて貰ひたいと訴へ出た

石河附近で貨車脫線
一時線路閉鎖

大連埠頭を發車した二七三貨物列車が二十七日午前三時頃石河、普蘭店間六十九キロ附近第三聯線（石河驛）を通過中、機關車の石炭庫車テンダー及空貨車四輛脫線、更に機關車より一番目の無蓋車一輛橋上より墜落破壞し上下線とも閉塞したので大連よりクレーン車瓦房店より救援車を出し復舊作業に努めた結果午前七時半頃上り線だけ開通したが、引續き復舊作業中で上下線の開通は午後二時頃にならうと見られてゐる、原因は機關車の故障か車輛の故障か不明なるも損害は相當多額に上る見込で目下取調中である

共產黨員に新判例
最初の判決

【東京廿七日發電】共產黨事件で最初の確定判決を受けた北海道小樽市竹內清以下五被告は共產黨北海道オルガナイザー三田村四郎に勸誘され同黨に加入を承諾したが未だ加入手續を採つて居なかつた事を理由に上告して居たが大審院刑事第一部横村裁判長は新判例を作り加入承諾氣味でも有罪と決定判決した

炭火のため瓦斯中毒
松本丸で發見

郵船會社所有松本丸は廿七日早朝神戶より入港第三十八番バースに繫留された午前八時頃土屋檢疫官が同船臨檢の際、船醫高岡軍人と其船內實習生の寢室を見廻つたところ同室に就寢中であつた無線技士實習生花井隆（二一）が意識不明になり既に假死の狀態に陷つてゐるを發見した、右は大連入港と共に夜半より俄に氣溫が低下したので炭火を焚いたまゝ就寢し、そのガス中毒に當つたものと判明、直ちに陸に無電を打ち酸素吸入器を要求したが生命はどうやらとりとめたらしいと

埠頭待合の擴聲機
愈よ設置する

埠頭における新設備として船客待合所內にラウドスピーカーを設置し乘降客の便宜を計ると共に一般の混雜を防止するとは既に久しい懸案であつたが、愈々その必要に迫られ廿七日よりこれが工事に取掛る事となつた
右は船客待合前入口に一個、內地定期船繫留場前に二個、待合所內に一個合計四個のラウドスピーカーを設置するもので、これが案內に對しては待合所內案內室より放送することとなつた

大連醫院休診日

大連醫院の年末年始の外來診察日は十二月三十日、及び一月二日は普通の通り診察を行ひ三十一日一日三日の三日間は休む事になつた

人妻の家出

市內西公園町二〇七紅葉館止宿大野米五郎妻トラヨ（二三）は二十四日午前九時頃無斷家出し翌日逢坂町吉平方に立寄つたが、行方不明となつたので二十六日夫より若狹町派出所に搜索方を願ひ出た

行路病者

廿六日午前十時四十分ごろ市內備立町十二番地先にて氏名不詳の瀕死に陷つて居る支那人行路病者を同所を警邏中の小崗子署員が發見し手當を加へんと馬車にて本署に連行中小崗子署前に差しかゝつた際遂に絕命したので死體は宏濟善堂に引渡したが右行路病者はモルヒネ中毒者であつたと

無錢飲食

本籍東京府下淀橋町角筈四六當時住所不定無職增田政次郎（二四）は二十五日午後一時ごろ市內信濃町九五銀猫カフエーにて懷中無一文の儘十六圓三十錢の飲食し美濃町派出所に突き出され廿六日大連署の取調を受けた

明大校友會

今般安東警察署長に轉任する事となつた前大連署長高山勝司氏の送別會を廿八日午後五時半から菊水で開催すると

情けの玩具

市內讀家屯滿鐵俱樂部幹事河□通氏は廿七日小崗子署へクリスマスに使用せる玩具七個を正月に玩具も買へない兒童に與へて下さいと屆出でた

貨車の洪水 けさの埠頭構内

平安異香 (212)

葉多默太郎作　中一彌畫

奔流（一〇）

からつけつの職兵衛が、東山の勧修寺邸門前にへたばつてしまつた時、使女お秀は、柳並木の賀茂川堤を北へ向つて歩いてゐた。心急ぎの歩どりである。くるりと左へまがると、決成寺だつた。

その決成寺の門前に、一構への荒廢した邸がある。屋根が落ちて柱ばかりになつた門脇に、一基の名札が立つてゐる。風雨にさらされた墨のあとが、

陰陽師　雲龍坊

とある。

狩衣の中から、目早く左右を見廻して、ついと門を入ると。雜草に蔽された石疊の跡をすたくと踏んで、庭木の蔭に身を隠すやうにしながら、階の下に立つた。

「お許し下さいまし」

音なふと、足音を聞いて出て來たらしく、すぐそこに一人の美童が現はれて手をついた。

「どうぞお上り下さい」

朽かゝた縁をゆくと、中庭に面した奥の一間に熊の毛皮を敷いて一人の男が端坐してゐる。

転髪にした箒のやうな頭髪も、太い眉も、頰から顎へかけて伸び放題になつてゐる髭も、毛といふ毛が、悉く銀のやうに白く光つてゐるのだが、目恰好から面貌の若さは、決して老人である筈はないのだつた。

學問をすると毛が白くなるといふから——といふ京童のとり沙汰だつた。雲龍は歸化した韓人で當時かなり聞えた陰陽師だつた。

「御免下さいまし」

縁にお秀が膝をつくと、雲龍は脇息にのせた腕の蔭から、チラと一瞥をくれた。

輕く瞼を下げて、お秀は立上つた。

雲龍のどぐろを巻いてゐる部屋を縦切ると向ふの隅に半間の妻戸がある。

その妻戸を開けて、お秀が背に戸を閉めるまで雲龍は同じ姿勢のまゝで、腕の蔭から脇息越しに、鋭い眼を、門の方へやつてゐた。

妻戸の外は長廊下になつてゐて昔は武器庫に使つたのであらうと思はれる床高の一棟に通じてゐた格子扉を叩いて、

「秀」

といふと扉が中から開かれた。すつかり窓を閉ぢて、中には灯をともしてゐる。

扉を開けたのは、丸坊主の鐵だつた。大悲山の木葉天狗である。外に四五人木葉がゐる。

「春光さまは？」

ときくと、

「こゝにゐますよ」

春光の聲だつた。

隅つこの臥棚の上に起きて坐つてゐるのが春光だつた。讀者には久しぶりの春光である。見違へる程逞しい屈強の男になつてゐる。

お秀は歩み寄つた。

枕頭に二三冊の書物があつた。表紙の上向いてゐる一冊に「螢火術秘傳」とあつた。

「忍術の御勉強ですか」

といふと、

「退屈ですから——」

といふ。

お秀は微笑んだ。

その微笑みの意味が春光には判らない。

「何か、こゝへ御用ですか」

「主領の隠れ家へ行く途中でしたが、あなたに一寸用が出來たのでお寄りしました」

「私に？——どういふ……」

「明日の午の刻に、五條橋の西詰へ行つて下さい。人が待つてゐますから」

「さうですか、承知しました。私一人ですか？」

「えゝ、お一人の方がよいでせう」

「武器は？、一體どういふ事件です」

「武器——さうですね、やさしい心を持つておいでになればいゝでせう。女といふものは、みんなあはれなものですから」

「女？」

「幸さまに會ひました。町で…」

「………」

忍術の書物が、春光の手の中にめちやくになつて震へてゐた。

松竹映畫の帝國館

（四）正月映畫陣

松竹映畫のみを上映して人氣を集めつゝある帝國館は初春興行も松竹映畫の優秀番組を以て他館の混合番組に對峙する作戰に出で人氣俳優の主演映畫を列べて人氣を煽つてゐる、第一週は牛原鈴木田中のトリオを以て製作された蒲田の特作現代劇「山の凱歌」で傳明絹代黨を吸收し時代劇には人氣俳優の第一線にある林長二郎主演の「地に叛くもの」を配して花柳界方面の人氣を一氣に掌握せんとし更に千早晶子第一回主演の「霧晴るゝ」を加へた三本立である、第二週は松竹現代劇映畫の呼び物として評判の高い菊池寛原作の「不壊の白珠」を上映するが、蒲田の新スターとして及川道子及び高田稔が出演してファンの興味を唆り時代劇には市川右太衛門主演の「足輕蹴法」を組み添物として「日佛競技」の實寫を上映し「不壊の白珠」が期待されてゐる、第三週は月形龍之助の「白野弁十郎」と井上正夫と八雲惠美子主演の「情熱の一夜」に齋藤達雄主演の「女級長選挙くらべ」の三本立である【寫眞は山の凱歌】

「ボンベイ最後の日」が正月興行に割り込んで何處かに上映されるらしい▲大日活の「維新の京洛」大會の初日は大入滿員で映畫街を驚かしたが▲總浪速館の時代から大日活へ今年の日活映畫は「維新の京洛」が最初と最後を押へたことになる▲歌舞伎座に來演する喜樂會の田宮米峰は田宮貞樂の息子で伊井蓉峰に就いて新派界に活躍しマキノの「忠臣藏」に出演してゐる▲また秋月源之助も手堅い地味な俳優で關西の人には馴染が多い▲今回の關東廳入りをした小林檢閲官が本廳入りをしたので正月興行のフイルムは取敢ず今井前檢閲官が臨時にやることになつた

買物ニュース

▲和洋雜貨類の豐富で買ふ者の氣持の良い浪華洋行は店員總出で緊縮そつちのけの大車輪

▲宅の店の歳暮品の賣行きは亦格別である和洋酒、煙草、食料品を始め各國產の珍品揃ひは同店の誇りである

▲吳服反物類は昔と違つて今では暮の三十日迄に買つても元旦の初着が出來るといふ便利な世の中となつた

▲市中一流吳服店の鈴木、鈴木京染、丸三、ちょぶや、三井、伊藤、田中屋、滿壽屋等各店獨特の品質と廉價とを標榜して奉仕的努力をしてゐる

田宮米峰　秋月源之助

當籤番號御披露

昭和四年十二月十四日嚴正抽籤（於東京）

一等	二等	三等					等外
銘仙夜具四枚組壹重	武枚綿毛布壹枚	メリヤスシャツ上下壹組					上等大判タオル壹枚
3191	167	19	623	1873	3577	4219	御買上の際お渡し致しましたタオルを等外景品と御承知願ひます
	1670	97	685	2050	3630	4448	
	1754	165	759	2153	3700	4489	
	1816	186	866	2173	3750	4547	
	2047	201	1089	2334	3777	4581	
	2845	251	1092	2399	3872	4640	
	3085	340	1335	2858	3941	4689	
	3884	443	1615	2883	3960	4736	
	4158	455	1825	3504	4066	4766	
	4579	464	1830	3505	4108	4908	
一枚	十枚	五十枚					殘全部

一、引替期限　昭和五年二月限（以後無効）
一、當籤番號　各組共通
一、景品引替　券面扱店

滿洲日報
昭和四年十二月二十八日
THE MANSHU NIPPO
（土曜日）
第八千四百九十一號
柚子の種
土岐善麿氏著
最新刊
支那の建築
伊東忠太
麻雀の戰術
日本麻雀協會長 杉浦末郎氏著
大阪屋號
一人で出來る健康法
石黑憲輔氏著
圖書案内
日本植物圖鑑
北隆館
唐詩選詳說
明治書院
隧道施工法
大倉書店
英單語急速暗記法
松邑三松堂
言海 普及版
六合館
現代教育思想概說
山海堂出版部
物理化學
富山房
鑛業地理
金剌芳流堂
電氣工學重要問題解法
厚生閣書店
明治維新史研究
富山房
支那童話集
富山房
新農業讀本
目黑書店
肥料學
目黑書店
迷信打破號
科學画報新年特輯
迷信は排擊せよ
陰陽五行說の矛盾
西洋に於ける迷信
迷信の心理的解剖
迷信の非科學性
家相及方位の迷信
植物に關する迷信
動物に關する迷信
人相と手相の迷信
醫術に關する迷信
嗤ふべき丙午の迷信
憑きもの迷信
所謂お守札の迷信
日の吉凶と其迷信
通俗電氣學講座
テレヴィジョンの作り方
科學隨筆
學位論文製作者の手記
別冊附録
日本怖るべし
科學畫報社
此處に萬人の敎科書がある
石板を拭いて新しく書け!!
新英雄傳
室伏高信著
上卷
四六版 三百五十頁 定價壹圓 送料十錢
シイザア・ナポレオン等の殺人鬼は王座の高きからおろされた!! 世界の聖者たちは赤裸々のまゝに甦った。
英雄とは何か!
ナザレのイエス
大思想家老子
人間孔子
沙門佛陀
この傳記は從來一般に行はれた英雄傳の總書きをほした。
先進社
昭和五年度
商店日記
無代進呈
商店界新年號附録として無代進呈
誠文堂商店界社

關東廳第二次異動 廿六日發令さる

異彩を放つた青年新進の拔擢 內務關係約四十名

關東廳の第二次異動內務局關係の人事異動は警務局の發表に二日遲れて二十六日一齊に發令された、しかして內務局關係は警務局の異動に比し員數範圍共に少なく、僅かに大きの通り約四十名で主なるものとしては西山旅順民政署長の勅任待遇、關東廳衞生課長、奉天、旅順兩警察署長、普蘭店民政支署長の任命と大林警視の警視廳轉出及びこれ等に伴ふ旅大兩民政署理事官級の異動等で、屬官及び屬その他より屬官への昇進異動したる者多く、旅大兩民政署管內の大異動があつたが、有資格者を始め青年新進の拔擢は最も異彩を放つてゐる、尚旅順警察署長に來任の加藤警視は內務省出、北海道廳警視、大分縣警視を經て本年四月より警視廳下谷坂本署長となり今回來任する事となつたものである

關東廳事務官從六位 川合 又一
兼任關東廳警視 補奉天警察署長 敍高等官五等 警務局勤務ヲ命ス

警視廳警視正七位(東京下谷坂本警察署長) 加藤 芳香
任關東廳警視 敍高等官六等六級俸下賜 補旅順警察署長 兼任旅順民政署警務課長

關東廳屬正七位勳六等(金州民政支署) 池田 公雄
任關東廳理事官

敍高等官七等六級俸下賜 補普蘭店民政支署長 關東廳屬(文書課) 田中 稔
任關東廳理事官 敍高等官七等九級俸下賜 大連民政署地方課長ヲ命ス
關東廳屬從七位勳八等(大連民政署) 山田 讓
任關東廳專賣局理事官 敍高等官七等六級俸下賜 專賣局庶務課長ヲ命ス
關東廳警視從七位 大林太久美
任警視廳警視 敍高等官七等 補本所原庭警察署長
關東廳事務官(旅順民政署長) 西山 茂
免兼官 勅任官ヲ以テ待遇セラル
關東廳事務官 增田 道義
警務局衞生課長ヲ命ス 警務局警務課兼務ヲ命ス
關東廳事務官(大連民政署地方課長)

旅順民政署庶務課長兼財務課長ヲ命ス 吉野不二雄
關東廳警視 立川俊三郎
奉天警察署長事務取扱ヲ免ス
關東廳屬(普蘭店民政支署庶務課長) 平井 齊三
普蘭店民政支署長事務取扱ヲ免ス
金州民政支署庶務課長ヲ命ス 關東廳警部 谷 竹次郎
旅順警察署長事務取扱ヲ免ス 關東廳理事官 本間 又吉
關東廳理事官 荒井 平馬
關東廳專賣局理事官 田寶樺之助
依願免本官(各通) 關東廳雇 秋吉 勘三
關東廳雇 河野 占男
關東廳司書(關東廳圖書館) 鈴木 義雄
任關東廳屬(各通) 旅順民政署雇 北井 辰治
關東廳地方課雇 田原 常雄
關東廳專賣局兼關東廳屬 山口倭太郎
任關東廳海務局屬 兼官如故
關東廳屬(貔子窩民政支署) 惠利 正雄

呼倫貝爾に七名の委員制共產政府

哈市支那側への情報

【ハルビン特電二十七日發】支那側の報によれば呼倫貝爾は七名の委員制共產政府を組織したと

委員に二名の露人

【ハルビン二十七日發電】支那側公表=呼倫貝爾蒙古青年黨はロシアの援助に依り多年の懸案たる呼倫貝爾獨立を叫び共產政府を海拉爾に樹立したと、政府委員七名の內二名はロシア人で來年一月二十五日よりモスクワで開かれる露支會議は紛糾するものと見られてゐる

日本大衆黨代表 政民兩總裁と會見

【東京廿六日發電】日本大衆黨執行委員長麻生久、書記長河野密、淺原兩代議士以下は廿六日午前十一時四十分院內で政友會犬養總裁と會見し左の如き質問應答を行つた

(問)、疑獄事件發生原因は何處にありや

(答)、現在の社會道德の廢頹に依るものであるが獨り政界のみならず實業界もさうだ

(問)、現在の既成政黨の本質がさうさせるのではないか黨費を如何にして生み出すか茲に問題が在るのではないか

(答)、未だ總裁就任後間もないから何も知らぬ、然し我輩は一文なしでやつて行ける

(問)、無產黨が大きくなるにつれ今後既成政黨は政策で戰へなくなり勢ひ一層金が入りはせぬか

(答)、我輩は無錢でやれる自信がある、然しさう急には行かぬ

(問)、政界淨化の手段としては總

休會明け劈頭 不信任案は提出しない

解散回避の陰謀などやらぬ 犬養政友總裁の言分

選擧あるのみであるが、政友會は解散回避の陰謀をやつてゐるといふが如何

(答)、解散を好きなものは一人だつてありはしない、好きなのは安達君と無產黨位だらうと我輩が言つたとから誤解を生んだのだらう回避陰謀なんかやらぬ

(問)、疑獄事件被告を除名して淨化の一方法とする考へなきや

(答)、公判で決定せねば判らぬ若し罪が決定したら先方で自ら考へるだらう

(問)、黨費の公開を爲す考へなきや

(答)、さう急には行かぬ、實際公開しても形式に流れ勝となる

(問)、休會明劈頭不信案を提出する考へなきや

(答)、劈頭不信任案は提出しない昔藩閥政府と政黨とが對立した時代には劈頭不信任案を出した例もあるが、今は政策を戰はすといふ傾向になつてゐる

かくて零時十五分會見を終へた

疑獄事件の發生

國民の自覺でふせげる

選擧費で政界の將來悲觀せぬ 濱口民政總裁の言分

代表は更に午後一時四十分官邸に濱口首相を訪問した、濱口首相は民政黨總裁として會見左の如く答へた

(問)、疑獄事件發生原因につき如何なる考へを持つか

(答)、原因はいろいろあり簡單でないが、選擧費も多く要することも重な原因である、政治の野心もあらう、併しかゝる弊は政黨の自覺と選擧民の自覺即ち國民の自覺で防ぎ得ると思ふ

(問)、無產黨の擡頭に依り既成政黨は選擧費を減らすことは出來まい

(答)、政界の將來を左樣に悲觀しない

(問)、疑獄事件防止具體策如何

(答)、司法權の充分な活動、黨員自からの戒心、國民の政治的良心等に俟たねばならぬ

閣議決定事項

【東京二十七日發電】本年最終の定例閣議は二十七日午前十一時より院內大臣室に開會、濱口總理以下出席、議會解散問題につき意見交換の後井上藏相より年末金融界は極めて平穩何等懸念すべき現象を認めず金解禁前後に於ても財界は極めて平穩であると確信すると報告、江木鐵相より鐵道會議の空氣につき大して憂慮すべき形勢はない、然し政府は萬一を慮り懸切、丁寧の態度で臨む要ありと思ふと報告し正午散會した、決定事項左の如し

一、家屋賃貸價格調査會の件

一、社會政策審議會官制、關稅審議會官制、國際貸借審議會官制廢止の件

一、白耳義駐劄特命全權大使 永井 松三

ロンドン會議に於ける帝國全權委員被仰付

衆院豫算委員長

政友會の井上氏當選

【東京二十七日發電】衆議院最初の豫算總會は二十七日午後零時十五分開會、無記名投票に依り委員長互選の結果

三十六票 井上孝哉(政友)
二十一票 森田 茂(民政)

にて井上君委員長に當選依つて井上君委員長席に着き理事八名を委員長より指名し零時半散會した理事左の如し

△政友會 青木精一、福井甚三、寺田市正、木暮武太夫 △民政黨 工藤鐵男、神田正雄、堤康次郎 △第一控室 河崎助太郎

仙石滿鐵總裁

山本男ら首相と懇談

【東京二十六日發電】仙石滿鐵總裁は二十六日午後三時四十分、民政黨顧問山本達雄男と共に官邸に濱口首相を訪問し時局につき懇談した

濱口首相談

仙石總裁、山本男と會見後濱口首相は語る

仙石總裁は昨日歸京したので挨拶旁々滿洲の模樣を大體話されたが政局については何にも言及されなかつた、山本男は二月間も別府に居たので留守中の出來事につき聞きたいと言ふので自分は金解禁問題疑獄事件等につき詳しく話した、議會を解散すべしともすべからずとも聞いては居ない、無產黨は解散の事を云々して居る樣だが山本男と仙石兩氏には今後あふ約束はないが自分としては如何なる事は解散するか何ふかは勿論旨へない手段を採つて行く事は斷じてない、金解禁も軍縮も重大問題だが之を解散回避と結びつける必要はないそれは人によつて違ふものだ

山本男語る

(三、四日前別府から歸り今日午後四時頃なら暇だと言ふので出かけた譯だ、仙石總裁と三人で話したのではない仙石總裁は途中で用が濟んだから歸へるとて歸へつた、濱口首相からは金解禁、減俸中止、疑獄事件等過去の話を聞いた解散の可否を論議したといふのではない、野黨の政策が政府のと合致した以上政府は議會の支持を受けて居る譯けであるから解散など必要はないと仙石總裁が言つて居ると言ふがそれは其の通りだ、議會がスムースに行きさへすれば解散の必要はないと私も思ふ、解散したからとて金解禁には重大な關係もないから必要な場合は解散も良からうが解散はない方が良いと思ふ

問題は何にも知らぬ、減俸問題をやめさしたおれだから解散回避につき意見を述べたと思ふのは間違ひだ、若し解散回避運動がほんとにあつたら野黨が議長委員長を占めても政府に盲從するからいゝではないか、解散の可否などは全く知らぬ

仙石總裁談

三月間滿洲に居たので其の間に見聞した事につき話をしただけだ、今日政局政黨に無關係となつた

奉露協定に基き緊急理事會

東鐵愈よ原狀に恢復

【ハルビン二十六日發電】東鐵ロシア側幹部一行十四名は廿六日夜十二時、特別列車でハルビンに乘り込んで來るが、廿七日紛爭以來最初の緊急理事會を開き奉露協定に基つき東鐵管理局長ルーデー氏、副管理局長デニソフ氏その他理事各課長の就任式を擧行する、斯くて去る七月以來さしも紛糾した東鐵問題の原狀恢復は完全に行はれる譯である

露支親善關係の促進につき懇談

勞農代表赴奉の目的

【奉天特電二十七日發】露國側全權シマノフスキー、新東鐵管理局長ルデイ、副局長デニソフ、前理事イズマイロフの四氏は、蔡運升氏の東道で今夜十時四十分來奉、張學良氏と會見する筈であるが目

邦人救濟の列車

滿洲里へ運行を計畫

【ハルビン特電二十七日發】滿洲里海拉爾の邦人救濟の爲めハルビン居留民會にては一般の寄附を受け西部線開通と共に救濟列車で輸送すと

的は今回の交渉の經過と結果を張氏に報告し且つ兩國の新しき親善關係を促進すべく懇談することに在り、當地に於て正式會議開催の豫定は無く、臨談、正式會議の前提的儀禮に止まるものと觀られてゐる

議定書を携帶赴奉

【ハルビン廿七日發電】新任ハルビン總領事シマノフスキー氏一行四名は蔡運升氏等と共に露支議定書を携帶二十七日朝九時半發奉天に向つた

在哈露人の意氣昂る

露代表到着に

【ハルビン二十七日發電】驛頭に群がる群衆に身動きもならぬまでに取り卷かれ辛ふじて今曉一時ごろグランドホテルに入つた新任東鐵露國側幹部一行十四名はハルビンに鳴りを鎭めてゐた露國要人と

露支領事館愈よ復活

貿易機關と共に

【ハルビン廿六日發電】七月以來門戶を鎖してゐたハルビン勞農總領事館は東鐵ロシア側幹部のハルビン乘込みと共に俄に活氣を呈してゐる、ハルビン勞農總領事には對支交渉の重任に當つたシマノフスキー氏に決定、斯くて天津を初めとして東北四省六ケ所のロシア領事館の復活と共にロシアの在支ダリバンクその他通商貿易機關も五ケ月振りで復活する事となつたので滿蒙ハバロフスク、ブラゴエシチエンスク、イルクーツク等の露領の支那領事館も來春早々交換的に復活に決定した

東鐵の現狀を調査研究の上機道能力の發揮に全力を傾倒する、殊に露國を通じての貨客の輸送には細心の注意を拂ふ露國の東鐵に對する方針は奉露協定を履行する

尙露國幹部の北滿乘り込みに活氣附いた勞農國民は赤旗を振り歩き意氣軒昂たるものがある

の折衝に忙殺されてゐるが東鐵管理局長ルデイ氏は側近者を通じて左の如く語つた

避難從業員近く歸哈

【ハルビン二十六日發電】露支紛爭に伴ひ支那官憲に強制的に支那側より追放されたロシア人從業員三千名は近くハルビンに流れ込むこととなつたが、奉天、大連に避難してゐる東鐵理事ダニレフスキー氏ほか勞農國民四百名も來哈する筈、その結果、支那側が臨時に雇傭した白系露人及支那人四千名は當然馘首されるので之等從業員は戰々としてゐる

國境支那兵引揚準備

【ハルビン廿六日發電】露支紛爭も五月振りで漸く圓滿解決したので東西國境に出動した支那軍三萬は張學良氏の命に依り引揚準備を開始した、歐亞連絡も近く復舊する筈

鞍山硫安增產計畫

愈よ具體的に調査

第一回委員會を開催

前山本總裁時代からの懸案となつてゐた滿鐵鞍山製鐵所の硫安增產計畫は幹部の更迭と一般新規事業の手控へ乃至練直し方針に隨ひ其後全く停頓せるかの觀があつたが一方

既定計畫

の出銑二十八萬噸の新設爐並に附帶設備たる發電所等の工事は順調に進行し爐の方は明春二月中に完成、三月より出銑の見込であり、ドイツのウーデ式空素固定の特許權は既に買收濟みとなり鞍山製鐵所より歐米各國硫安工場の實狀觀察に派遣されてゐた深水參事も先月下旬歸任報告を終へたので最近本問題は愈々具體化への一步を踏み出したものゝ如く仙石總裁の命により大藏主席理事を委員長として左の如き陣觸れで硫安增產計畫

委員會の

設置を見るに至り廿六日その第一回委員會が開かれたが今後も引續き生產、販路、建設、特許、原料等各部小委員會を設けて綿密な本計畫の研究檢討を續行する筈

△委員長 大藏理事△原料關係委員 村上(地質)△建設關係同千秋(製鐵)△販路關係同 向坊(業務)△同 小川(販賣)△特許關係同 世良(中試)△其他中山(經理)深水(鞍山)等

計畫の可否を根本的に審議

大藏委員長の意見

右に就き委員長大藏理事は次の如く語る

實は總裁が上京前に留守中よく研究して置けとのことで私が委員長を命ぜられて本計畫を根本的に審議することになつた、勿論やるかやらぬかは研究の結果と總裁の意思如何にあることで全然白紙に還つて從來の十三萬噸計畫を檢討する譯である、昭和製鋼所や議會の樣なものだ、肥料國策とか何とかそんな大袈しい大きな問題ではない、採算上有利であれば或は實現するかも知れぬが明年中に本計畫が具體化するかどうかは上述の理由により今日言明の限りでない

尙仄聞する所によれば本計畫の實現には約二千萬圓の資金を要し若し具體化するとせば明年一杯に生產設備其他の諸準備を完成し同六年匆々より製品を市場に出し得る見込で製品は鞍山製鐵の貧鑛處理法とコークス製造法の綜合により低廉な原料水素瓦斯を得優良なるドイツ式白色硫安(主として內地向の直接肥料)を最少限度約十二萬噸生產するものであると

對滿政策に關し意見を交換

林總領事仙石總裁を訪問

【東京特電二十六日發】滯京中の林奉天總領事は廿六日午後四時五十分仙石氏を滿鐵支社に訪問し約四十分會見挨拶の意味を兼ね目下拓務外務兩省間において考究中の在滿鮮人保護並びに滿鐵附屬地の行政等の問題につき意見の交換をなした模樣色々協議するところあつたが右は挨拶の意味を兼ね…であると

滿鐵豫算內容を拓務當局に說明

收入六七百萬圓增加

【東京特電二十七日發】竹中經理部長は二十七日更に拓務省に對し滿鐵五年度豫算の內容を詳々說明し諒解を求むる處あつたが、明年度の收支豫算に於ける純益は既報の如く四千七百十四萬圓でこれを四年度の當初豫算に比すれば六、七百萬圓の增、また露支紛爭後の更正豫算に比すれば二百萬圓の增加に當つて居る、また收入總額に於ては約一千萬圓の增加となつて居るが、右收入の中には露支紛爭による鐵道運賃の增加は無論これを一時的のものと見て殆ど見込んで無いので紛爭解決後の減收は何等影響はない譯である、また石炭値下げに伴ふ減收は勿論相當考慮してある由

小幡公使問題で再考を求む

國民政府に對して

【東京二十七日發電】小幡酉吉氏の駐支公使任命問題につき國民政府は過日駐日公使汪榮寶氏をして公使館昇格即時實現、領事裁判權即時撤廢を條件として提出せしめ小幡氏と二十一箇條約成立當時の折衝とを結び附けてアグレマン拒絕を與諾せしめたが、外務當局は此支那政府の國際信義無視の態度を極度に憤慨し對策を講究中であるが、既に小幡氏起用に決した今日帝國の國威保持の上からも撤回することは斷じて不可能として居るため支那が反省の實を示さぬ限り同問題の紛糾は免れぬ形勢に在る、然し政府は今一應國民政府の反意を促めるため二十六日重光上海總領事、上村南京領事に訓電を發し王正廷氏及び國民政府部內の穩健論者と見られる譚延闓、戴天仇氏其他と折衝し、小幡氏の任命事情を述べて國民政府の再考を求めることゝなつた

西山財務部長

二十九日離京

【東京特電二十六日發】西山關東廳財務部長は要務も略片附いたので二十九日の夜東京發、三十日神戶出帆のはるびん丸で歸任、また今回關東廳事務官に新任した田邊秀雄、有田宗義兩氏は何れも正月早々東京發、太田長官上京前に赴任すと

爵位返上允許

破產の佐竹男

【東京廿六日發電】男爵佐竹義立氏は今春破產宣告を受け爵位の返上を願出て居たが、愈々廿四日允許の御沙汰があり宮內省は即日發表した

臺灣電力社長

松木氏就任す

【東京二十六日發電】臺灣電力社長は前復興院副總裁松木幹一郎氏が任命された、氏は日月潭水力工業繼續或は中止の鍵を握るもので中止となれば政治上、勞働問題上大影響あり氏の態度注目さる

林總領事歸奉期

【東京廿六日發電】外務、拓務兩省と事務打合せのため歸朝中の林奉天總領事は廿六日を以て所用を終へ廿七日晚か廿八日朝東京發奉天に歸任する筈である

人事

▲日笠芳太郎氏 二十七日發うらる丸にて歸京

▲中尾大次郎氏(新任大連水上署長)二十五日市內各方面へ新任挨拶電報を發した

▲吉積庄三氏(東亞勸業公司專務)二十六日二十時三十分着列車にて來連遼東ホテルに投宿

安東箱子

關東廳未曾有の大異動發表でホツと重荷を下した人、首を撫でて見てピクピクしてゐたのが今度はホツと胸を撫で下した人、榮轉で何年分の正月が一時に來たやうな人、進級の當が外れて之は又歲末の悲哀一層凝嚴な人樣々である▲たゞさへ慌たゞしい歲の暮に押迫つて年內に赴任とは流石にスピード時代▲旅順民政署長に西山茂君の歸り咲きと共に往年同じ屋根の下で活動してゐた大林太久美、伊藤角太、中原不二雄夫、山本繁雄、田中定三郎の各警部連中が再び旅順に歸つて來るのでスツカリ昔氣分▲西山氏は初代の旅順少年團長で再び君のスカウト姿が見られる、今度は洋行歸へりの團長だから一段異彩を見せやう▲久方振りで旅順に歸つた警部連中も永い間の奧地勤務で得た數々の體驗を本廳に於て活用、又大に見るべきものがあらう▲更に角年改まると共にスツカリ清新味を盛つて諸事一新とは嬉

轉任警察官夫々任地へ

新任營口警察署長警視林源之助氏は廿七日午後九時四十分、同じく大連署へ榮轉の警部熊井準三氏は廿八日午後九時四十分また鳳凰島警察部長に榮轉の藤田俱次郎氏は卅日午前九時四十分旅順驛發、熊岳城で越年し新春三日出帆はいかる丸にて新任地に向ふと尙後任御影池氏は六日着任豫定

貔子窩民政支署總務課長ヲ命ス 關東廳屬(金州民政支署) 渡邊喜兵衞
普蘭店民政支署 甲斐 直興
貔子窩民政支署 荒卷 英治
關東廳警務課 板倉市二郎
貔子窩民政支署 李田 周彥
依願免本官(各通) 關東廳地方書記 田原 常雄
貔子窩民政支署 星野 信定
大連民政支署 牛島 辰巳
依願本職ヲ免ズ 關東廳屬(旅順) 小林 鐵藏
關東廳屬 山口倭太郎
關東廳屬(地方課) 田原 常雄
關東廳地方書記(旅順) 西川 文吉
關東廳屬 調 哲
關東廳屬(地方課) 淸野 三郎
內務局地方課勤務ヲ命ス(各通) 關東廳屬(文書課) 林田 龍吉
內務局殖產課勤務ヲ命ス 關東廳屬(專賣局) 大和田彌一
內務局土木課勤務ヲ命ス 關東廳屬(金州) 長谷場 純
關東廳屬 鈴木 義雄
關東廳屬(旅順) 北井 辰治

旅順民政署勤務ヲ命ス(各通) 地方書記 藤原 藤吉
關東廳屬 志村 源藏
關東廳屬 蜷川久太郎
關東廳地方書記 加藤 運平
關東廳屬(金州) 前田 正利
大連民政署勤務ヲ命ス(各通) 關東廳屬(普蘭店) 秋吉 勘三
關東廳屬(大連) 酒井 鶴um
關東廳屬(同) 野田 修藏
金州民政支署勤務ヲ命ス(各通) 警部 池田 公雄
關東廳屬(旅順) 山崎 庄作
關東廳屬(大連) 牛島 辰巳
普蘭店民政支署勤務ヲ命ス(各通) 關東廳屬(大連) 小暮 鶴雄
關東廳屬(金州) 河野 占男
司法書記(普蘭店) 牛島 要藏
貔子窩民政支署勤務ヲ命ス(各通)

滿蒙色橫溢 新春の滿日紙

昭和五年、新春の滿日紙は勅題「海邊巖」をオフセット版グラフィックにて竹の園生の御繁榮を壽ぎ奉ると共に新進作家三上於菟吉氏の「戀の地獄」(鶴田吾郞氏挿繪揮毫)の封切り、滿蒙色を橫溢さすべく左の諸大家の執筆を煩はし讀者各位の要望に奉仕することになりました。

新春號執筆者(順序不同)

石本鏆太郎氏 田中千吉氏 兒玉秀雄氏 吉田辰秋氏 森本熊次郎氏 畑英太郎氏 實吉寺郎氏 田中定々氏 渡邊軍醫部長氏 石射猪太郎氏 松田源治氏 太田政弘氏 仙石貢氏 大平駒槌氏 井上準之助氏 貝瀨謹吾氏 中西敏憲氏 倉賀野晉氏 石森延男氏 中澤不二雄氏 岡部平太氏 大塚幹一氏 富永能雄氏 森富男氏 宗光彥氏 小林胖生氏 中尾國次郎氏 仙波久良氏

若竹又男氏 伊澤信一氏 升巴倉吉氏 島野三郎氏 井手正壽氏 竹內克巳氏 本間久吉氏 伊藤淸造氏 大村卓一氏 池田季藏氏 安藤忍氏 篠原忠男氏 綱谷佐次郎氏 中谷政一氏 山田武吉氏 八木沼丈夫氏 稻葉亨二氏 橋本八五郎氏 高津敏氏 大野斯文氏 芥川光藏氏 日向保良氏 小谷百合子氏 今西ツネノ氏 辻忠治氏 石原鐵徹氏 井出澄三氏 南次郎氏 今村武志氏 加藤明氏 石田禮助氏 野田蘭水氏

高橋武夫氏 高見三吉氏 霍山忠雄氏 横田多喜助氏 伊藤久太郎氏 加藤敬三郎氏 森廣藏氏 鈴木嶋吉氏 來栖健助氏 土方久徵氏 村井啓太郎氏 神成季吉氏 長田節氏 小倉圓平氏 今尾松翠氏 谷山知生氏 馬場鍈一氏 川口四郎氏 石田吟松氏 伊藤順三氏 宮本柳芳氏 塚本孝氏 紙谷豐太郎氏 平島信氏 小坂準三氏 眞山恒郎氏 坂本高氏 山西氏 宮尾舜治氏(其他)

定期後場(銀建)

[illegible]

現物後場(銀建)

[illegible]

商品

錢鈔 後場(出來不申)

[illegible]

定期後場(金位建)

[illegible]

現物後場(金位建)

[illegible]

神戶特產(廿七日)

[illegible]

滿洲日報

關東廳の異動 新轉補者への希望

新陳代謝、新らしい氣分に更改することは官場にありても當然の要求である。第一印象といふか、とにかく場所が替つただけにても氣持が違ふ。それに新進を拔擢し適材を適所に置くとあつては鬼に金棒といふべきである。

◇

太田關東長官が來任し、中谷警務局長が就任してから、大に官場の氣分を刷新せんと鋭意してゐたことは多とせねばならぬ。わが關東廳は内地の府縣などと異り、常に對外關係といふものに曝露されつゝあるところから、緊張また緊張、新と舊との區別なく、サボることを許されぬ状態にあるのであるが、太田長官は、一般の緊褌、緊張を期し、かつ警備方面にありては、明年度豫算に十六萬圓の增額を計上し、以て一百二十名の警察官を增員せんとしつゝあるが如きは、最も時代の要求に適合したものといはねばならぬ。尤も、政界、昨今の情勢を以てすれば、あるひは豫算の不成立、前年度踏襲といふやうなことに陷らぬとも限らぬが、併し、關東廳當局の努力に對しては、われ〱在住民としては大に感謝すべきであらう。

◇

それから日本人の從來の陋習とでもいふべきか、海外に職を奉ずることを喜ばざるの結果として、外地官場と内地官場との官吏任免の融通が、甚だしく不圓滑、ために動もすれば外地官吏たることを嫌ふの風を生じたるやに風聞せらるゝが、昨今、拓務省の新設以來漸次、さる障壁の撤廢せられ、わが關東廳よりも内地官場へ、また内地官場より、わが關東廳へ有爲なる青年官吏を轉任せしめつゝあるが如きは、ただに内地外地の狹隘なる考へを一撤することに成功したると共に、わが官場の空氣を一變せしめたるものといふべきであらう。

◇

だが併し、官紀の振肅とか、能率增進とかいふことは、組織よりは寧ろ根本は人間にありといはねばならぬ。官廳なり會社なり、その組織が大となれば大なるほど、組織といふものを以て統制して行かねばならぬことは、已むを得ざる當然である。併しながら、その組織によつて、その組織體を有機的に活動せしめて行くものは、何といふても人間がもとである。この人間さへ緊張し、しッかりとしてテキパキ活動して行くにおいては、組織上の少しぐらゐの缺陷はこれを補つて餘りありといはねばならぬ。いかに組織が完全に出來上つてゐても、それを動かす人間が堅實でなく、緊張を缺くにおいては、全體の統制は勿論、決して能率も上るものとは思はれぬのである。

◇

組織が厖大となり、分業が甚だしくなると、折角の人間の活動力精神力といふやうなものが機械化したりする。その機械化が、すなはち合理化なりなどと誤るものなきにあらざるも、眞の合理化は、機械化よりも精神化、組織化に立脚する人間化でなくてはならぬ。何といふても根本は人間の問題でなくてはならぬ、その眼目とするところは人間に存するのである。この意味において吾人は、關東廳今次の大異動を以て、最も機宜に適したものと認め、而して新に轉補せられたる多數官吏に對し、仕事の基礎を人間の上に置き、眞の合理化に邁進精勵せんことを望むものである。

臣籍に御降下の山階宮茂麿王殿下

山階宮茂麿王殿下には過般の皇族會議の議決により臣籍に御降下あらせられる事となり、皇族として最後の宮中三殿御禮拜の爲め二十三日午前十時參内、引續いて朝見の儀を行はせられた、寫眞は陸軍少尉の御正裝にて御出門の茂麿王殿下

多年の懸案なる 關東州の税制整理
明年度以降三年間に調査して 根本的に改革斷行

【東京發】關東州の税制整理は多年の懸案となつて居り先年中央政府の税制改革が實行されて以來遠からぬ將來に於てこれを實現すべしとの説が有力であつたので、關東廳に於ても今日まで内々各方面の事情を調査し且つその資料蒐集に努めて居たが、今回幸ひにも

豫ねて要求 して居た税制調査費の計上を明年度會計に於て承認されるに至つたので、明年度以降約三ケ年間に於てこれが調査攻究を正式に行ひ時代の推移に適應する税制改革を實行する事になつた、勿論その改正の内容は調査完了の上でなければ如何なる方針に依つて如何なる改革を行ふや決定しない譯であるが、州財務當局の方針として大體考慮されて居る所は素より姑息の一時的改正に止めず、國税地方税を通じて根本的の改革を斷行せんとするにあり先づ租税體系の樹立、税負擔の均衡並に公正を目標にして州財政の確立を期せんとするにあるが、素より收入增加主義を以て之れを行はんとするものではないから

之れが實現 の曉に於ては居住民の一般的負擔加重を生ずることなきやう十分の注意を以て各種税金の調査決定を見ることになるであらう、而して現行税令に基く國税の中樞をなすものは法人所得税及び地租でこれに補充の意味に於て鹽税、酒税、煙税等の製造税及び消費税あり、外に取引所税（取引税と取引營業税の二つ）あり、また地方税としてはその中樞をなすものは營業税でこれに各種の雜種税を配してその補充をなして居る、その内國税に於て當然問題になるのは現行の法人所得税（所得の百分の五の税率及び超過累進率を課す）の外に

個人所得税 （内地税法に於ける第三種所得税即ち所謂勤勞所得税）の新設可否であるが、之れを果して新設するか何うかは勿論各般の實情を調査攻究した上でなければ州内特殊の事情もあることであるから決定し難いことであるが、理論上から云へば成るべく少所得者の負擔を輕くした税率を定めるのを目標に之れを新設するのが時宜に適應したものであると見られて居る、また法人所得税の税率並に累進方法に就ても相當考慮さるゝ事となるべく、更に第二種所得税（即ち公社債利子、銀行預金利子に對する課税）や資本利子税の如きは未だ關東州の如き土地柄では時期尚早なれば

到底問題に ならぬであらうと見られて居る、次に地租は現行令に於ては全部耕地と看做して一畝に付二十錢の一本であるがこれは負擔の均衡上飽くも市街宅地と耕地の二本に區分し各別の税率を賦課すべし（或はこの外に山林池沼の分をも加へて三本とすべし）との説もあるが、これまた結果に於て市街宅地の地租重課となることが果して現在の事情に於て許すや否や等も十分攻究する必要があるであらう。

其他鹽税（一石に付六十錢）酒税（清酒一石十二圓、ビール三圓）煙税（兩切三割、口附二割五分、刻及葉煮三割）取引所税（取引税（イ）有價證券萬分の三（ロ）地方債證券、社債券、定期賣買約定萬分の一半（ハ）商品萬分の二（ニ）錢鈔十萬分の一

等に就ては **輕減若くは** 廢止説も民間に行はれて居るが、關東廳當局としては之れを直に輕減若しくは廢止することが出來るや否や疑問で、社會政策上その他より見て十分愼重に考慮されるであらう、次に地方税中最も緊急の改正を要すべしと見られて居るのは言ふまでもなく現行の營業税を内地税法同樣營業收益税に改正すべしとの説で、昨年大連商工會議所に於て蒐集したる資料に依るも一般營業者は現在の外形標準に依る課税を收益課税主義に改めて貰ひ度いと希望するもの多く、進步したる課税方法として内地税法に於ても既に之れを採用して居る事であるから

之れは當然 今回の税制調査上の主要な一つとなるであらう、只營業收益税採用に就いて不可分の問題として考慮されるのは前記國税に於ける個人所得税の新設の可否であつて、これは其の課税の性質上負擔者が營業者である場合は二重課税（法人所得税も亦同樣）たるを免れず、右兩者の權衡を如何にするやは今回の税制調査上の最大難問題であらうその他地方税中の雜種税に就てはその種類雜多にして一々これを改廢することは却つて複雜な考慮を要するが、何れにしても大體方針としては課税物件として疑問多く而も

少額のもの であり且つ小資産の負擔を强て居るやうなものは成るべくこれを廢し、一般的にして最も合理的に賦課し得るものにこれを統一整理をなし地方別に依つて負擔の均衡を破るが如きことのないやうに努むることになるであらう、要するに該税制整理調査費豫算決定の上は早速人員の配置、調査の方法等を決定して來年四月より其調査に着手することになる筈である

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと

多過ぎる小賣業者
富士井湯多河生

滿鐵社員消費組合のデパート出現に依り在滿小賣業者は恐慌來を叫び、南滿各地の商工會議所まで之に聲援して問題を殊更に大きく取扱はんとしてゐるが、第三者が公平なる見地に於て一考すれば別に騒ぐ程の問題ではない、消費組合は既に十年以前より存在して居るが今回在連社員への配給を便にするため中央分配所をデパート式に改めたまでで顧客は組合員に限定されて居るから別に騒ぐ理由はない、消費組合が在滿小賣商の恐嚇の的となつて居るのは安價で配給するため太刀打ち出來ないと云ふにある樣だが、消費組合にも六百人の從業員が居り多額の營業費と人件費とを要し尚ほ年四五十萬圓の純利益を上げて居るので、相當の利潤を得て販賣して居るのに太刀打出來ぬと云ふは餘りにボリ過ぎるのではあるまいか、市中小賣物價中比較的利益少なき物は化粧品莫大小類の如きで仕入値より二三割高で販賣され、多くは五割乃至十割が普通で甚しきは十五割乃至二十割も懸ける商品がある、斯る利潤を得乍ら立ち行かないのは在滿邦人を顧客とする邦人小賣業者が多過であるのである、又今回現金賣制を併用した事に對して市中商人の壓迫であると云ふのは當らない、寧ろ組合の顧客を市中に吸收の機會が與へられたと云ふ可きではあるまいか、何となれば組合の配給値段より安價で販賣して居る商店があれば組合員と雖も其處に走るのが自然である、組合當事者も商策の機微に通じた達人のみではない、先達ても米價下落の傾向にある折柄大量仕入をなし高價な米を配給して居た、大連に於て組合値段が滿洲米の特等にて七圓八十錢の時市中にて七圓三十錢にて販賣して居た商店が伊勢町にあり、醤油味噌の如きも同値段で組合品より品質味合共に良好と思はるゝ品が信濃町にあり、正月用の數の子の如きも組合品四十四錢のと同程度の物で四十錢で磐城町邊にある、之れ等の商店が現に繁榮しつゝある商舖であることを思へば誠實を以て然かも合理的に經營努力すれば顧客は自ら吸收されるのではあるまいか、大デパート出現の爲め小賣業者の受ける打撃は啻に在滿の都市のみではない内地の都市然り世界の都市皆然りで斯界の趨勢である、吾々一般消費者よりすれば物品購入に當り小賣業者の苦衷まで忖度して購入する餘裕はない、品質値段としかも便利な處に購入するのが自然である然らば如何に小賣業者がデパートの出現を阻止したり消費組合の撤廢乃至品種制限に努めてもそれは不可能で、過剩にある小賣業者は自然に淘汰さるべき運命にあるので小賣業者は世の大勢を察知し限られた邦人のみを顧客とせず幾十倍に餘る華人を顧客に求めて努力するか然らざれば職を他に轉ずべきではあるまいか、否轉ぜざるを得ない、過剩にして不合理な存在を許す餘地は無い。

週末東信　不景氣
木瓶生

歳末の色が日に濃く街頭を彩つて行つてゐる不景氣襲來の聲におびえた小商人達が大割引景品附なんていろ〱の趣向を考へていつもなら十二月も十日すぎに歳暮品の需用やボーナスを當込んでやる店頭の裝飾などを今年はもう先月の末から慌てゝやり出したので、何となく街頭が騷々しく、歳末氣分が例年よりは早くやつて來たのだ

× × ×

だが何んなに街頭を、店頭を賑やかに美々しく飾り立てゝ「斷然大割引」だの「率先値下」だの「時勢に目覺めて」だのと門松みたいに店頭へ貼り出したつて、客はシヨウ、ウイドーに物欲さうな眼を向けるだけで、景氣の善い「每度有難う御座い」の聲はあまり聞かれない

× × ×

銀座に澤山列んで居る洋食店などへ晝飯時にでも行つて見玉へ、客の數よりは常にボーイの數の方が多い、或る大きな日本料理店では今のところ宴會の申込が十四日に一つ有る丈で十人の女中に客が每日平均三人に過ぎないと言つてこぼして居た・夏の盛りに「暑いなあ」と言ふ挨拶が交されると同じやうに近頃は誰れに遇つても「不景氣だなあ」といふ言葉が出ないことは無い

× × ×

東京の消費者の中心勢力をなす者は月給取である、從つてそれが所謂不景氣なるものに左ほど直接に影響される筈は無いのだが、かうした現象を見るのも要するに政府の緊縮の宣傳が利いたのと、一つは一般の人氣だ・人氣と言ふものは實際不思議な恐ろしい大きな力を持つて、吾々の日常生活の上に嚴々と威を揮ふ

× × ×

かうした不景氣が一般民衆の思想を急角度に旋回せしめて行くことは察するに難くない、それはプチブルヂヨオがプロレタリアの中に推し落される過渡期であると同時に、又プルとプロとの境に立つて居る連中が知らず識らずプロの階級意識を體得して行く機會だ

× × ×

その明瞭なる表現が例の減俸問題にで示された、この問題は問題自身としては偶にもつかぬ小問題だが、そこにサラリーマンの近代的思潮に立脚した生活權主張の傾向が的確に現はれて居る、英國の金解禁のあとの三角同盟の大罷業が日本ではサラリーメンによつて小さい型を示されたのであつた

監禁露人を愈よ放免 白露人戰々兢々

【ハルビン二十六日發電】露支紛爭に伴ひハルビンに監禁されてゐるロシア人約二千名はいよ〱近く去る七月以來の幽閉から解放されることゝなつた、北滿の勞農國民は狂喜の態であるに反し白系露人は戰々兢々としてゐる

南征雜錄 (69)
難波勝治

廣東と其特色

龍山丸から下船して埠頭構内を出た時、先づ肝を潰したのは雪崩のやうに寄せ來る客引だ、私は三河屋旅館の山崎君に導かれて漸く街上に泳ぎ出たが、其處には更に幾百の人力車がソレといつた調子で客を取卷く、頬骨の高い見るから慓悍な車夫の群で、若し交通整理の任に當る

便衣隊が 道を開いて呉れなかつたら、荷物を携へた婦人など暫し立往生せねばなるまい『所が此交通整理……それが又頗る亂暴で、三尺餘りの棍棒を振り上げ、車體も碎けよと力任せに毆り飛ばすと、蜘蛛の子を散すやうにサツと道を開ける、廣東でなければ一寸見られぬ奇觀だ、人の多いのと其の亂暴振りとは、支那到る處の商埠地に共通する光景だが、廣東は殊に甚だしい、推定二百萬と稱せられるこの市の人口は、總ゆる街々に「人の織機」を横たへて居る、上海の電車が何時も

鈴生りに 人の貨物を運んであるやうに、廣東はその川面まで水上生活者で埋められて居る所謂蜑家舟民がそれで、其數二十萬人に及ぶといふから驚く、西江の重な河岸は大抵片原町になつて居て、其處に立並ぶ大廈高樓の軒下には、乞食や無職の勞働者が寢轉んで居るが、水面には幾萬の屋形船が舳を揃へて各種の店舖を營み、飲食店もあれば遊廓もある、蒸し暑い氣候が自然に作つた風俗だらうか、併し此水上生活者だけは種族的に限られて居る

由來廣東 の住民は種類頗る雜多で大別すれば六種ある、即ち本地人と呼ぶ廣東人、客家、福老、蜑家、猺、及び夷家である、この中廣東人は本省人口の過半を占むる優等種で、勤勉にして活氣に富み、文化的にも商業的にも、敏慧機敏を以て内外に知られて居るが、客家は往昔北方から進入した漢人兵士と、土着婦人との間に生れた雜種で、重に本省の東北部に居住する强壯堅忍な農民である又福老は福建省からの移住者で、潮州附近を中心として東北の

海岸地帶 に多く、夷家は廣西省や雲南省の山間に住居する苗族の總稱で、本省内の根據は西北廣西省に近い地方である、猺は矢張り夷家に編入せらるべき蠻族だが、本省の西南部に偏在して其數約三萬、藥品に關する特殊の智識を有し、熾烈な復讐心に富むと稱せられて居る、所が最後の蜑家は言はゞ水上の蠻族だ、廣東附近に最も多く居住し、田園もなければ家屋もない、男子は晝間上陸して勞働に從事し、女子は終日船を操縱して漁撈運搬等を營んで居る

大部分 **貧窮無智** の徒ではあるが廣東市の繁榮は彼等の手に俟つべき者決して少くない、斯く廣東は種族的に複雜味を有つて居るが、

歴史的にも海外との交渉は遠く且つ深い、商港として差詰め日本の長崎に酷似するが、年代は後者よりも遙く遠代に遡ぼる、印度や南洋との往來は言ふまでもなく、最初に日本を歐洲に紹介したマルコポウロの如き、十八歳の時父及び伯父と共に此地に來航し、商業に從事したものは一千二百五十八年

今を距る こと六百七十一年の昔語りである、尤も歐洲人が通商し初めたのは夫よりも遙か以前で、明代には葡萄牙船が渡來して貿易を開き、後ち英人の手に歸した東印度會社は、例の阿片輸入を始めて阿片戰爭の禍を醸くに至つたのである、此等の史實は既に世の周知する所だが、併し彼の如き種族關係に加ふるに此の如き外的變遷を以てした所に、現代支那に於ける廣東人の思想と特色とは培はれた、革命の發祥地廣東は

洪秀全を 出した、孫文を出した、彼等は滿朝を打倒し、漢人種の傳統を破壞し、更に外力の壓迫から全民族の獨立自由を絶叫したが、此新生命の發露した處に土地の史的淵源を看取し得ると私は思ふ【寫眞は西江の民船】

冬の理科

冬と水道(上)

水道の鉛管は何故破裂するか

一郎。お父さん、水道が止つてゐますよ。

父。きつと凍つたのだから。ゆうべから急に寒くなつたからなあ。

一郎。お湯をかけませうか

母。お湯をかけたりしたら鉛管が破裂しないこと?

一郎。お湯をかけたつて破裂しませんよ。

母。だつて、去年水道が凍つた時お湯をかけたら鉛管が破裂して大騒ぎしたぢやありませんか。

一郎。お母さん、あれはお湯をかけない前にもう鉛管が破裂してゐたんですよ。そしてお湯をかけたら鉛管の破れたところの氷がとけて口が開いたので、そこから水を吹き出したのですよ。

父。さうだ、一郎のいふ通りお湯をかける前にもう鉛管が破れてゐたのさ。

一郎。お父さん、水が凍ると、どうして鉛管が破れるんですか。

父。それは、水が凍ると容積が大きくなるからさ。

一郎。此の間コップに水を入れたまゝ忘れて臺所の棚の上に置いといたのを、あくる朝見たら、水が凍つてコップが破れてゐましたが、あれも、やつぱり凍つて容積がふえたからですね。

父。さうだ、コップなどは何でもないことだ、時には大きな岩石さへも押し割ることがある。

母。一郎や、早くお餅をお洗ひなさい。

一郎。だつて、水が出ないんですもの、

母。湯沸かしのお湯がもう沸いたから、かけてごらん。

一郎。では、お湯をかけて見ませう。……あ、出ましたよ。

父。出口のところが少しばかり凍つてゐたのだらう。だが、これから、水道の凍りさうな晩は、少しづつ水を出して置いた方がいゝね。

一郎。水を少しづゝ出して置くと凍りませんか。

父。水を出して置きさへすれば少し位の寒さでは中々凍らない。

母。メートルが澤山廻るでせうね

父。なあに、大したことはないさ

一郎。水を出して置くとどうして凍らないのですか。

父。それは水道の水が氷點以下の溫度にならない中に流れてゆくから凍るひまがないのだ。

一郎。地面の下に埋めてある鐵管の水は、凍ることがありませんか。

父。それは絕對に凍らない。

一郎。どうしてでせうね。

父。それは、あとで話してあげやう。まあ早く餅を洗つておしまひ、お父さんはタオルを持つてさつきから待つて居るんだから

ニドメノ

大チヤンノタンケン (170)

ハルミチ作 ジラウ畫

シマノ ワウサマハ 大チヤン タチニ イツマデモ キテクダ サイト タノミマシタガ、オヂ サンガ シキリニ カヘリヲイ ソグノデ ヒトマヅ ナツカシ イ ニツポンニ カヘルコトニ ナリマシタ。

ワウサマハ ピカピカ ヒカル オホキナ キンノ カタマリヤ ドツクリスルホド キレイナ シンジユヤ、メモ クラムヤウ ナ ダイヤモンドヤ イロイロ ノ オミヤゲヲ タクサン ク レマシタ。

ソノ アクルヒノ アサ 大チ ヤンヤ オヂサンヲ ノセタ センスヰテイハ、シマノ ヒト ビトニ オクラレテ コノ シ マヲ シユツパツシマシタ。ダ ラズハ ナミダヲナガシテワカ レヲ オシミマシタ。(オハリ)

◇ツギ ノ ヨミモノ◇

大チヤンノ

モウジウガリ

ナガイアヒダ ミナサン カラ ヨロコンデ ヨンデ イタダイタ 「ニドメノ 大チヤンノタンケン」ハ イヨイヨ ケフ デ オシマヒニ ナリマシタ。ラ イネン ハ 一ガツノ 七日 カラ スバラシク オモシロイ 「大チヤンノ モ ウジユウガリ」ヲ ノセマス。タノシミニシテ オマチクダサイ。

メヅラシイ ドウブツノ

キヨクゲイ

ライオン ノ アタマ ノ ウヘ ニ スマシコンデ ノツテヰルノハ ニハトリサンデス。ナ ント メヅラシイ ドウブツ ノ ゲイトワデハ アリマセンカ。

コレ ハ ライオン ノ キヨクゲイ デス。ライオン ガ ジテンシヤ ニ ノリ、ニヒキ ノ ワンクン ガ エンサカホイ トアトオシ ヲ シテヰマス。

兒童の作品

ちゆうしやをした日

常盤小學校二年 麻生 滿三

あと一時かんで、おべんとうをたべるといふ時、しようこうねつの、ちゆうしやを、しましたので、先生のおゆるしをうけてうちへかへりました。

ほかの人は、べんきようをしてゐるのに、ぼくたちばかり、かへるのだから、おくれてしまひはしないかしらんと、しんぱいしながら、うちへはいると、お母さんが

「大へん早いね」とおつしやいました。ぼくは

「ちゆうしやをしたのです。先生が三日ぐらゐおふろにはいつてはいけないと。おつしやつたのよ」といひました。

そこへ、おねえさんが、かへつて來て、

「河田君や井上君たちは、先生と山へ行つたよ」といひましたので、僕も山へ行きたくて仕方がありませんでした。

いたいちゆうしやをした上に、皆と山へ行くこともできないのでほんとうにつまらないなと思ひました。

暮の町

松林小學校四年 田淵 定溫

十二月です。お正月が近くなりました。

町はにぎやかです。歲暮大賣出し景品付臘合大賣出し等と記した立看板や、つり看板を出してゐます浪速町デパートでは、立看板の上に大きなだるまを置いてゐます。三丁目では「歲の市」と書いたはたを出してゐます。それに大きな立看板を立てゝゐます。

雪はこれからふるのです、道は雪がとけて、どろどろになつてゐます。それでも町はにぎやかです。色々な人が通つてにぎやかです。僕の家もいそがしくなるのはこれからです。

僕らの町でも歲暮大賣出しをやつてゐます。

歲の暮には町はにぎやかです。

新刊兒童讀物批評

打たずに鳴る太皷

大連兒童讀物研究會發表

金子彥三郎著、著者は我が子からお話や讀物を要求されるまゝに一般の子供にもといふ意味で此の書を書いたといふことを序文に書いてゐる。內容は昔から傳へられてゐる日本在來の傳說やお話を資料として書いたもので、子供の好きさうな興味本位のお話を二十篇ばかり收めてゐる。兒童の讀物として素晴らしくいゝ本ではないが著者の言つてゐるやうに學習に倦んだ兒童達への食後の果物代りの程度としておすゝめしたい。四年以上程度定價一圓三十錢昭々閣書房

學校と家庭

昭和四年の州內教育界回顧

一月

◇…文部省は入試全廢の趣旨を一層徹底せしむる爲め六十餘頁に亘るパンフレツトを作成して之を各府縣の小中學へ配布した。

◇…市內小學校聯合保護者會が中等學校入學難緩和の一方法として中等學校の增設を關東長官に

二月

◇…大連に兒童讀物を中心とした讀物研究會生れ、大部を日本圖書館に置くこととなる。

三月

◇…滿洲初等教育界の元老石川鐵治氏逝く。

四月

◇…各學校卒業式に多忙。

◇…四月四日新設早苗高等小學校は聖德・伏見臺兩校の一部を借り受け取敢ず開校、一方新校舍は工事着々として進捗。

◇…金州小學校の石川校長逝きその後任として羅漢臺しのやうな校長の異動が行はれる。

五月

◇…岡部氏等の主唱になる五月祭り開る。

◇…本年四月の新學期より南山麓小學校に女子裕科新設された

◇…大連聖德學校は本年度より新たに新設、大廣場校に假校舍を置く。

六月

◇…旅順師範學堂男子部二年生十名の退學處分に端を發した同校男子部生の同盟休校は遂に女校に波及し未曾有の大同盟休校を惹起したが學校當局の强硬なる態度により生徒側遂に纒を折る

は大連グラウンドに於て擧行された。

七月

◇…關東州初等教育總會は、公學堂側は八月伏見臺公學堂に於て小學校側は十五日南山麓小學校に於て開催された。

◇…常盤校外澁谷校長、歐米視察よ

九月

◇…早苗校の校舍完成。

◇…創立二十周年を迎へた南滿教育會は九月二十二、三の兩日旅順に於て記念總會を開催、尙當日全滿各地で教育品展覽會を開催。

十月

◇…創立二十周年を迎へた日本橋小學校は十月五、六、七の三日間盛大なる祝賀會を開く。

◇…大連聖德學校々舍竣工、大廣場校より新校舍へ移轉。

十二月

◇…教育界の不祥事、昭和四年の教育界に一汚點を殘す。

新刊教育書紹介

▲一年生教育(一月號) 善玉縣玉的倫理教育は施すべきか、童謠とその教育的價値、去勢された教育者、その他一月の各教育指導、遊戲、創作童話、隨筆等(五十錢東京市神田區表神保町六小學校)

カメラで拾つた歳の暮れ

愈よ石本大連市長 自發的に勇退する

一月八日ごろの開會の市會で表明

紛糾漸く大團圓へ

田中大連民政署長は二十六日市會代表大内委員長及石本市長代理議員と別個に面會懇談の結果久しきに亘つて紛爭を續けられた市長問題も圓滿に最後的解決の諒解を遂げたもの〻如く、署長は同日赴旅 關東廳 に報告して諒諾を受けることになつた模樣である、かくて市會の紛糾も大團圓を告げた譯であるが、右につき大内委員長は記者團に對し次の如く語る

市長對市會の紛糾は田中署長の調停により圓滿に解決することゝなつた、和解の條件に就ては明言し難いが石本市長の面目を立て殘務事務を整理して頂いた上で適當の時機を見計ひ自發的に勇退されることになつた譯である

猶同氏の口吻によれば辭職期は明年一月八日頃開かれる市會當日を以てする模樣で調停條件は七八箇條と觀測されるが 嚴秘に 附してゐる、之に對し市長側では「被調停者たる立場上返答出來ない」と極力口外を避けてゐる、因に和解の第一歩として議事務打合せのため二十七日市參事會が開かれることになつた

山梨縣廳の備品差押へ 買收金支拂で

【甲府廿六日發電】山梨縣西山梨郡千塚村地主中澤氏ほか一名は廿六日甲府地方裁判所に山梨縣廳の備品一切の差押へを行つた、理由は曩に縣が甲府中學校敷地として一坪二圓五十錢で兩氏所有地を買收されることゝなつたので、原告は其の價格を不當として前知事時代に訴訟を起し、東京控訴院は買收價格を七圓五十錢と決定判決したが爾來縣はその金額を支拂はぬためである

酒井博士餘榮

【東京廿七日發電】畏き邊りでは去る十四日逝去した愛知醫大教授酒井博士に對し生前醫學界に大なる貢獻をなしたる功勞を思召され左の如く御沙汰あつた

敍勳四等授瑞寶章　酒井 繁

オリンピックに行幸を奏請

◇—日本體育協會から

【東京廿六日發電】明年春五月廿四日から八日間東京に行はれる極東オリムピック大會につき日本體育協會は特に、天皇陛下の行幸を奏請する事となつた多分、陛下は體育御奬勵の思召を以て行幸を仰出されるものと拜されて居る

帝劇正式に松竹に引渡さる

女優の目に涙光る

【東京廿六日發電】約廿餘年間の帝都一流劇場の歷史を殘して來る一月一日から向ふ十年間經營一切を擧げて松竹の手に移ることになつた帝劇の正式引渡しは、廿六日午後六時から帝劇事務所にて松竹から大谷社長以下各重役、帝劇からは西野會長以下並に梅幸、宗十郎、律子、菊江等幹部俳優等百餘名出席の上舉行されたが、先づ西野帝劇會長より俳優及び從業員に對し

大谷氏 も諸君の事は總べて引受けて下すつたのであるから從前通り活動して貰ひたいと述べ大谷社長は

光輝ある帝劇を吾々の手で經營するに當り從前通り御奮闘を切望する

と答へ續いて俳優一同を代表して梅幸、律子の挨拶あつて無事式を終つた、愈々帝劇專屬俳優より帝劇附俳優となるので女優連は目に涙を浮べて居たのもあはれであつた

大連神社

大連神社では例年の通り卅一日午後二時大祓式を執行し一日歳旦祭は午前四時執行し尚月次祭には氏子代參當番町日之出町區の氏子役員參列の上午前十時から祭典を執行すると

乳呑兒を背の病妻 留置の夫へ米代の相談

この暮は淋しい大連署留置場

師走を行く (26)

年も漸く暮れた、早いところは既に門松の青竹に永々しい昭和五年の姿を覗かせ、年間諸々の整理も濟まして取つて置きの「お芽出度う」を待つてゐる、げに昭和四年も漸く暮なんとしてゐる

がに太陽の慈光と雖も行きわたらぬところもある、監察の一隅留置場もその一つか！

◇

現在大連署留置場には三十四名入れられてゐる、去る二十三日を以て年内に送檢に繫る者は全部送致し目下内譯日本人十一名、支那人二十二名、ボーランド人一名で全部男許り、女は一人も居らぬが、十五宗もある留置場は近來に無い閑散振りだ、例年歳末には七、八十人も收容者があり昨年末等は百餘名でゴツタ返したゐたが、本年は犯罪も緩慢となつたものか、兎に角お芽出たい事である

◇

留置者の犯罪別も竊盜十五名、詐欺四名、橫領四名及び拘留言ひ渡し十一名で歳末を控えて血腥い凶力犯人の無いのは先づ四海波穩かに昭和の御代目出度し〳〵と新春を迎へられるといふもの

◇

だが囚はれの身の哀しさに薄暗い凍りつく樣な板敷の上に震へる彼等にとつては冷たい赤煉瓦一重の外に吹きまく世間の師走風も直接身に觸れぬだけ、高い磨硝子の樣に凍結した窓を通して一入身に沁みいらう年の瀨を眼の前に四人の子供迄ある貧乏世帶を殘して夫は曳かれ、病鬼に追はれた病妻は乳飲み兒を背負つて留置中の夫に晩の米代を相談に來るのも罪の裏に漂はれる師走哀話である、留置者で差入を受ける種結構な身分の者は僅かに四、五人で他は皆日本人十一錢支那人八錢の盛飯に舌鼓を打つてゐる

◇

不景氣風は最近檢擧される犯罪の裡にも鮮明に表はれ、一圓二圓の無錢飲食の廉で冷たい留置場に放り込まれる罪名は詐欺被疑者、陳列窓硝子を破つた血塗れの手に握つた一塊のパンの爲め、遂に無垢な一生を十數年の牢獄に送つた饑えたジャンバルジャンの物語りに泣いてゐる者もあらうか——レ、ミゼラブル——

秩父宮殿下がスキー御練習

【東京廿七日發電】秩父宮殿下には二十八日を以て陸大が休暇となるので同日夜十時五十五分上野驛發高松宮並に北白川宮、竹田宮と共に山形縣五色溫泉に成らせられスキーの練習を遊ばされることゝなつた

伯國下院で議員射殺

政治上の論爭から

【リオ、デ、ジャネイロ二十六日發電】ブラジル下院内に於て議員シモエス、ロープス氏は政府黨の雄辯家下院議員スーザ、スイルホ氏を射擊即死せしめた、加害者は直ちに自首したが、原因は政治上の論爭より起つたものである

小橋前文相 四度取調べらる

【東京二十六日、至急報】小橋前文相は廿六日午前八時極秘裡に東京地方裁判所に出頭し兩角豫審判事の取調を受け同午後二時漸く歸宅を許された

岸上博士遺骨 東京に着く

【東京廿六日發電】岸上博士の遺骨は廿六日午前九時東京驛着列車で歸京麴町の自邸に入つた、告別式は廿七日午後三時同邸で擧行の筈である

極東大會日取り

支那比律賓も同意す

【東京二十七日發電】日本體育協會は豫て極東オリムピック大會日取りを明年五月二十四日より八日間と決定し支那及び比律賓の同意を求めてゐたが、支那は數日前、比律賓は二十六日夫々承諾の旨回答して來た

移動警邏班を實施

滿鐵沿線の警備力充實

廿六日發表された關東廳に於ける警務局關係の豫算

昭和五年度における關東廳警務局關係の豫算は廿七日次の如く發表を見た

一、保健調査及びその一部實施並に衛生試驗所の設置

滿洲を何等病氣に懸念なき安住の地たらしめ傳染病その他の研究に對し良好なる成績を擧げんと云ふのであるが兩者で約二萬二千圓を要する

一、移動特別警邏班實施

これは巡査七十五名、三名を一組とする廿五組の移動的警邏班を設置し必要に應じ市街地に配置するものであるが、市街地の繁榮はその區域内における個人生活の安全に正比例するといふ見地からその警備を充實して一層安全率を高むる必要より出でたるもので滿洲警備の一新紀元を劃するもので、約七萬五千圓を計上されてゐる、蓋し明年度局内新規事業の筆頭である

一、中間驛及び州境警察力の充實

滿鐵沿線中間驛における警備の實情に照し頻發する殉職者の經驗に鑑みその充實につき調査した結果決定されたもので、警部補各一名、巡査四十名、巡捕七名を增加するため約四萬七千圓を計上

一、警察官吏派出所の新設

これに州境その他に五ケ所の派出所を增加設置し交通不便なる州境における警察力を充實するもので二萬圓計上されてゐる

一、警察官練習所の新營十二萬五千圓をもつて旅順、新市街に新築するものであるが、これは現在のものが古くて新進氣鋭の警察官を養成するところとしてふさわしからざる事及狹隘を告げたためで五年度中には完成の筈

一、衛生試驗所增築の件

從來衛生試驗は滿鐵衛生試驗所の補助によるものが大多數であつたがなるべくその援助によらぬ樣にしたいとい ふので約二萬圓を以つて本廳に增築の筈

一、專用電話架設、警察官舍の新營の件

前者は二萬圓後者は約二萬六千圓で警察電話を增設その連絡を便ならしめ一方警察署派出所は附屬を新築し一層警察力の充實を計らんとするものである

敷金に利子

民政黨から提出した借家法の改正法律案

【東京二十七日發電】民政黨は二十七日午前院内に代議士會を開き衆議に諮り借家法中改正法律案を衆議院に提出したが、其の要領左の如し

一、借家契約の最短期限を設定し營業店舖は五年、住宅は三年とす

二、敷金は最高六月とし三分六厘の利子を附す

三、造作權其他の權利金を徴せざること

四、明渡し要求の際は裁判所に於て事情を酌量して相當猶豫を與へること

馴染み女を騙り元活辯訴へらる

姉の『久松』涙の嘆願て送局だけは御猶豫

本籍大阪市住吉區阿部野四三六、當時市内美濃町五五伏見館止宿井上菊夫(二)は本年七月以來、長春東三條通滿洲社に居住し長春滿鐵俱樂部映畫館に辻晴郎の名で活辯をしてゐたが當時長春北門外料理店滿洲館内小千代こと平川入重子(二)と馴染み、入質の洋服を受出すから百圓貸て貰ひたい、十月には大連美濃町小川席に久松と名乘つて藝妓をしてゐる

姉が穀替 するので三百圓許り手に入るから必ず返濟すると甘言を以て百圓を借り出し、その後來連し前記の場所に移り住んで右金額を返濟せぬので、小千代より詐欺として告訴され、二十六日大連署司法主任より取調を受けた結果、送院送りとなるところを姉の久松も出頭し「私の身で百圓工面しますから」と弟の爲めに涙を流しての哀願に取敢ず金が出來る迄署に留置する事となつた

安住工場 大阪市西淀川區大仁安住かとり線香本舖 株式會社安住大寧房過般出火のため工場一棟燒失したるも損害輕微にして他の線香製造工場七棟、製粉場、香料倉庫、製品倉庫、營業所全部無難且つ燒失工場は直に應急施設を加へたるため製造及營業上何等支障なき由通信ありたり

公　告

○登記公告方

昭和五年中當民政署及管内支署ノ取扱ニ係ル商業其ノ他ノ登記事項ヲ公告スヘキ新聞紙ハ大連市ニ於テ發行スル滿洲日報ヲ選定ス

昭和四年十二月

旅順民政署
大連民政署

愛慾の窓（201）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

審判（二）

讀山の囑託醫師は、英輔の重傷の手當に力を盡したが、歸京するなぞとは飛んでもないことだと云つて眼を丸くした。だが、英輔は半分はもう獸のやうに、歸京することを主張してきかないのだつた。

「……死んでもいゝ！いや、死ぬんなら東京へ歸つて死にたいのだ！杉崎、杉崎は何うした？まだ草野君の裁判の様子はわからんのか……？」

杉崎は醫師とも熟議したが、打明けた話か、こちらでかうしてゐたところで、果して助かるか何うか判らないのである、そんなら一層當人の必死の希望を容れて、東京へ送り還して死なせてやつた方がいゝ……さう決定した。

ところがいたはりながら歸京してみると、氣が張つてゐるせゐかも知れないが、危ぶんだほどのこともなく、有名な外科の村山醫院の一室へとおちつくことが出來た。

村山博士は、腰から下を殆ど粉碎されたとやつていゝ英輔を診て、驚歎して眼を丸くした。

「無謀なことをしたものぢや！よく持つて來たものぢや！こりやよほど慎重に扱はんとむつかしいて……」

しかし久彦の公判に際して、例の遺書の遺料の鑑定のために、參考人として出廷せよといふ召喚狀が屆くと、英輔はもう血の氣の失せた顏に尤嚴の色を示して

「……出る、いや、誰が何と云つても、おれは出廷する！そのために歸京したんだ！いや、そのためにおれは今日まで我慢して生きてゐたのだ！」

と叫んで肯かなかつた。

「……だつて村山先生も仰有るんです。今、少しでも動かしたら死んでしまふつて、……あなたは、死んでもいゝのですか！」

杉崎は頻りに諫止した。

「……村山博士が何と云つたつて駄目だよ！あんな科學者に何がわかる！おれの肉體はとうに死んでゐるのだ！たゞおれがかうして頑張つてゐられるのは、精神の力なんだ！おれは斷じて出廷する！」

村山博士は嘆息をついた。博士はすぐれた科學者であつたから、英輔の生きてゐる事實に奇蹟を感じてゐた。

「全く……お說のとほりぢや、あんたが生きてゐられるのは、あんたの張りつめた精神の力ぢやよ……わしはたゞおそれる、その精神の緊張が緩むときの來ることを……よろしい！わしもあんたの身體に出來るだけの手當をさう、明日は裁判所へお出掛けなさるがいゝ……」

博士の言葉に、英輔はおぼえず手を延ばして博士の手を握りしめながら、感激の涙に咽んだ。

「先生！よく云つて下すつた！な

に親父の遺書の鑑定だけならば、僕こゝにゐても出來るんですが、僕はすゝんで事件の眞相を明らかにする義務を果さなければならないんです！よく許して下さいました！」

草野久彦の青天白日を證すべき最後の公判廷は開かれた。その公判廷は、寢臺車の上に繃帶でくるまれたまゝそつと置かれた英輔の異常な出廷振りによつて、緊張の度を十倍にした。かつて同じ事件のこの公判廷に、瀟洒たるモウニング姿で出廷して、久彦を陷入れるために誣妄の說を弄した英輔の面影は何處へ行つたらうか？

裁判長の指呼に應じて、英輔は重病の人とは思へないほど、よくすきとほる聲で、凛々と陳述した。

「……わたくしはまづ先の公判に於ける私自身の僞證を告白せねばならない。わたくしは草野君を陷入れようとする卑しむべき意圖の下に、草野君を惡興信所員なりと誣いた。わたくしは草野君に改めて陳謝すると同時に、先の日の僞證罪による處罰をすゝんで受けたいと思つてゐる」

英輔は、冒頭先づさう述べてから、遺書の鑑定に入り、それが紛れもなく父英太の直筆であり、且つ何うして今日までその遺書と共に父親英太の秘密が隱されてゐたかを、勝讀立てゝ公表した。

水を打つたやうにしめやかな公判廷に、英輔の聲のみが、靜かにひゞいていつた。

せう二